

桑名市
健康と福祉に関する市民アンケート
結果報告書

2019(平成31)年3月

もくじ

調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査方法、回収結果等	1
3 集計・分析にあたって	2
4 自由記述について	2

第1章 住民一般調査

1 調査対象者の属性等	4
2 健康について	11
3 地域の活動等について	24
4 地域の課題等について	33
5 福祉・介護の考え方等について	51
6 福祉に関する情報や相談について	55
7 生活困窮者の自立支援について	62
8 幸福感について	65
9 自由意見	67

第2章 中学生調査

1 調査対象者の属性等	96
2 地域の人との関わりや地域の課題	98
3 ボランティア活動	106
4 桑名市について	110

第3章 調査票

1 住民一般調査	126
2 中学生調査	141

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、市民の健康の状態、地域活動やボランティア活動への参加状況、地域に対する考え方や課題、福祉についての考え方等を把握し、2019年度に策定する「(仮称) 桑名市地域福祉保健計画」の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査方法、回収結果等

(1) 住民一般調査

調査対象者：2018年10月31日現在、18歳以上の市民3,000人を無作為に抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：2018年11月28日～12月14日

回収結果

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
3,000	1,311	43.7%	1,307	43.6%

(2) 中学生調査

調査対象者：2018年12月5日現在、市内公立中学校に通う2年生全員

調査方法：各学校を通じて配布・回収

調査期間：2018年12月5日～12月14日

回収結果

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
1,283	1,227	95.6%	1,227	95.6%

3 集計・分析にあたって

- ① 回答の比率は、その設問の回答数を基数（n）として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。
- ② 回答率（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しました。したがって、単数回答の場合であっても比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③ 住民一般調査には、年齢不詳が10人、性別不詳が7人、居住地域不詳が12人、世帯状況不詳が15人あります。

中学生調査には、性別不詳が3人、居住地域不詳が13人、世帯状況不詳が7人あります。

- ④ 2002年に実施した「桑名市福祉のまちづくり意識調査」及び2005年に多度・長島地域で実施した「桑名市(多度・長島地域)福祉のまちづくり意識調査」並びに2012年に実施した「桑名市地域福祉に関する市民アンケート」のうち同様または類似した設問については、今回の住民一般調査と比較分析を行いました。この場合、「2002年」とあるのは2002年及び2005年に実施した調査、「2012年」とあるのは2012年に実施した調査をいい、「2018年」とあるのは今回の調査をいいます。

また、2007年及び2012年に中学2年生を対象として実施した「地域福祉に関するアンケート」のうち同様または類似した設問については、今回の中学生調査と比較分析を行いました。この場合、「2007年」とあるのは2007年に実施した調査、「2012年」とあるのは2012年に実施した調査をいい、「2018年」とあるのは今回の調査をいいます。

4 自由記述について

アンケートの質問事項の最後の自由記載欄には、いろいろなご意見やご要望をいただきました。地域活動や見守り活動の重要性、交通網の整備へのご要望など、貴重な資料となります。

計画の策定にあたっては、市民参加を重視し、策定過程をできるだけ公開するように努めていきます。今回のアンケートも、その結果について広く公表し、計画に対する市民の皆さんの議論や提案の参考にしていただきたいと考えています。

記載されたご意見・ご要望はほぼ原文に近い形で掲載しました。ただし、個人を誹謗中傷するもの、誤解等により事実と反する記述があると認められるものは収載していません。

第 1 章 住民一般調査

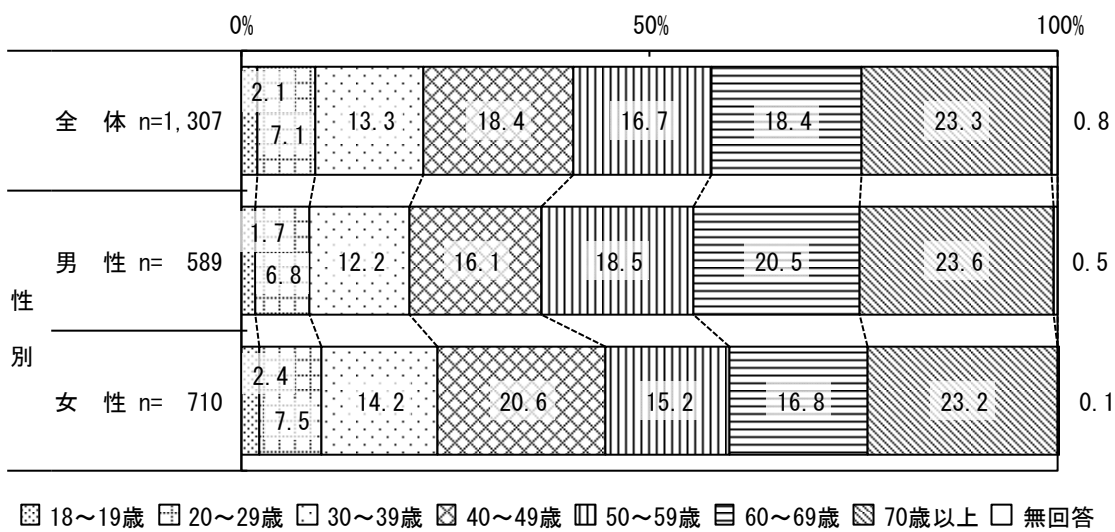
1 調査対象者の属性等

(1) 年齢・性別

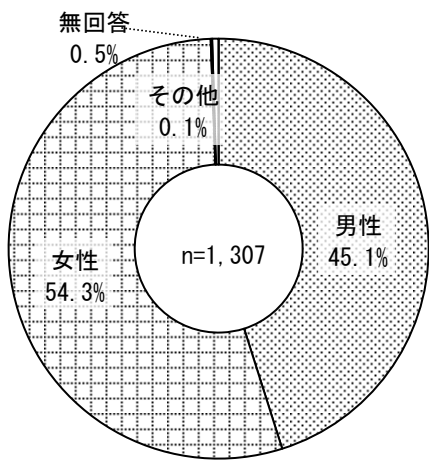
回答者の年齢は、70歳以上が23.3%と最も高く、次いで40～49歳及び60～69歳が18.4%、50～59歳が16.7%、30～39歳が13.3%となっています。30歳未満は9.2%です（図表1－1）。

性別にみると、男性より女性が高くなっています。その他が0.1%（1人）あります（図表1－2）。

図表1－1 年齢別



図表1－2 性別



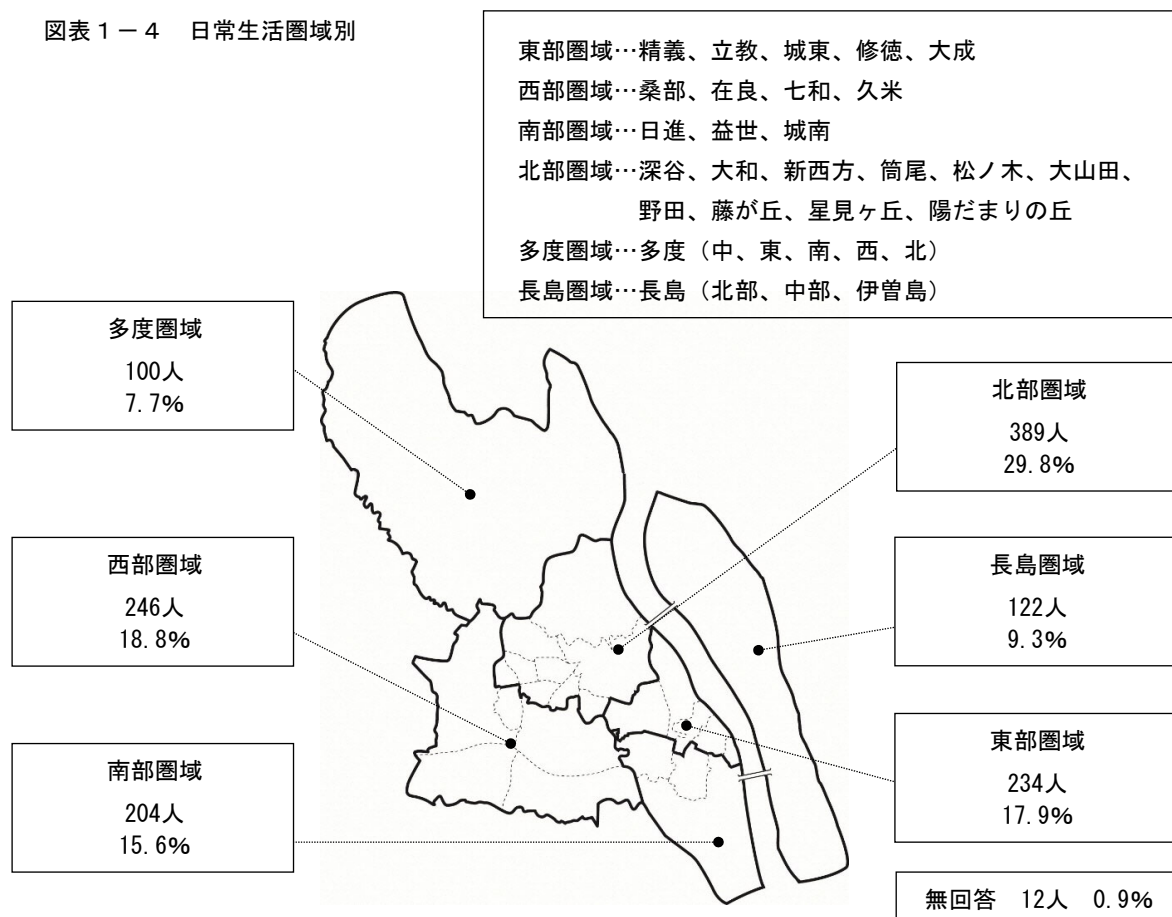
(2) 居住地域

回答者の居住する地域は、図表 1－3 のとおりです。また、これを桑名市地域包括ケア計画（第 7 期介護保険事業計画・第 8 期老人福祉計画）で設定した日常生活圏域別にみると図表 1－4 のとおりとなります。

図表 1－3 居住地域

地区	日進地区	精義地区	立教地区	城東地区	益世地区	修徳地区	大成地区	大和地区	桑部地区	在良地区	七和地区	深谷地区	久米地区	城南地区	筒尾地区	松ノ木地区
人	58	40	29	18	69	61	86	31	46	82	54	36	64	77	38	43
%	4.4	3.1	2.2	1.4	5.3	4.7	6.6	2.4	3.5	6.3	4.1	2.8	4.9	5.9	2.9	3.3
地区	大山田地区	野田地区	藤が丘地区	星見ヶ丘地区	新西方地区	陽だまりの丘地区	多度中地区	多度東地区	多度南地区	多度西地区	多度北地区	長島北部地区	長島中部地区	伊曾島地区	無回答	合計
人	36	24	32	48	36	65	53	13	13	4	17	37	55	30	12	1,307
%	2.8	1.8	2.4	3.7	2.8	5.0	4.1	1.0	1.0	0.3	1.3	2.8	4.2	2.3	0.9	100.0

図表 1－4 日常生活圏域別



(3) 家族構成（世帯）

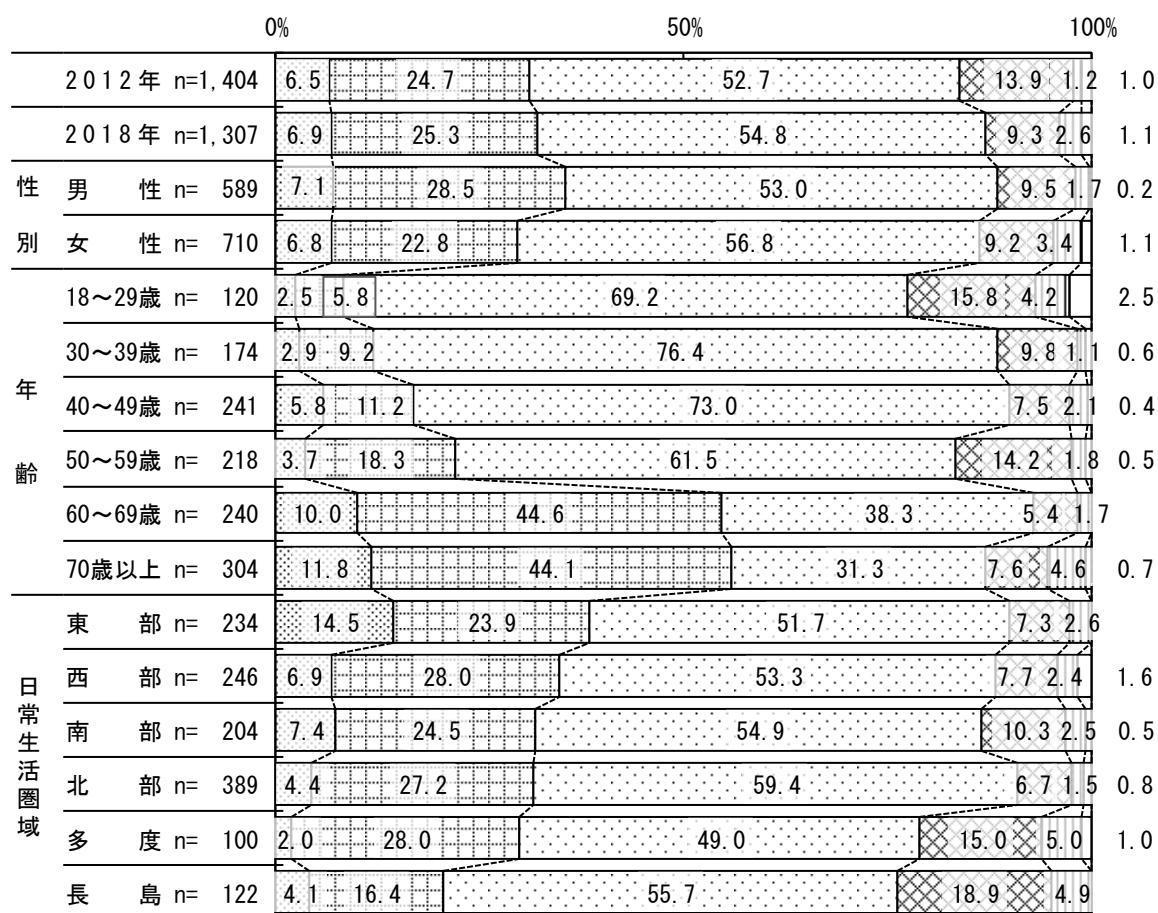
回答者の家族構成（世帯）は、親と子の「二世世代世帯」が54.8%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が25.3%、祖父母と親と子の「三世世代世帯」が9.3%の順となっています。2012年との比較では、「三世世代世帯」が4ポイント以上低くなっています。

年齢別にみると、「一人暮らし」は70歳以上、「夫婦のみの世帯」は60～69歳、「二世世代世帯」は30～39歳、「三世世代世帯」は18～29歳が、それぞれ高くなっています。

日常生活圏域別にみると、多度及び長島では「三世世代世帯」が15%以上と他の圏域に比べ高くなっています。

「その他」としては「兄弟姉妹」「内縁の夫・妻」「四世代世帯」等の記入がありました。

図表 1－5 家族構成（世帯）



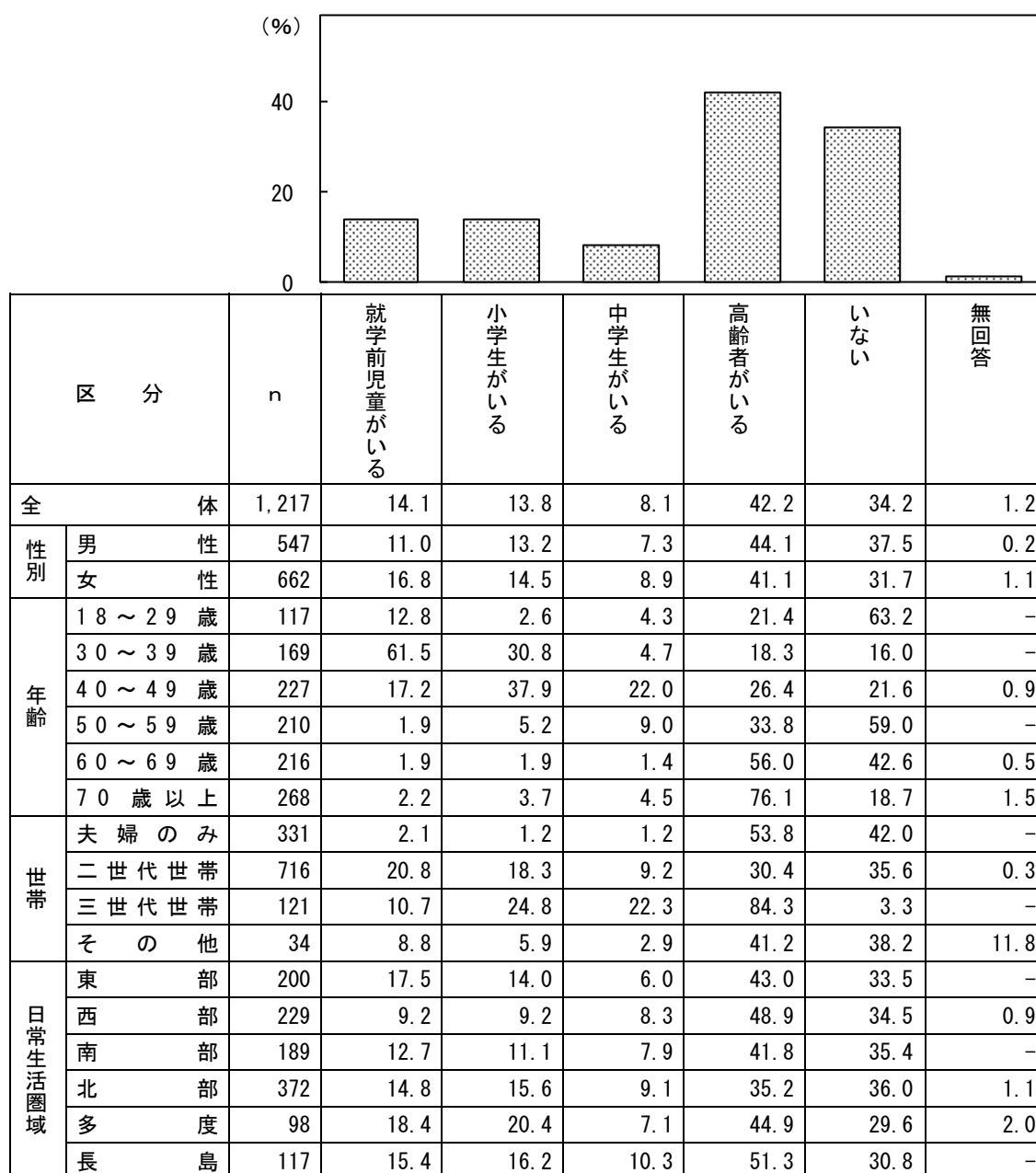
☐ 一人暮らし
 ☐ 夫婦のみ
 ☐ 二世世代世帯
 ☒ 三世世代世帯
 ☐ その他
 ☐ 無回答

(4) 同居家族に子どもや高齢者がいる世帯

一人暮らしの世帯を除き、同居している家族の中に子どもか高齢者（65歳以上の人）がいるか否かをみると、「高齢者がいる」は42.2%、「就学前児童がいる」は14.1%、「小学生がいる」は13.8%、「中学生がいる」は8.1%です。「就学前児童がいる」は30～39歳、「小学生がいる」及び「中学生がいる」は40～49歳がそれぞれ最も高くなっています。一方、「高齢者がいる」は年齢が上がるにしたがい高くなる傾向にあります。

図表 1－6 子どもや高齢者がいる世帯（複数回答）

単位：％（nは人）



(5) 就業・就学状況

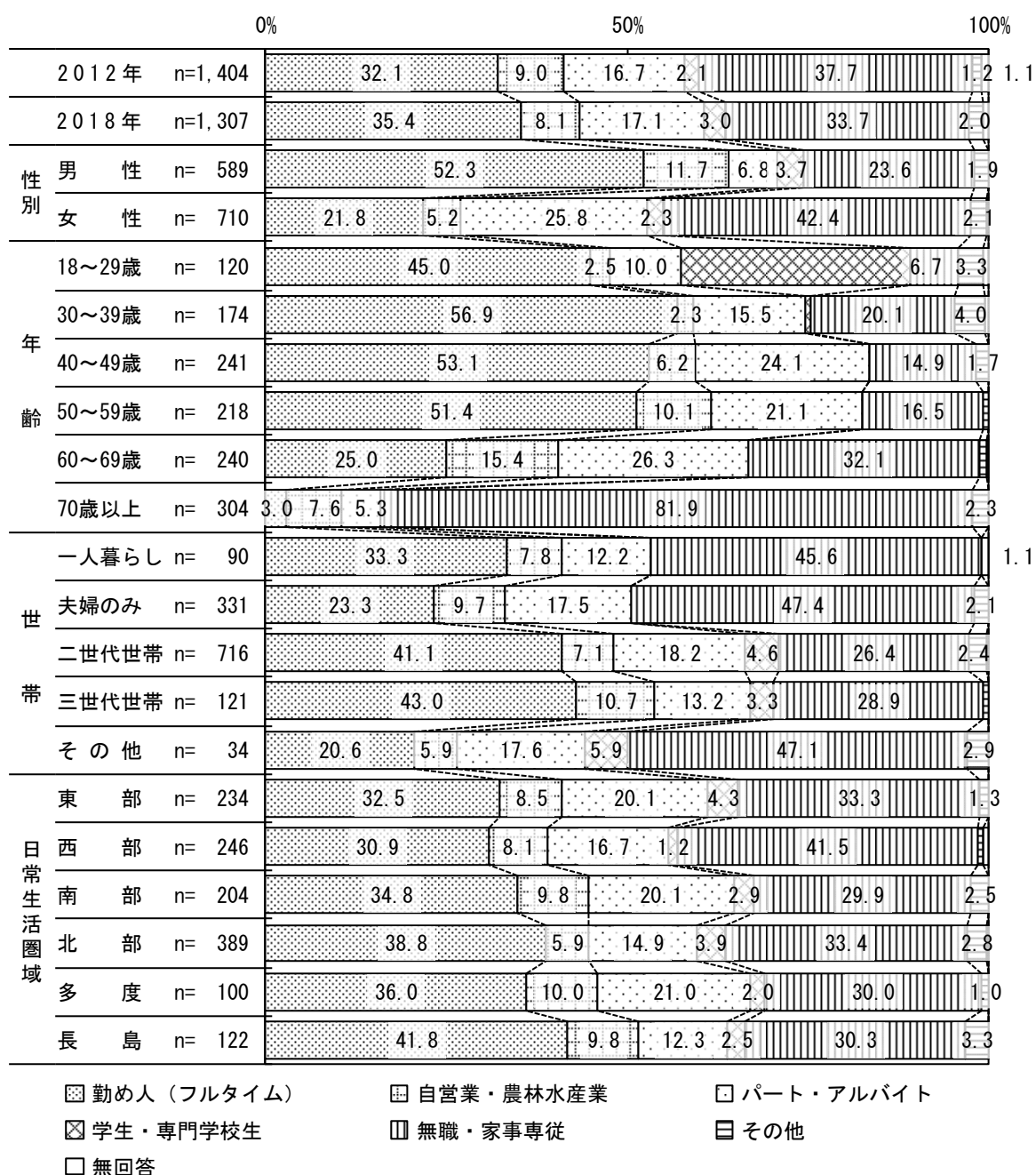
就業・就学状況は、全体では「勤め人（フルタイム）」が35.4%と最も高く、次いで「無職・家事専従」が33.7%、「パート・アルバイト」が17.1%、「自営業・農林水産業」が8.1%などの順となっています。

男性は「勤め人（フルタイム）」が52.3%と最も高く、女性は「無職・家事専従」が42.4%と最も高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにしたがい「無職・家事専従」が高くなる傾向にあります。

「その他」として、「育児休業中等」「就労継続支援」等の記入がありました。

図表 1-7 就業・就学状況

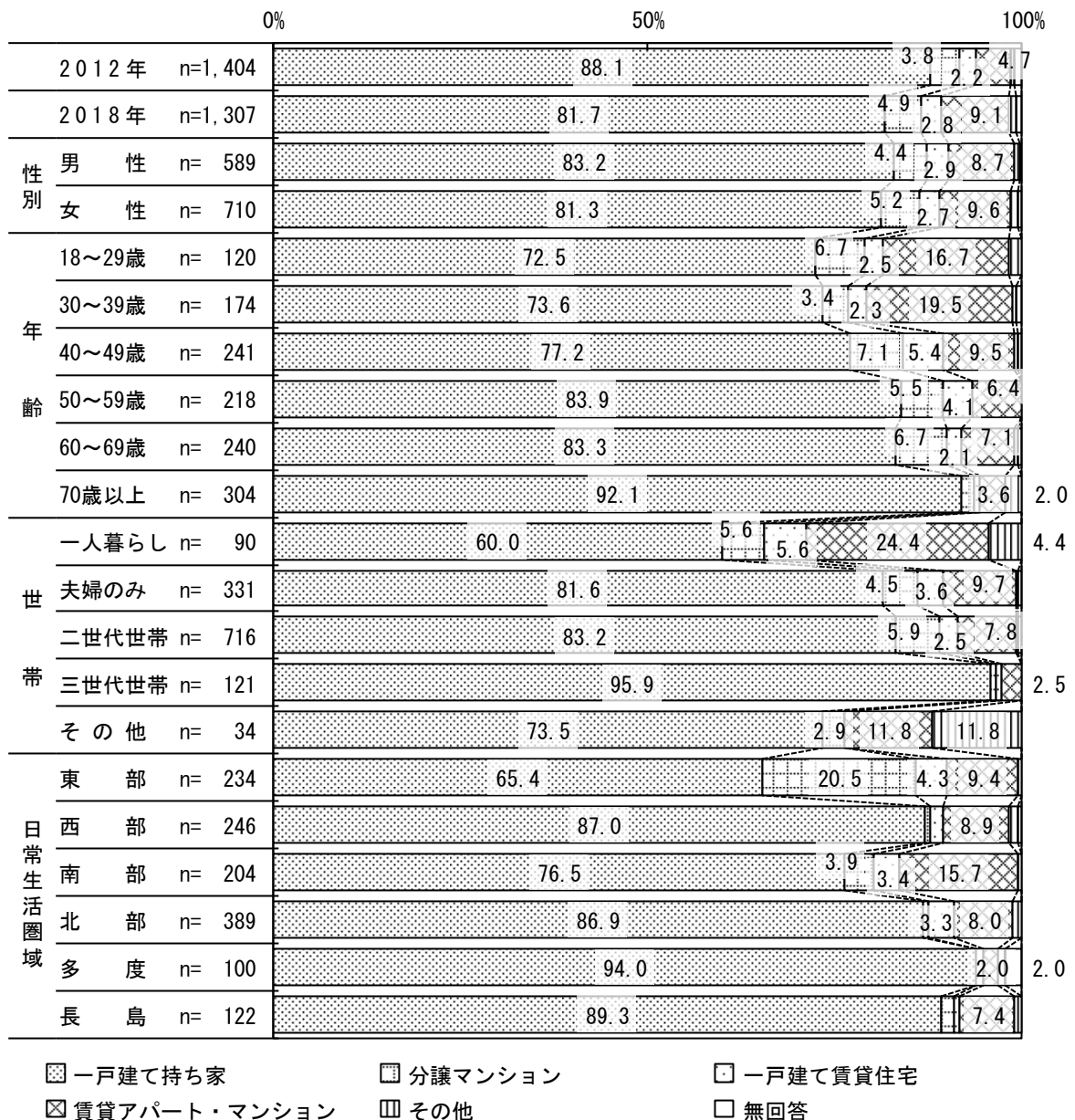


(6) 住まい

住まいは、「一戸建て持ち家」が81.7%を占めています。「賃貸アパート・賃貸マンション」は、年齢別の18～29歳及び30～39歳、世帯別の一人暮らしが、他の年齢・世帯に比べて高くなっています。また、日常生活圏別では、東部において「分譲マンション」が20%を超えています。

「その他」として、「施設入所中」（8件）という記入がありました。

図表 1－8 住まい

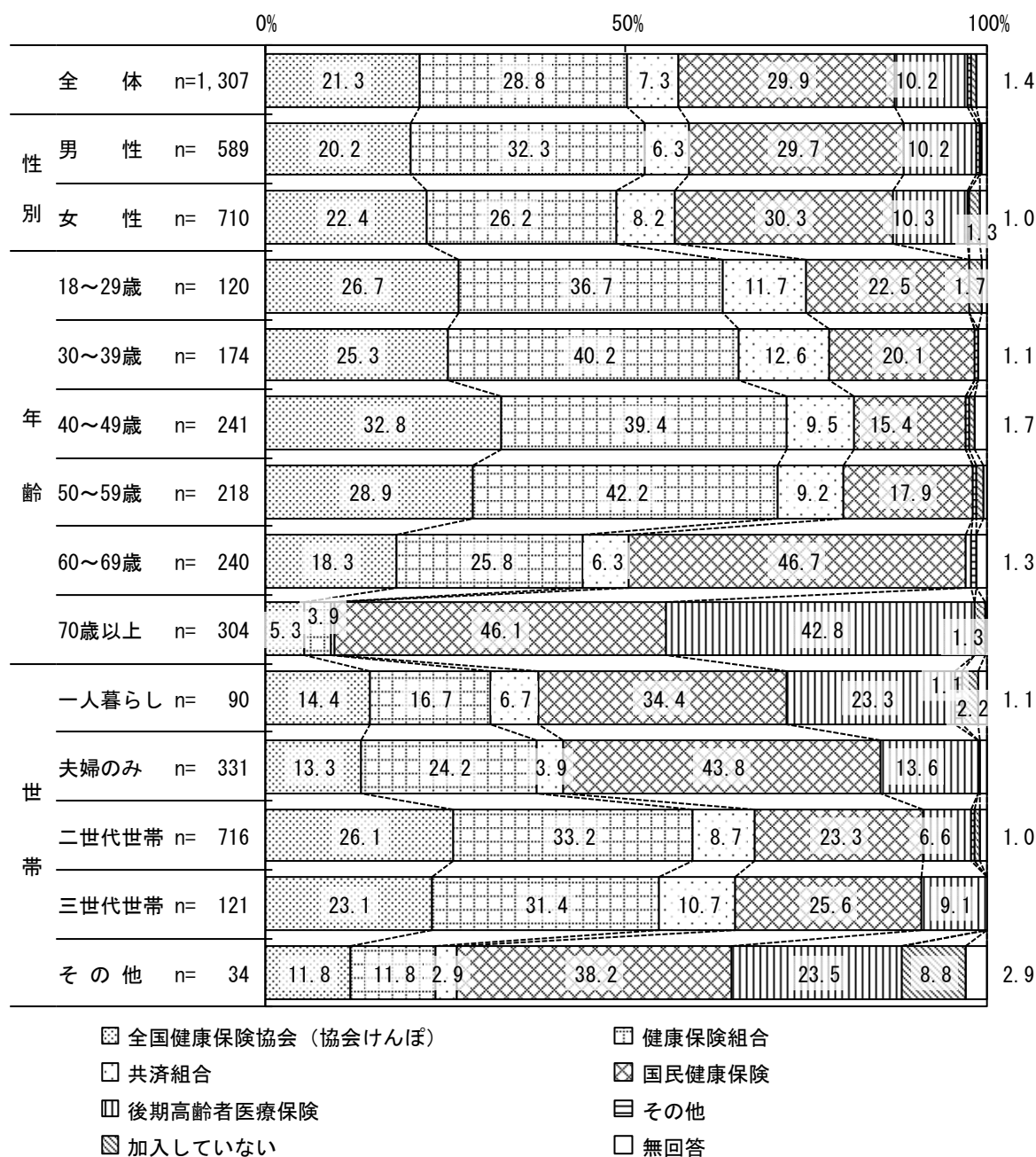


(注) 2%未満の数値はグラフ上の表記を省略してあります。

(7) 健康保険の種類

加入している健康保険の種類は、「国民健康保険」が29.9%、「健康保険組合」が28.8%、「全国健康保険協会（協会けんぽ）」が21.3%などとなっています。「加入していない」が0.8%あります。年齢別にみると、60歳未満では「健康保険組合」が、60歳以上では「国民健康保険」が最も高くなっています。

図表 1－9 健康保険の種類



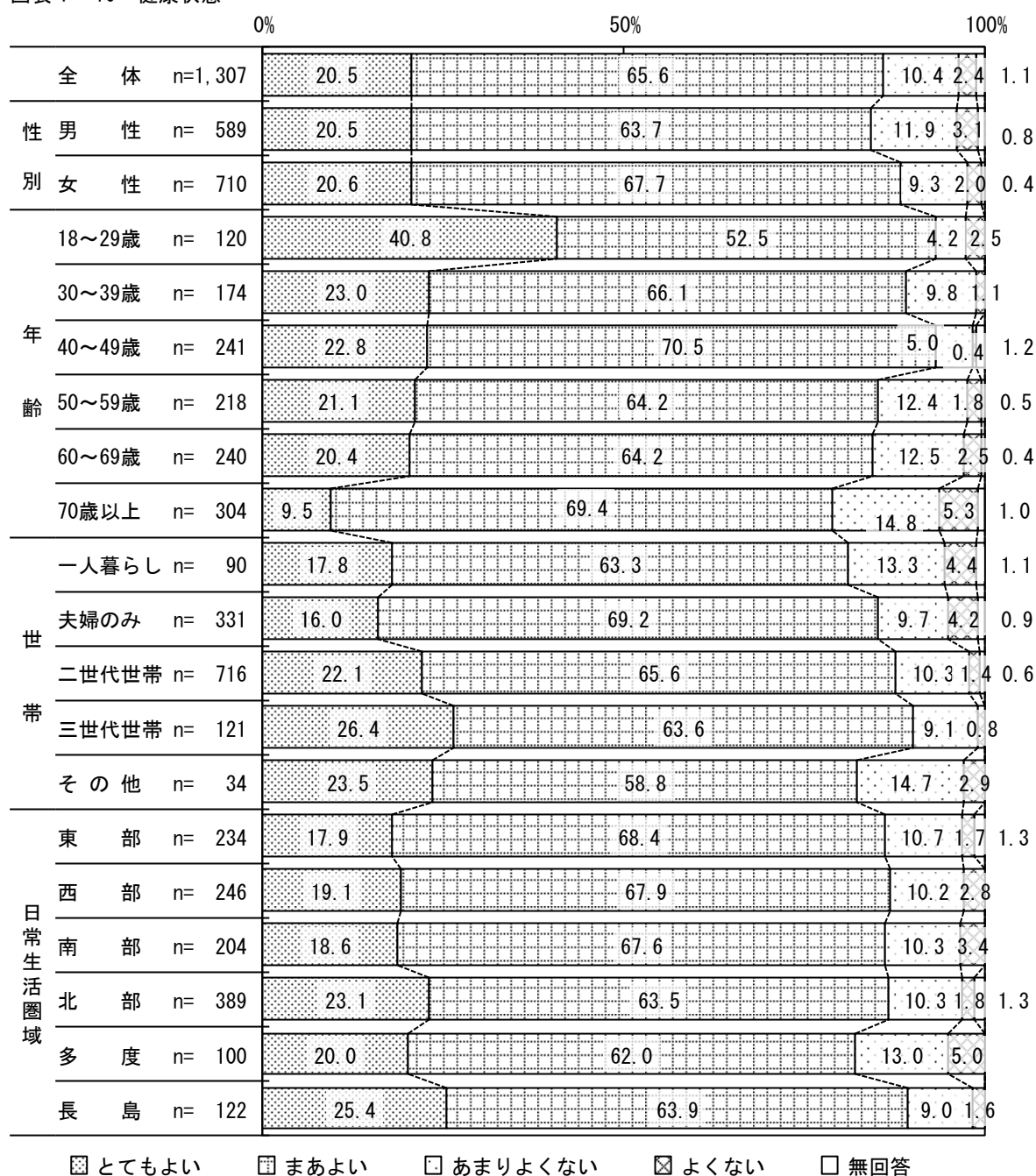
（注） 1%未満の数値はグラフ上の表記を省略してあります。

2 健康について

(1) 健康状態

日ごろの健康状態についてたずねたところ、「まあよい」(65.6%)と「とてもよい」(20.5%)の合計である<良い>は86.1%、「あまりよくない」(10.4%)と「よくない」(2.4%)の合計である<良くない>は12.8%となっています。年齢別にみると、年齢が上がるほど<良くない>が高くなる傾向にありますが、70歳以上でも<良い>が78.9%を占めています。

図表 1-10 健康状態

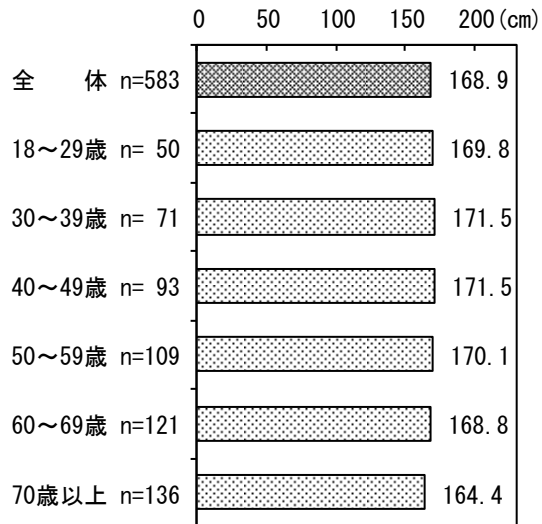


(2) 平均身長

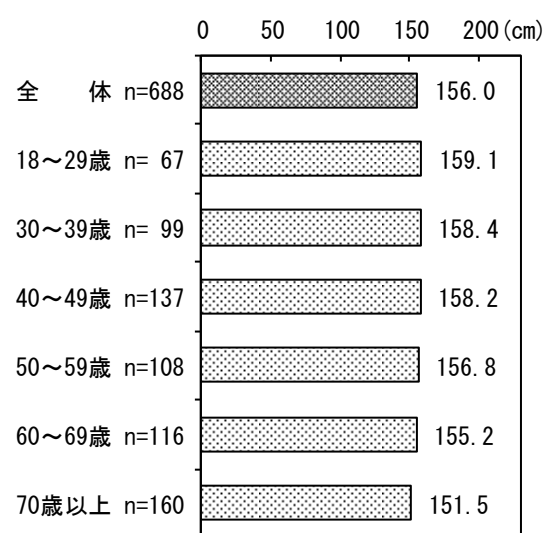
回答者の平均身長は、男性が168.9cm、女性が156.0cmです。

図表 1-11 平均身長

① 男 性



② 女 性

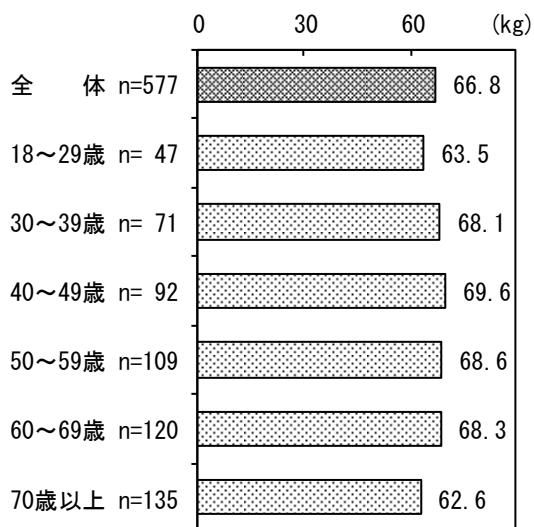


(3) 平均体重

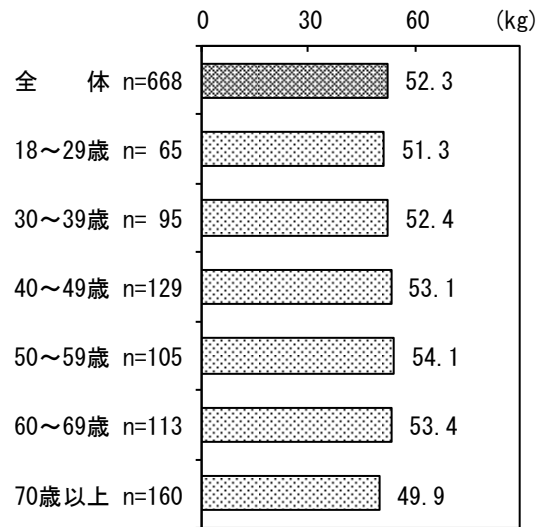
回答者の平均体重は、男性が66.8kg、女性が52.3kgです。

図表 1-12 平均体重

① 男 性



② 女 性



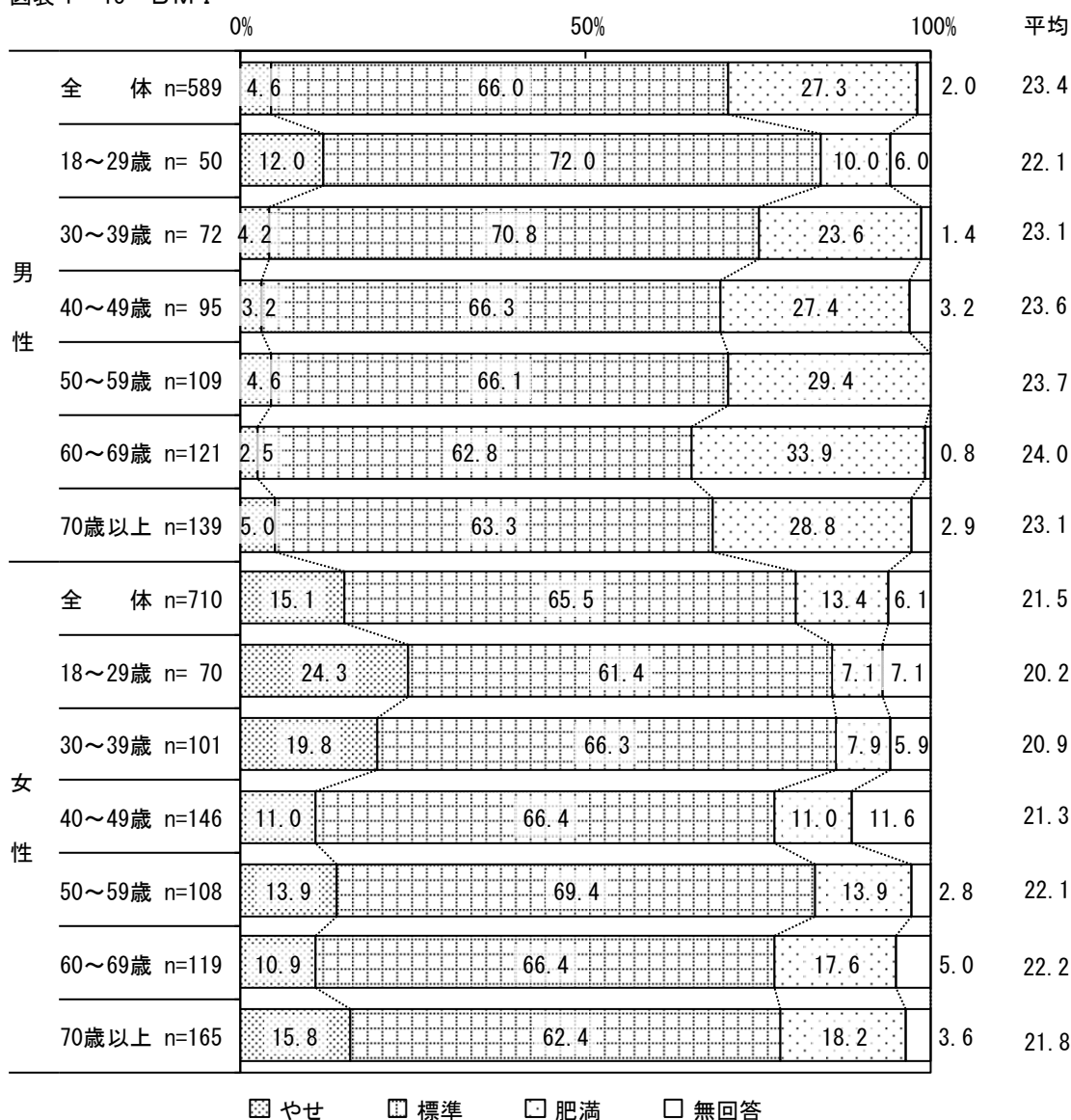
(4) BMI

BMIは世界共通の肥満度の指標で、下記の計算式により求められます。BMIは22が標準で、18.5未満を「やせ」、25.0以上を「肥満」としており、25.0以上の「肥満」の人は、メタボリックシンドローム、あるいは特定保健指導の対象となる可能性が高いと考えられます。

男性の平均は23.4、女性の平均は21.5となっており、「肥満」の率は女性に比べて男性が高くなっています。性・年齢別にみると、男性の60～69歳の「肥満」が30%を超える高い率となっています。一方、女性は18～29歳の「やせ」が24.3%と比較的高くなっています。

$$\text{BMI} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$$

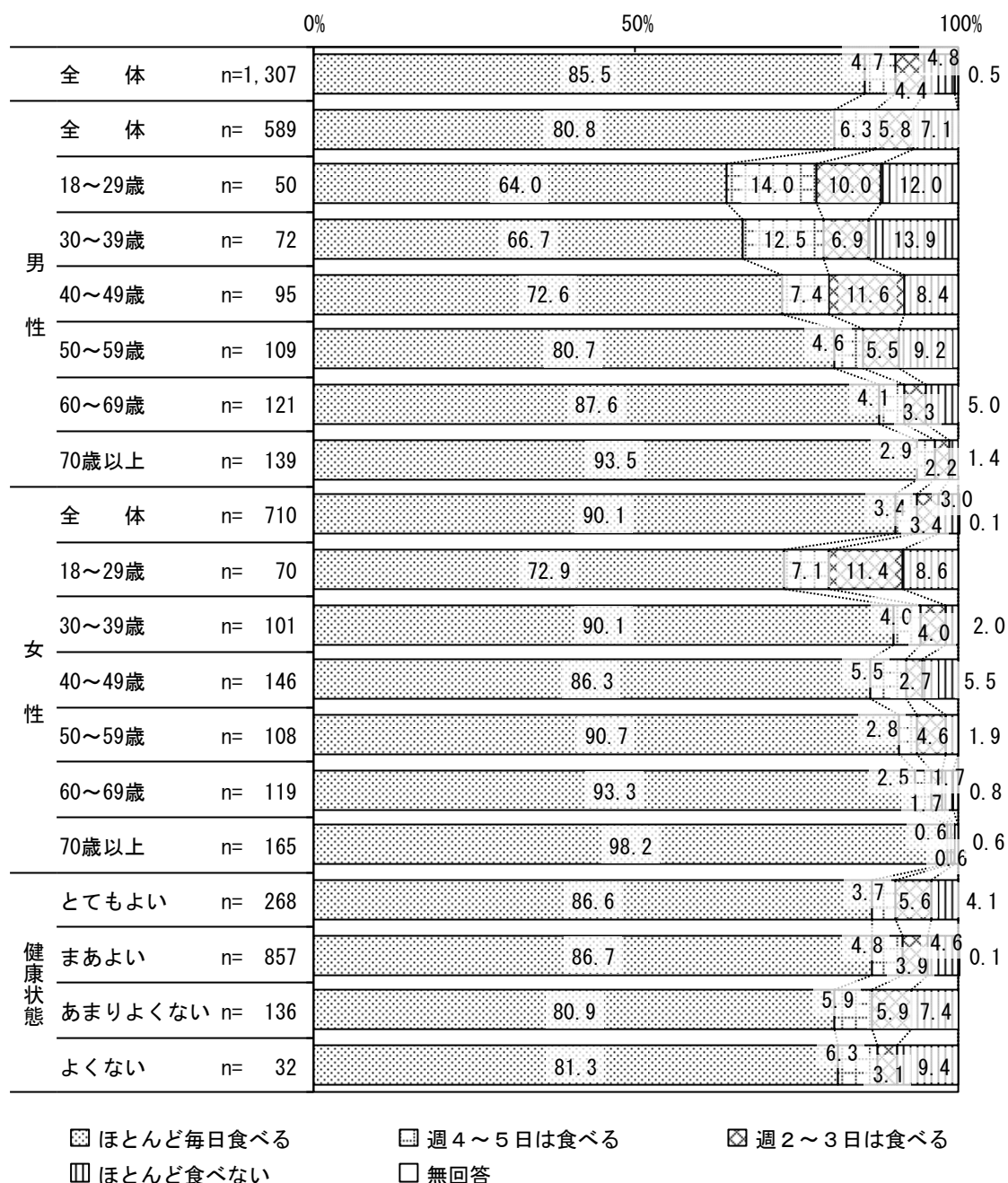
図表 1-13 BMI



(5) 3食を規則正しくとっているか

「あなたは、ふだん朝・昼・晩3食を食べていますか」という設問に対しては、「ほとんど毎日食べる」が85.5%を占めています。「ほとんど食べない」は4.8%ですが、男性の40歳未満では10%を超えています。健康状態について「とてもよい」または「よい」と回答した人は「ほとんど毎日食べる」が85%を超えています。

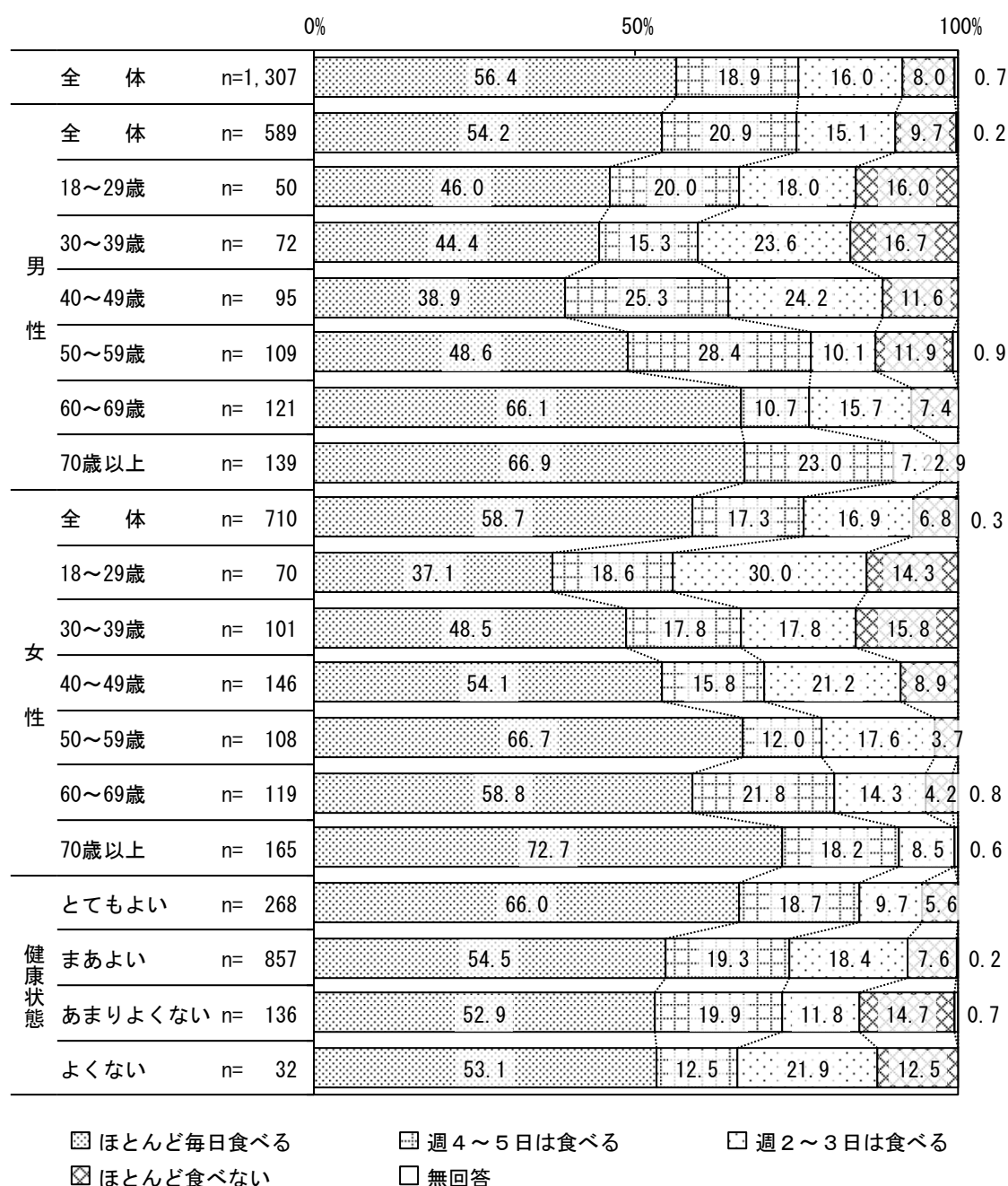
図表 1-14 3食を規則正しくとっているか



(6) 主食、主菜、副菜をそろえて食べる頻度

「あなたは、主食（ごはん・パン・麺など）、主菜（肉・魚・卵・大豆などを使ったメインの料理）、副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上ある日が週に何日ありますか」という設問に対しては、「ほとんど毎日食べる」は56.4%、「週4～5日は食べる」が18.9%などとなっています。「ほとんど食べない」は8.0%ですが、男女とも40歳未満では15%前後となっています。健康状態について「とてもよい」と回答した人は「ほとんど毎日食べる」が65%を超えています。

図表 1-15 主食、主菜、副菜をそろえて食べる頻度

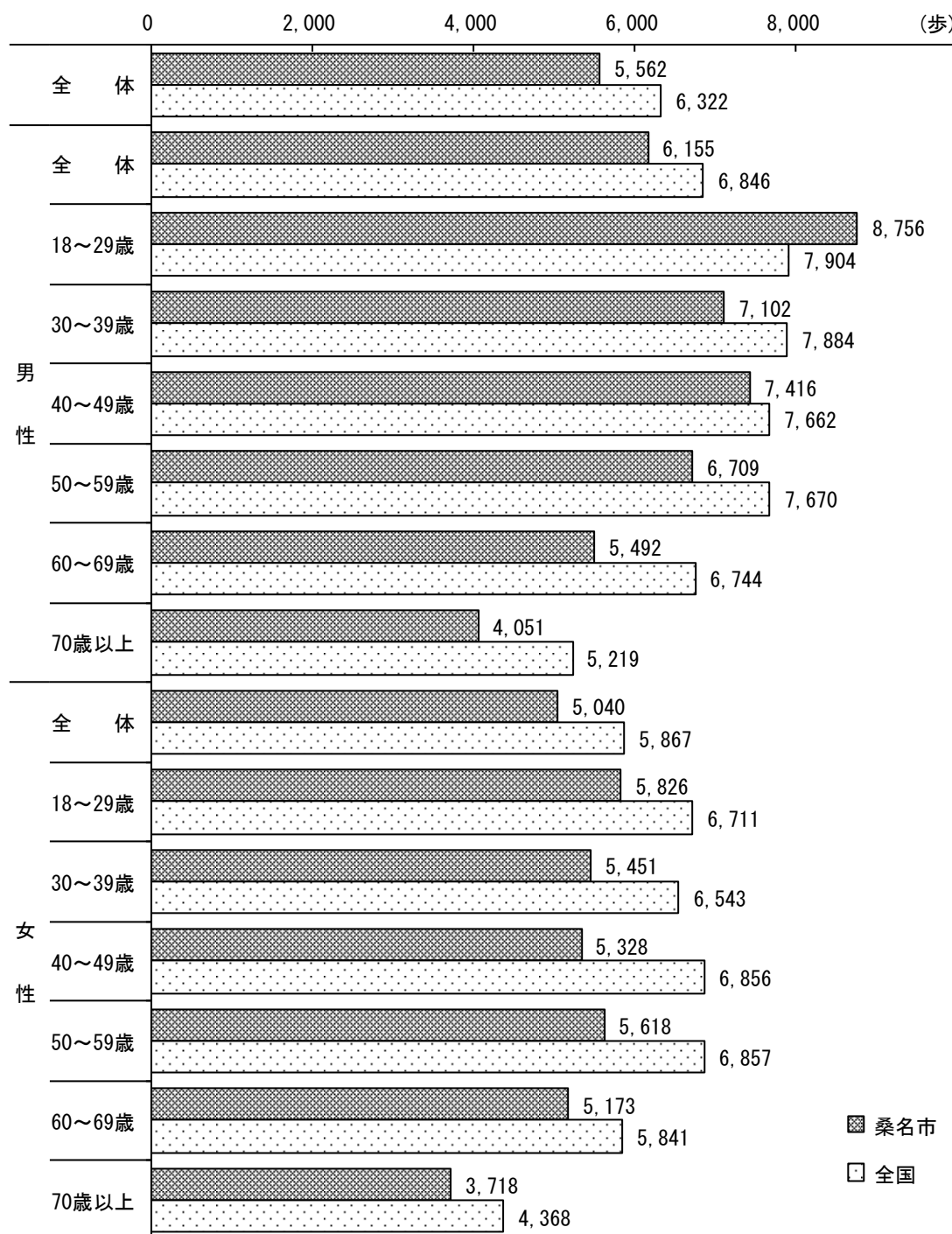


(7) 1日の平均歩数

日常生活において、屋内も含めた1日の平均歩数は、男性が6,155歩、女性が5,040歩です。男女ともに年齢が上がるにしたがい少なくなる傾向にあります。

全国との比較では、男性が600歩以上、女性が800歩以上少なくなっています。

図表 1-16 1日の平均歩数



資料：全国は「平成29年国民健康・栄養調査報告」（厚生労働省）

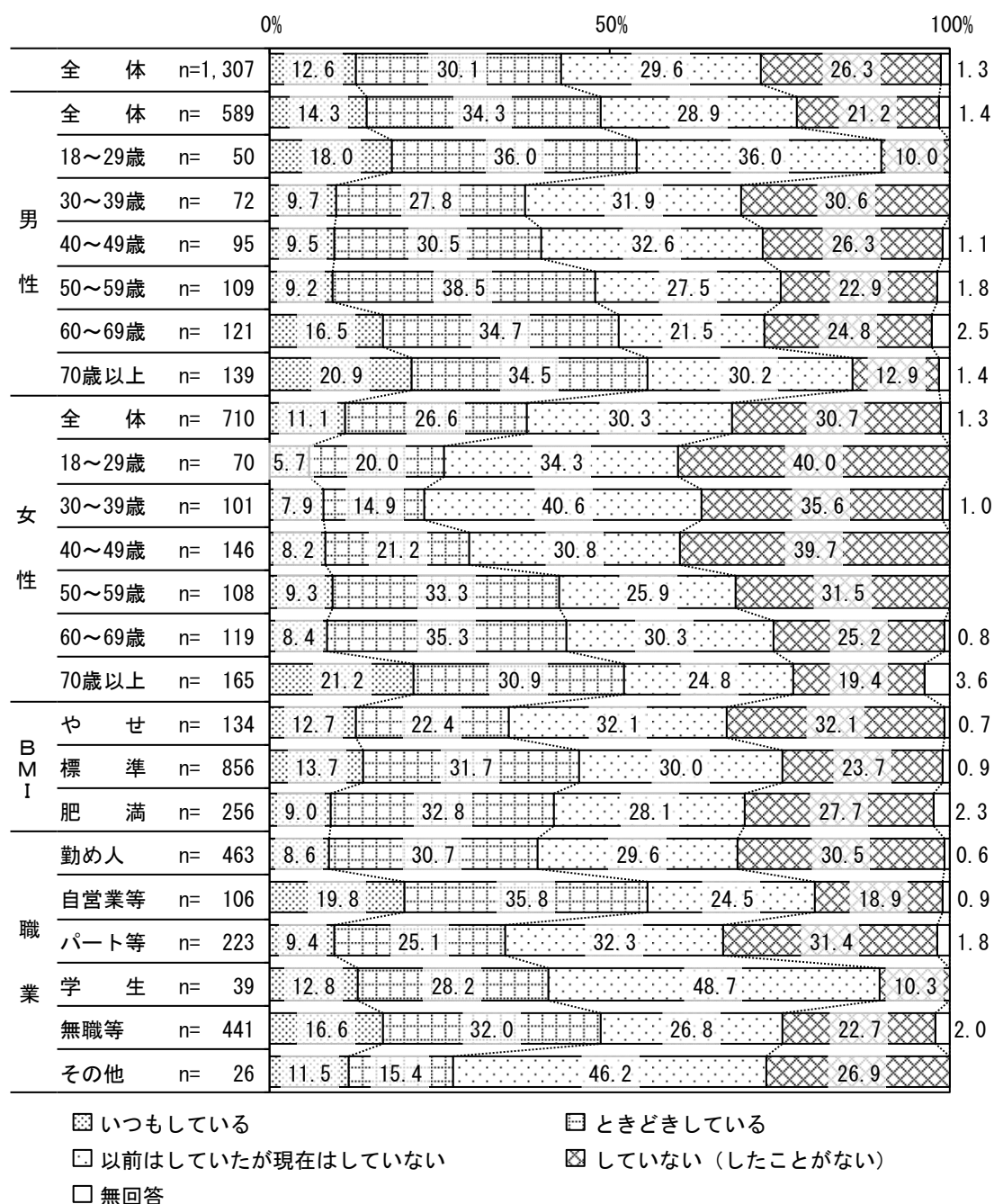
※「18～29歳」の全国は20～29歳の数値

(8) 意識的に運動をしている人の割合

「日常生活のなかで健康の維持・増進のために意識的に汗ばむほどの身体を動かすなど運動をしていますか」という設問に対しては、「いつもしている」(12.6%)と「ときどきしている」(30.1%)を合計した〈している〉は42.7%です。

性・年齢別にみると、男女とも70歳以上の「いつもしている」が20%以上と比較的高くなっています。BMI別にみると、〈している〉はやせが最も低く、標準が最も運動を意識的に行っているという結果となっています。

図表 1-17 意識的に運動をしている人の割合

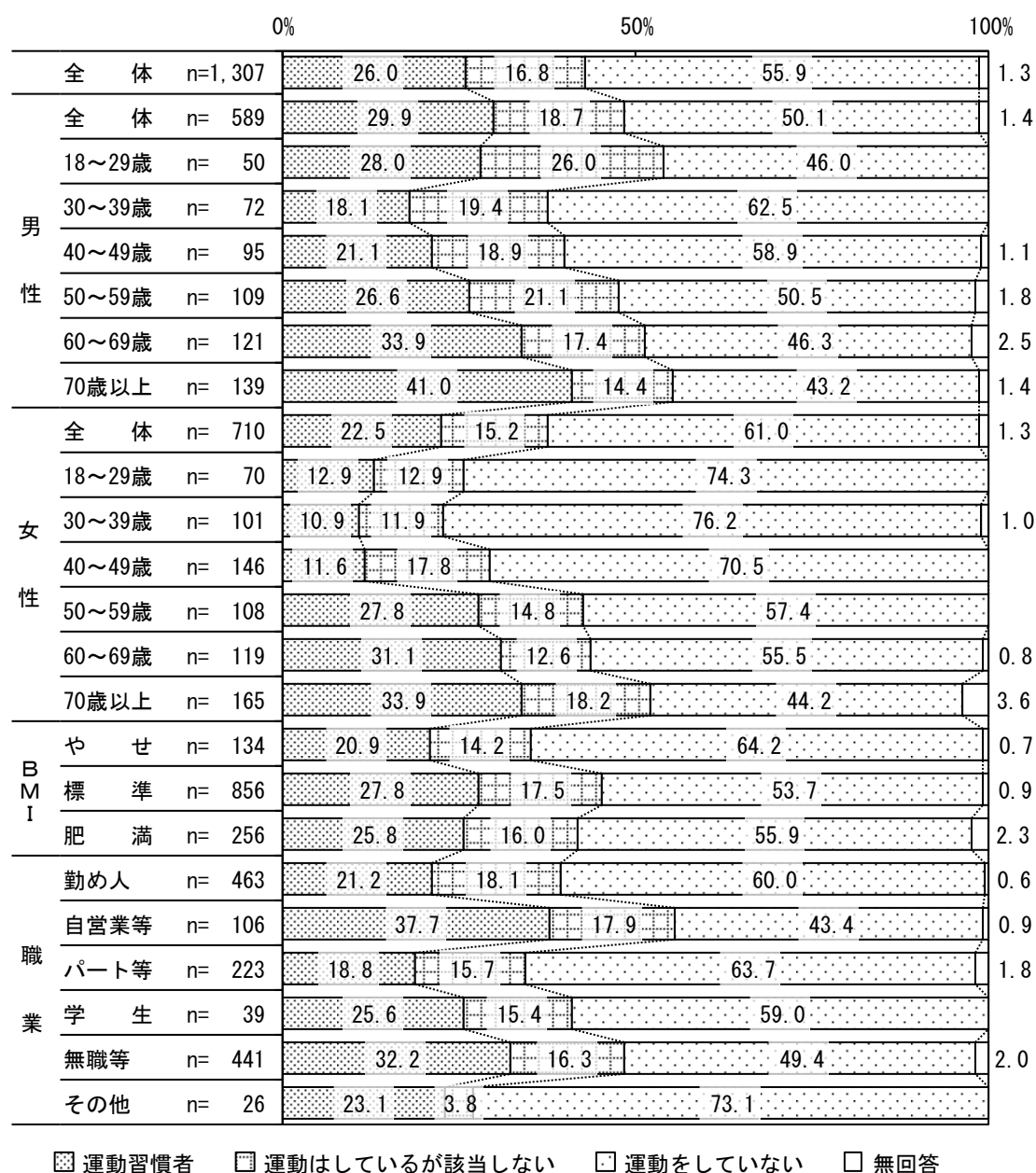


(9) 運動習慣者

運動習慣者は1日30分以上の運動を、週2回以上実施し、1年以上継続している人を指します。(8)で「いつもしている」または「ときどきしている」と回答した人のうち、運動習慣者に該当する人は全体の26.0%です。

運動習慣者に該当する人の割合は、性・年齢別では男女ともに70歳以上が高く、30～39歳が低くなっています。BMI別ではやせが低く、職業別では自営業等が高いのに対しパート等及び勤め人が低くなっています。

図表1-18 運動習慣者

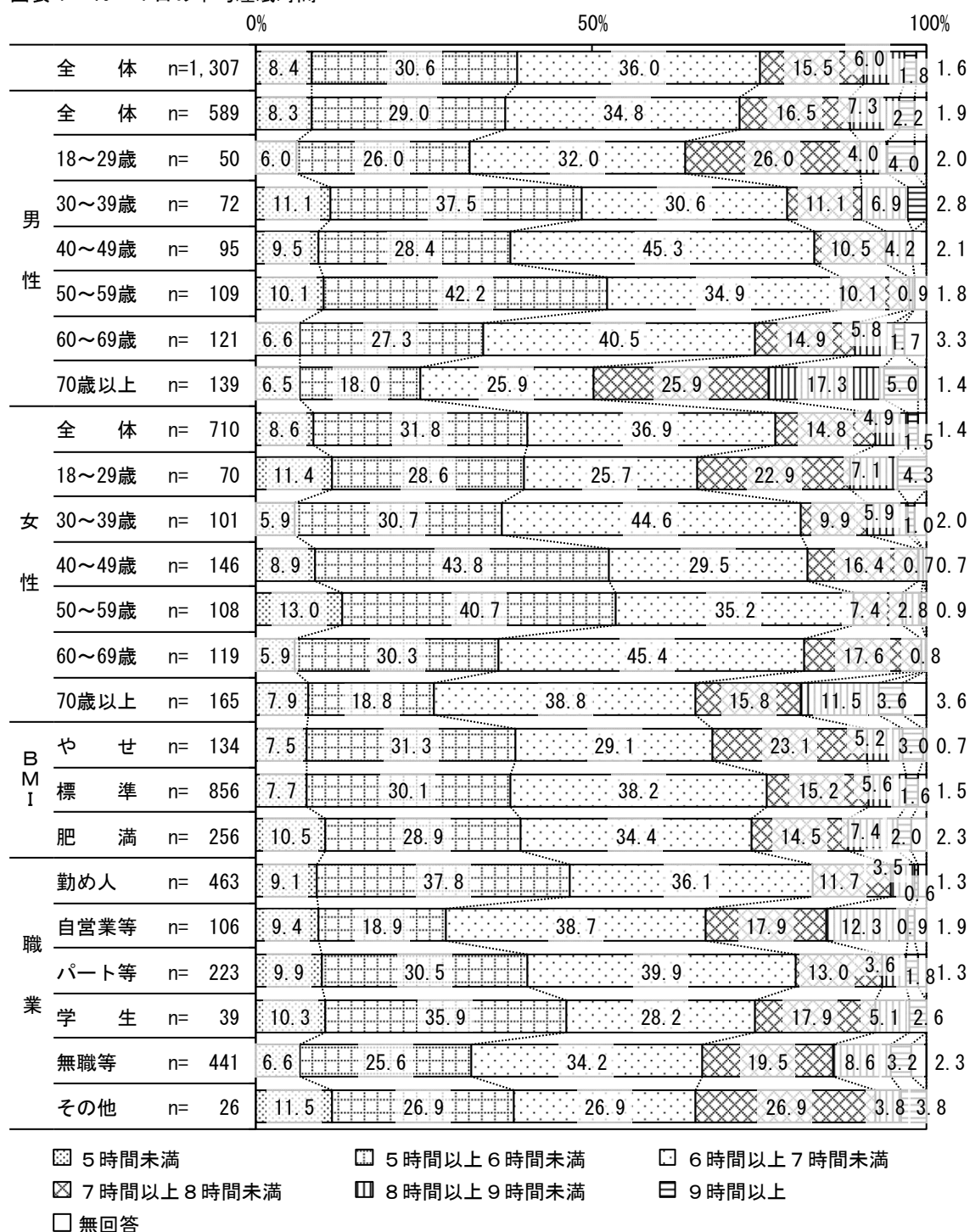


(10) 1日の平均睡眠時間

ここ1か月間の1日の平均睡眠時間をたずねたところ、「6時間以上7時間未満」が36.0%と最も高く、次いで「5時間以上6時間未満」が30.6%、「7時間以上8時間未満」が15.5%となっています。

性・年齢別にみると、男性の30～39歳、50～59歳、女性の18～29歳、50～59歳の「5時間未満」が10%を超えています。

図表 1-19 1日の平均睡眠時間

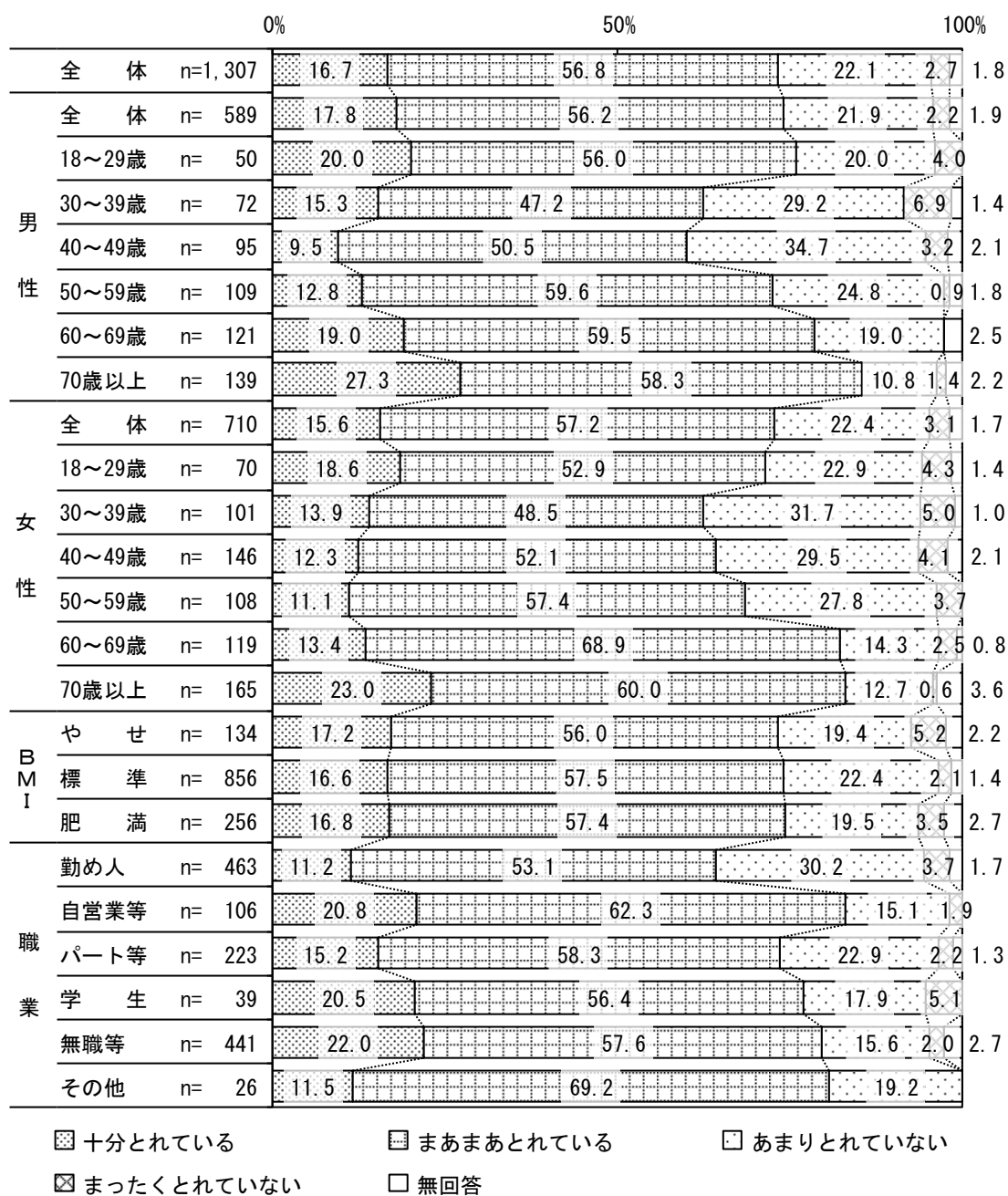


(11) 睡眠で休養がとれているか

「あなたは、日ごろの睡眠で休養が十分にとれていると思いますか」という設問に対しては、「十分とれている」(16.7%)と「まあまあとれている」(56.8%)を合計した〈とれている〉が73.5%、「あまりとれていない」(22.1%)と「まったくとれていない」(2.7%)を合計した〈とれていない〉が24.8%となっています。

〈とれていない〉が高いのは、性・年齢別では男女ともに30～39歳及び40～49歳、職業別では勤め人です。

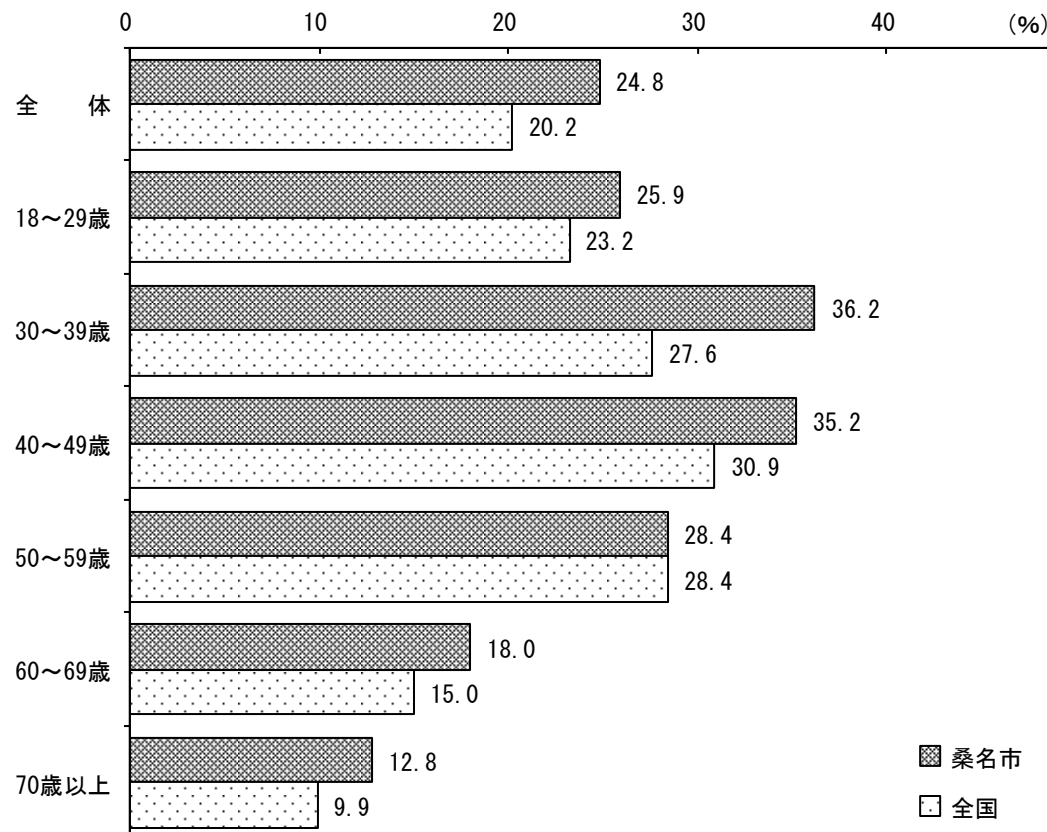
図表 1-20 睡眠で休養がとれているか



図表 1－21は睡眠で休養が〈とれていない〉と回答した人の割合を全国と比較したものです。本市は、全国と比べて4.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、50～59歳を除く年齢区分はすべて本市が高くなっています。特に、30～39歳は全国が27.6%であるのに対し、本市は36.2%と8.6ポイントの差があります。

図表 1－21 睡眠で休養が〈とれていない〉と回答した人の割合（全国との比較）



資料：全国は「平成29年国民健康・栄養調査報告」（厚生労働省）

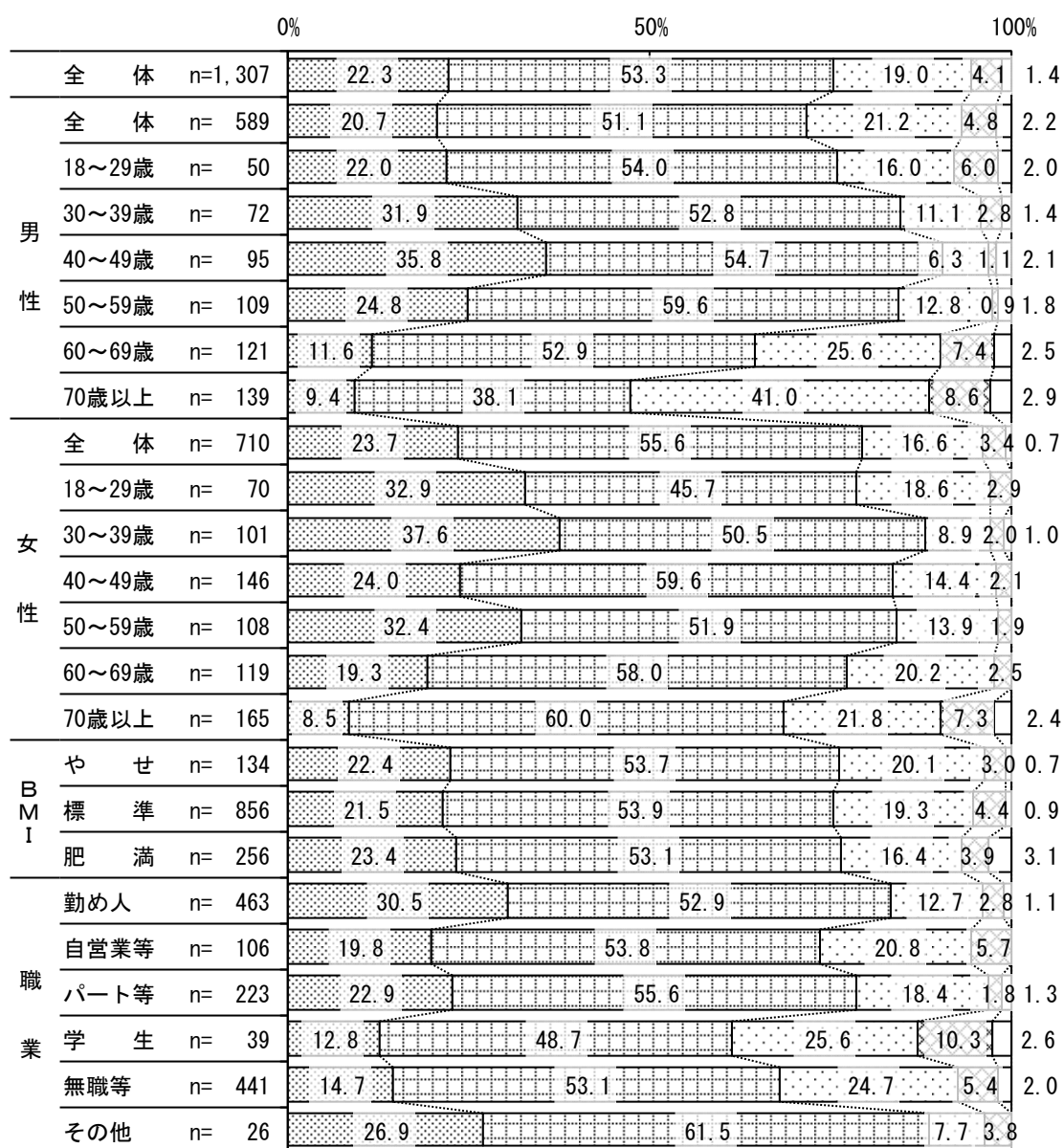
注）「18～29歳」の全国は20～29歳の数値

(12) ストレス

この1か月間に、ストレスを感じたかをたずねたところ、「おおいに感じる」(22.3%)と「多少感じる」(53.3%)を合計した〈ストレスを感じる〉が75.6%です。

「おおいに感じる」が高いのは、性・年齢別にみると、男性では40～49歳、女性では30～39歳、職業別では勤め人です。また、運動していない人や睡眠時間が短い人ほど〈ストレスを感じる〉が高くなっていることがわかります。

図表1-22 ストレス

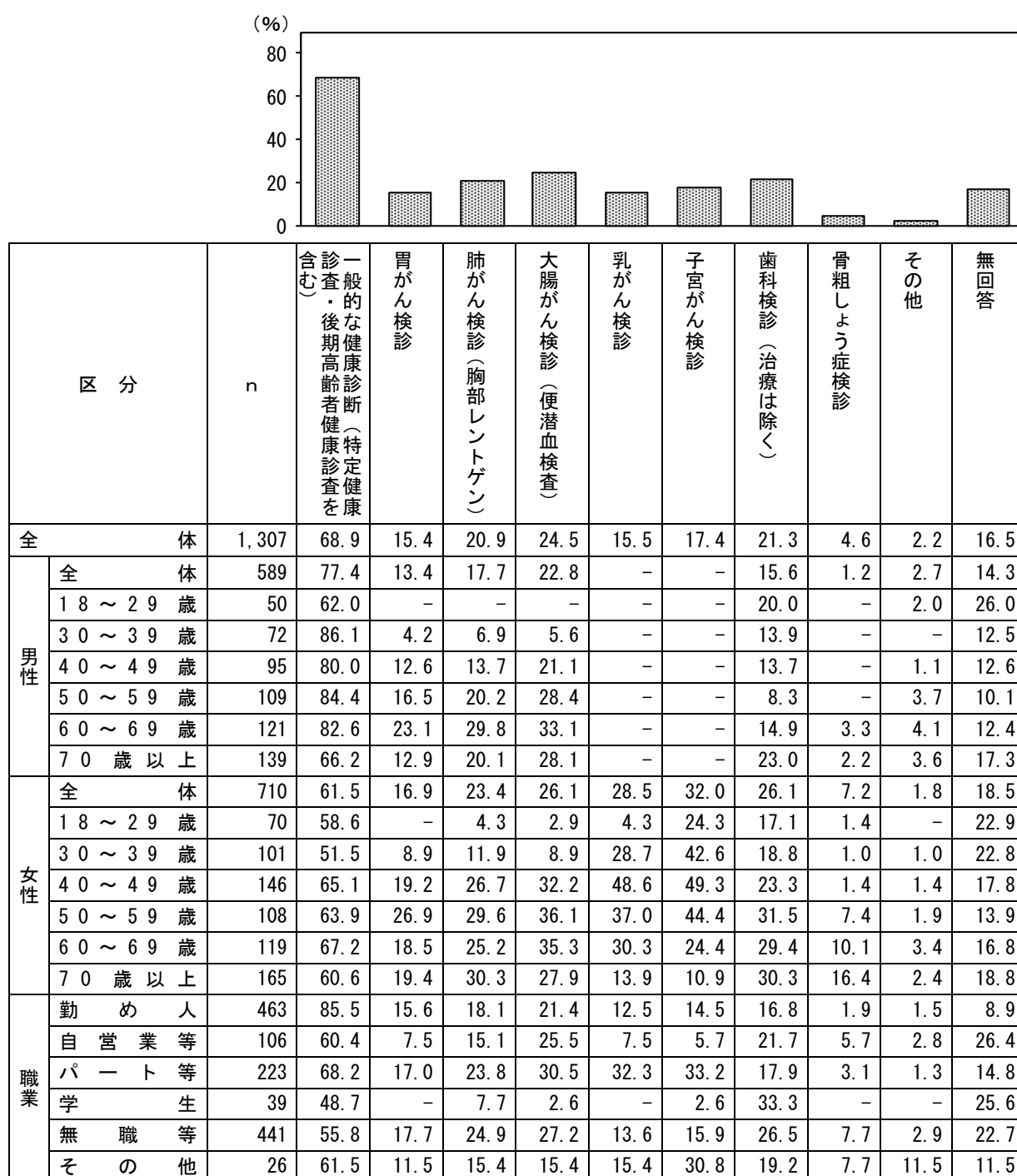


☒ おおいに感じる
 ☒ 多少感じる
 ☐ あまり感じない
 ☒ まったく感じない
 ☐ 無回答

(13) 健（検）診の受診状況

過去1年間に、受診した健康診断や検診等をたずねたところ、「一般的な健康診断（特定健康診査・後期高齢者健康診査を含む）」が68.9%と最も高く、次いで「大腸がん検診（便潜血検査）」が24.5%、「歯科検診」が21.3%、「肺がん検診（胸部レントゲン）」が20.9%などとなっています。性・年齢別にみると、女性の30～39歳では「一般的な健康診断（特定健康診査・後期高齢者健康診査を含む）」が51.5%と比較的低くなっています。

図表 1-23 健（検）診の受診状況（複数回答）



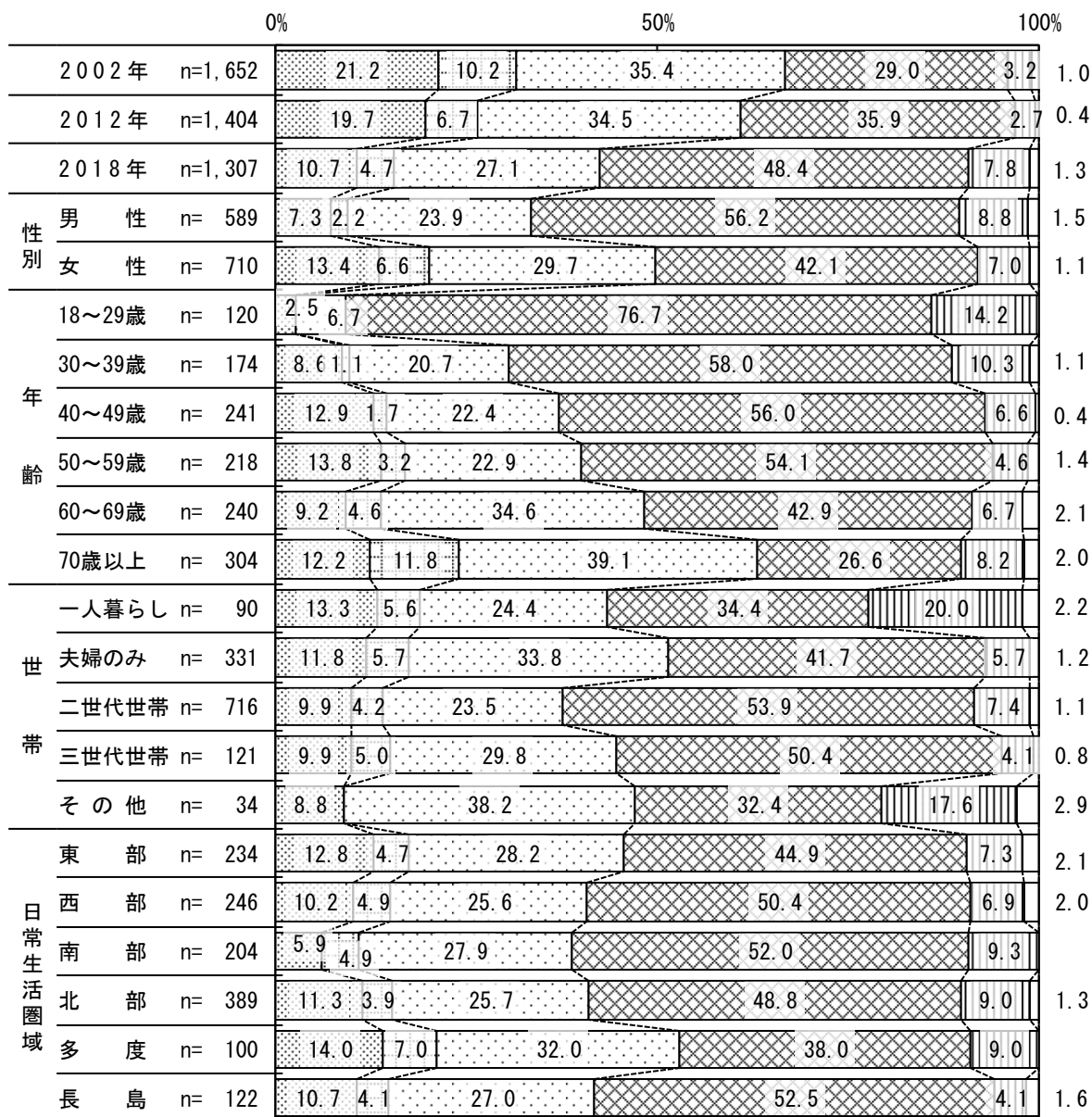
3 地域の活動等について

(1) 近所付き合いの程度

「ふだん近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか」という設問では、「あいさつをする程度の付き合い」が48.4%と最も高く、次いで「立ち話をする程度の付き合い」が27.1%となっており、この2項目で75.5%を占めています。過去の調査との比較では、回を追うごとに付き合いの程度が浅くなってきています。

日常生活圏域別にみると、南部において「何か困ったときに助け合うような付き合い」が他に比べ低くなっています。「ほとんど付き合いはない」理由として、「会う機会がない」「仕事をしていると顔を合わせるときがない」などが多数記入されていました。

図表 1-24 近所付き合いの程度



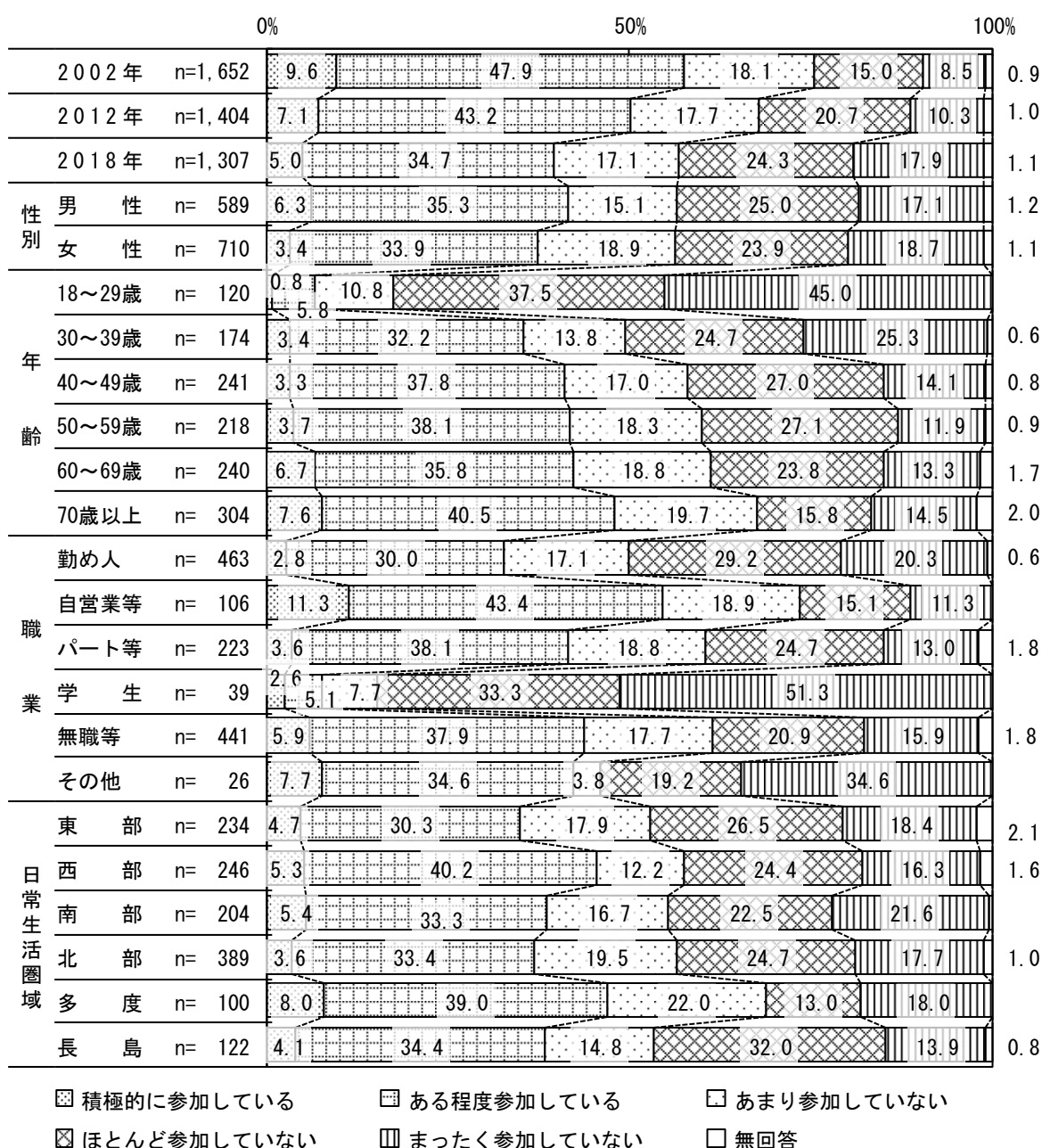
- ☒ 何か困ったときに助け合うような付き合い ☒ お互いに訪問しあう程度の付き合い
☐ 立ち話をする程度の付き合い ☒ あいさつをする程度の付き合い
☐ ほとんど付き合いはない ☐ 無回答

(2) 地域の活動や行事への参加

「地域の活動や行事にどの程度参加していますか」という設問では、「ある程度参加している」が34.7%と最も高く、次いで「ほとんど参加していない」が24.3%となっています。過去の調査との比較では、「積極的に参加している」及び「ある程度参加している」が、回を追うごとに低くなってきています。

年齢別にみると、「積極的に参加している」及び「ある程度参加している」は70歳以上が高くなっており、地域の活動や行事の中心が高齢者であることがわかります。職業別にみると、自営業等に比べ勤め人の「積極的に参加している」が低くなっています。

図表 1-25 地域の活動や行事への参加

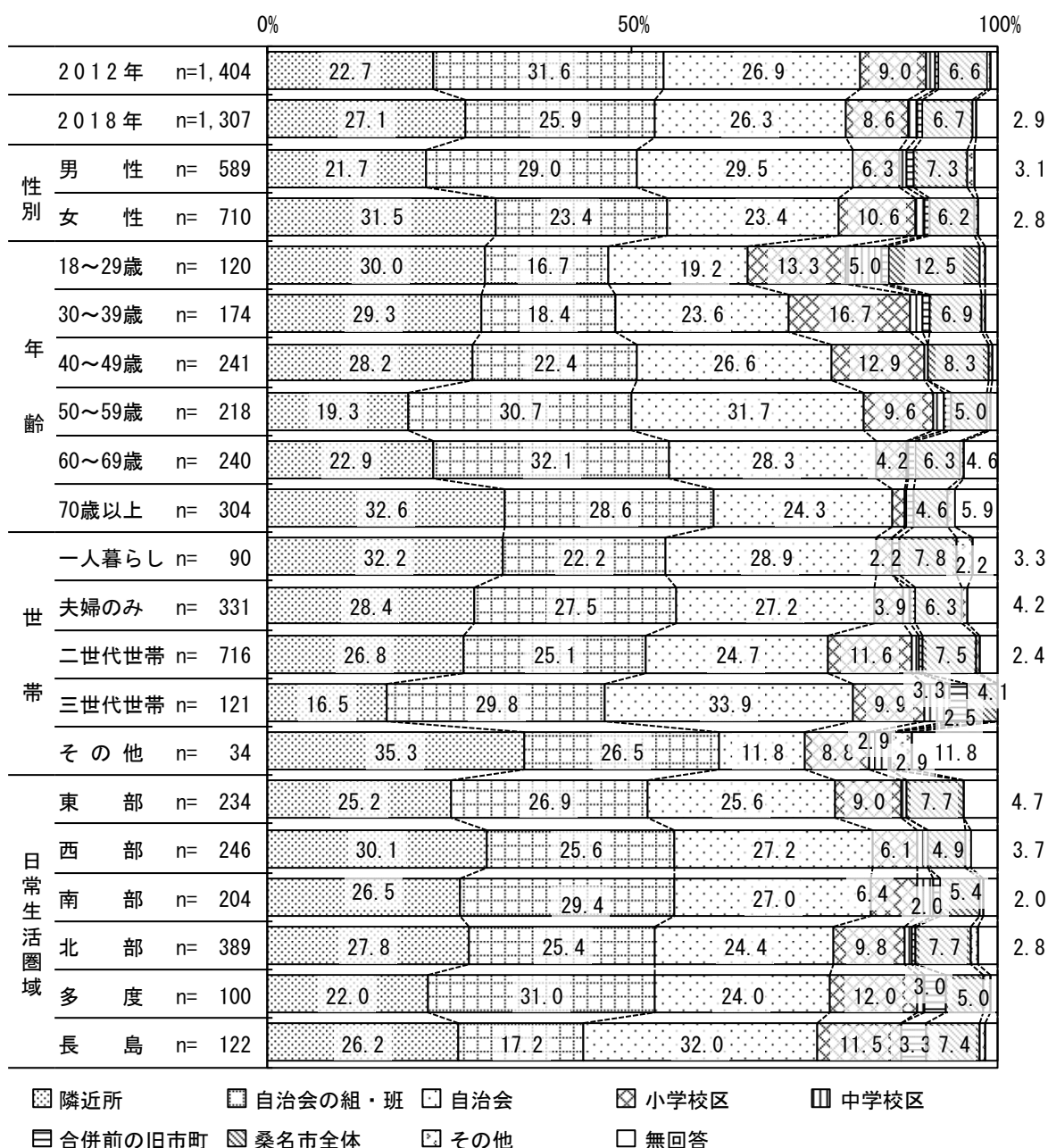


(3) 「地域」の範囲

「ふだんの生活において「地域で支え合う・助け合う」ということを意識した場合、あなたの考える「地域」とは、次のどの範囲ですか」という設問では、「隣近所」が27.1%と最も高く、次いで「自治会」が26.3%、「自治会の組・班」が25.9%などとなっています。

年齢別にみると、50歳未満及び70歳以上は「隣近所」が、50～59歳は「自治会」が、60～69歳は「自治会の組・班」がそれぞれ最も高くなっています。

図表1-26 「地域」の範囲



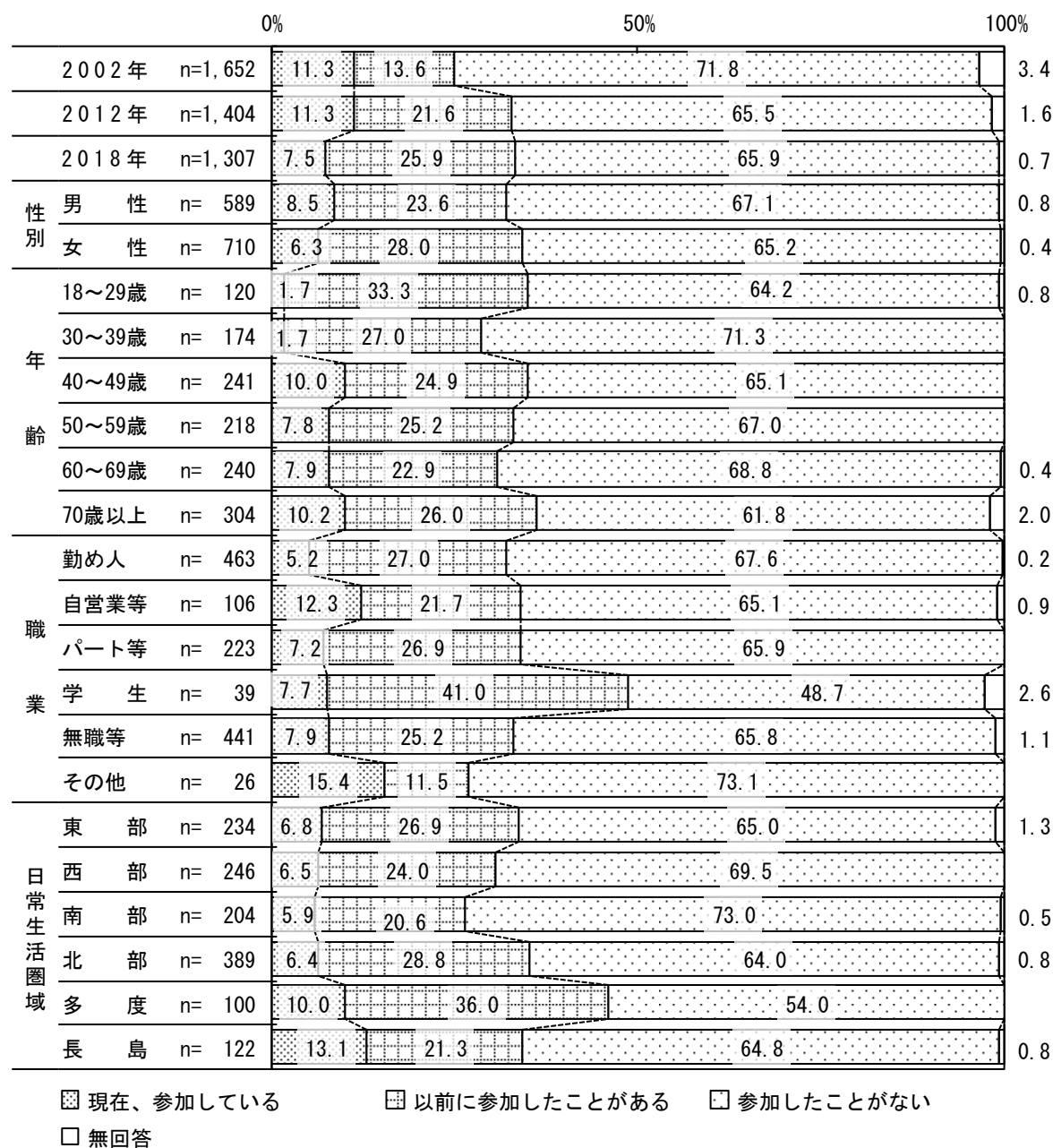
(注) 2%未満の数値はグラフ上の表記を省略してあります。

(4) ボランティア活動への参加

「ボランティア活動に参加したことがありますか」という設問では、「参加したことがない」が65.9%を占めています。「現在、参加している」は低下していますが、「以前に参加したことがある」は、回を追うごとに上昇しています。

「現在、参加している」を属性別にみると、年齢別では40～49歳及び70歳以上で、日常生活圏域別では多度及び長島で10%以上となっています。

図表 1-27 ボランティア活動への参加

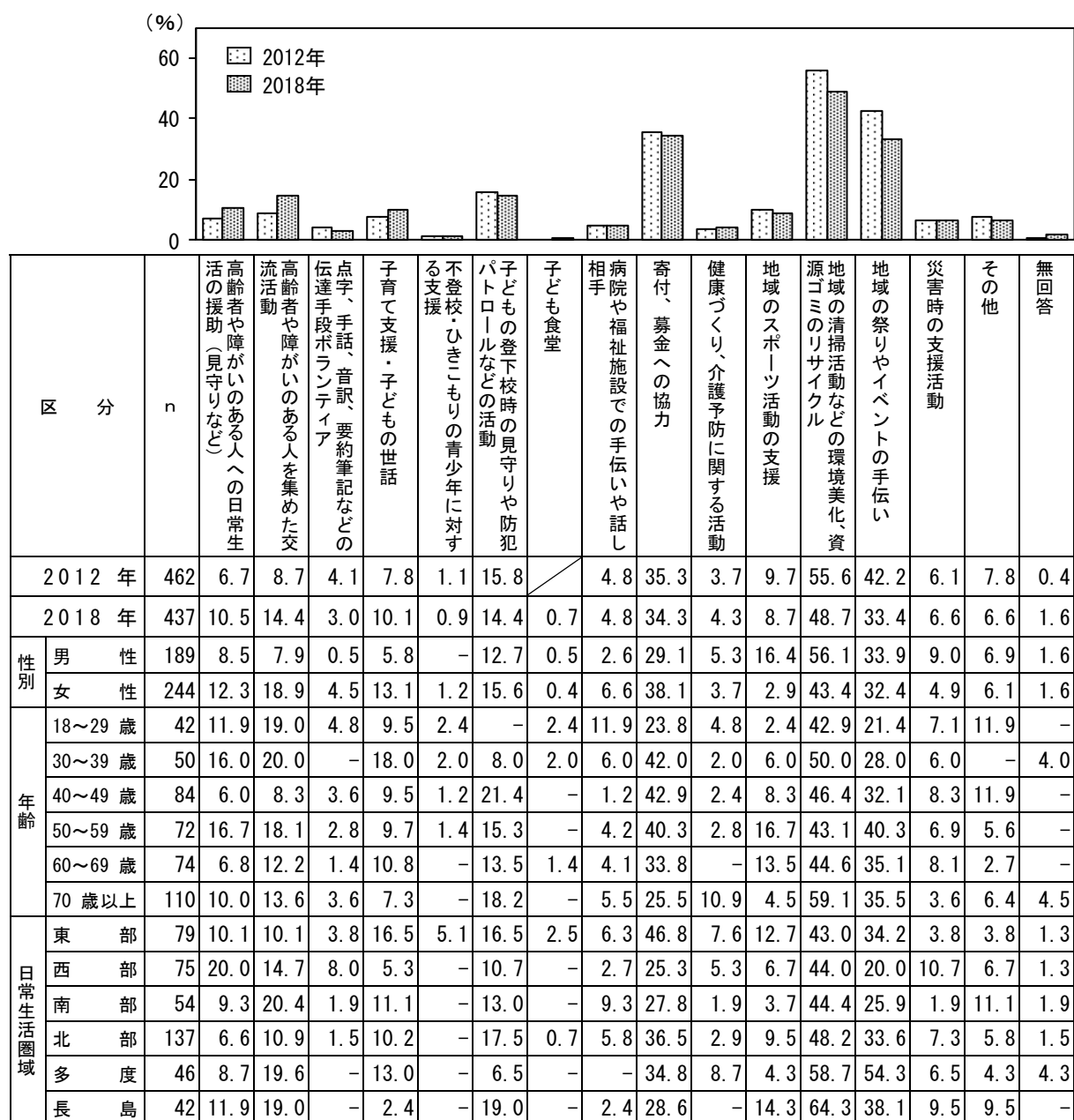


(5) 参加した活動や行事

(4)で「現在、参加している」または「以前に参加したことがある」と回答した人の具体的な活動としては、「地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル」が48.7%と最も高く、次いで「寄付・募金への協力」が34.3%、「地域の祭りやイベントの手伝い」が33.4%などとなっています。

図表 1-28 参加した活動や行事（複数回答）

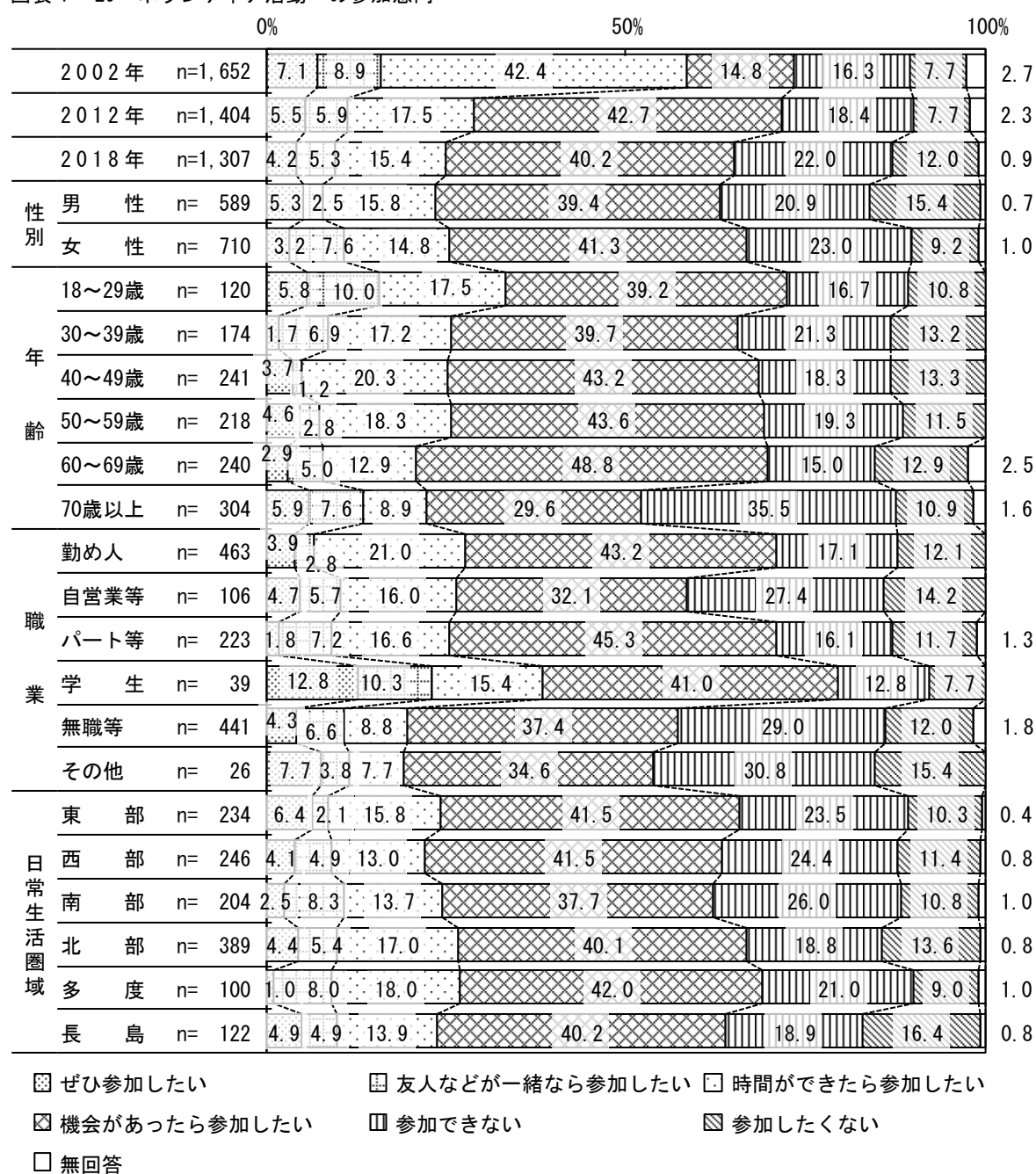
単位：％（nは人）



(6) ボランティア活動への参加意向

「今後ボランティア活動に参加したいと思いますか」という設問では、「機会があったら参加したい」が40.2%と最も高くなっており、次いで「参加できない」が22.0%、「時間ができたら参加したい」が15.4%の順となっています。最も積極的な参加意向である「ぜひ参加したい」は、過去の調査に比べ低くなっています。また、「友人などが一緒なら～」 「時間ができたら～」 「機会があったら～」といった条件付きの参加意向を合計すると60.9%となります。潜在的な参加意向を顕在化するような機会の創出が求められています。

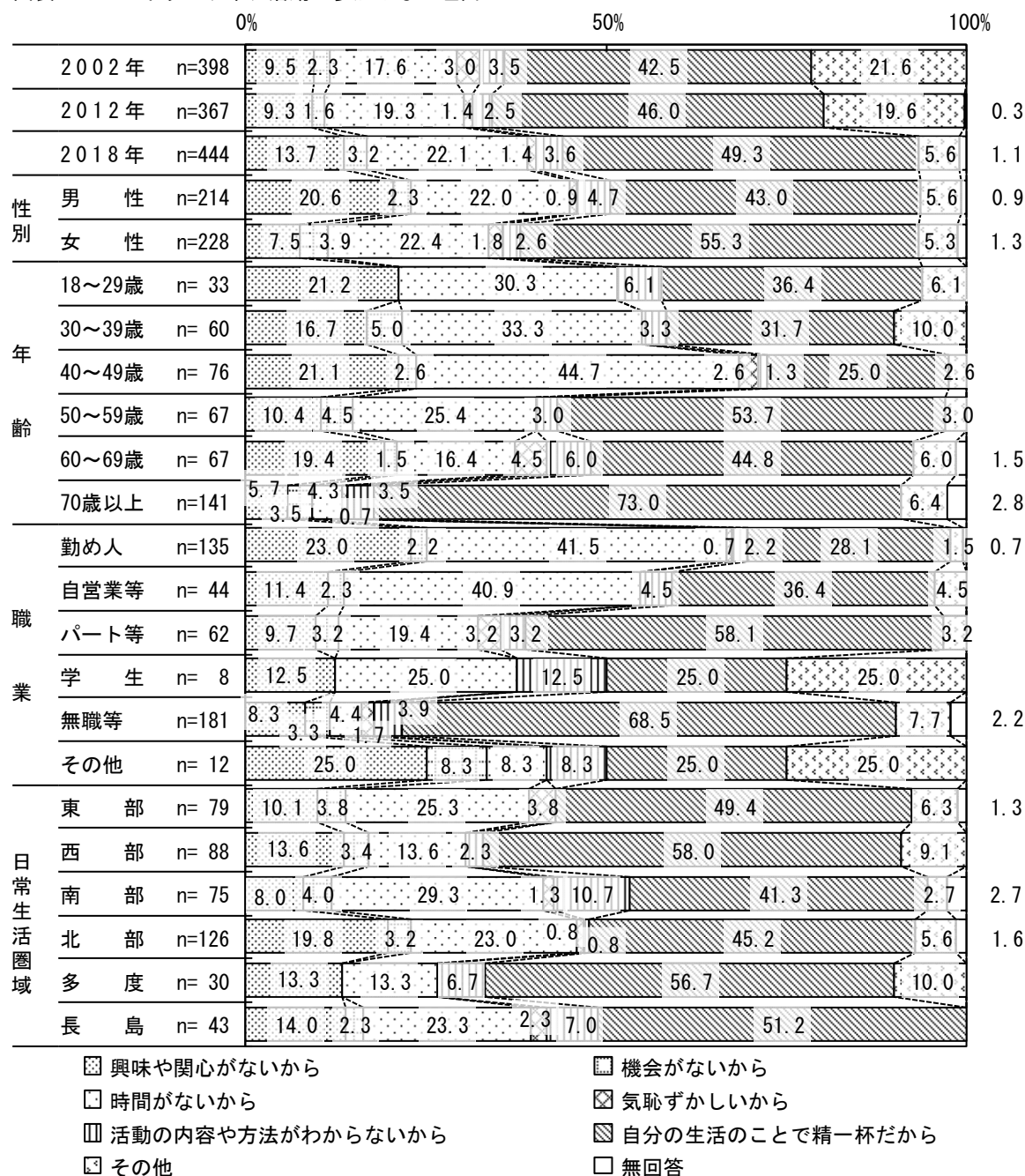
図表 1-29 ボランティア活動への参加意向



(7) ボランティア活動に参加しない理由

ボランティア活動に「参加できない」または「参加したくない」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「自分の生活のことで精一杯だから」が49.3%と半数近くを占め、次いで「時間がないから」が22.1%、「興味や関心がないから」が13.7%となっています。

図表 1-30 ボランティア活動に参加しない理由

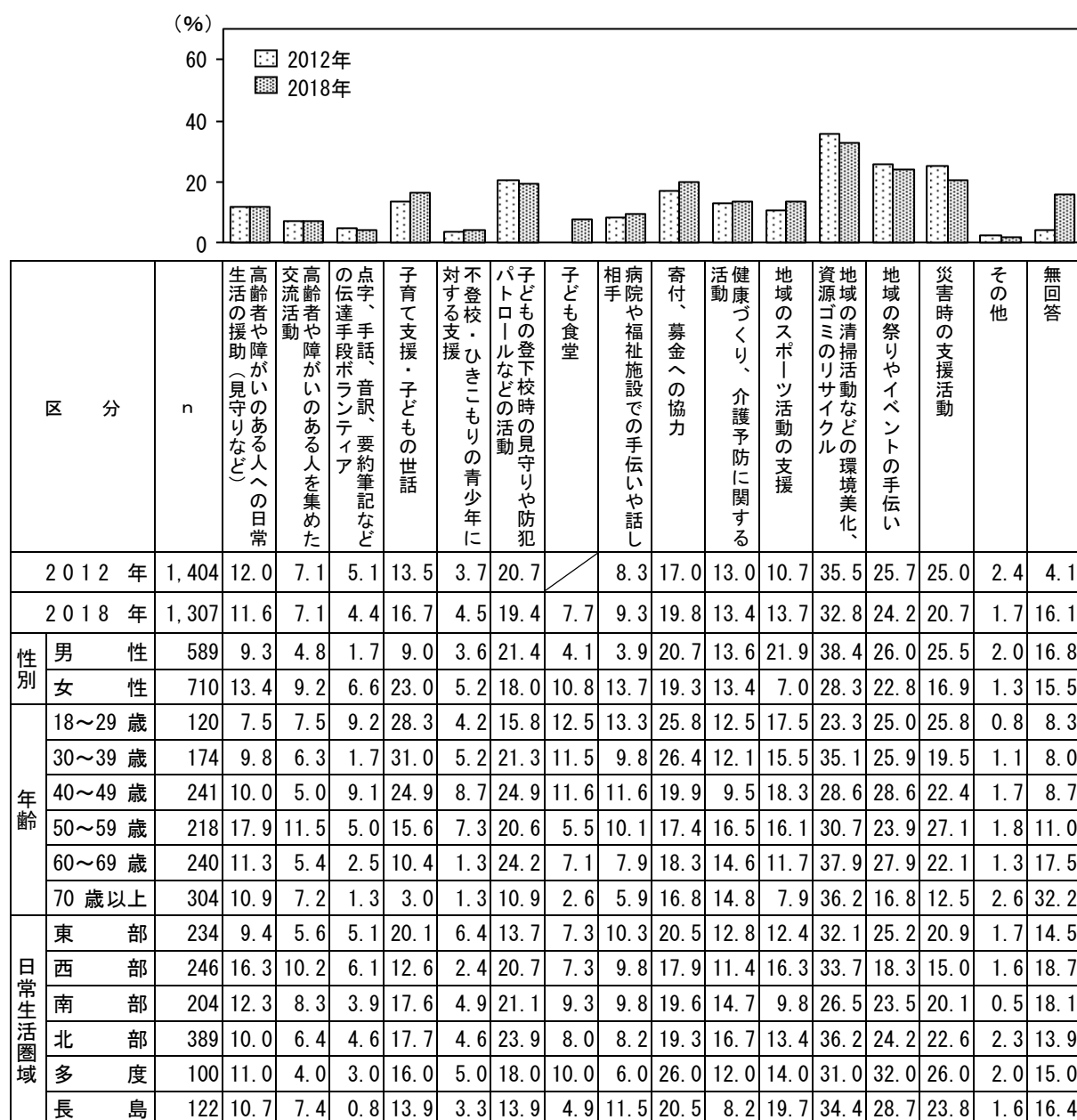


(8) やってみたい活動やできそうな活動

「これからの地域福祉は地域住民の参加や協力が必要といわれていますが、次の活動の中であなたがやってみたいことやできそうなものがありますか」という設問では、「地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル」が32.8%と最も高く、次いで「地域の祭りやイベントの手伝い」が24.2%、「災害時の支援活動」が20.7%などとなっています。過去の調査に比べ「子育て支援・子どもの世話」「地域のスポーツ活動の支援」「寄付、募金への協力」などが高くなっています。

図表 1-31 やってみたい活動・できそうな活動（複数回答・3つまで）

単位：％（nは人）



(9) 会・グループ等への参加頻度

会・グループ等への参加頻度について、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を合計した〈参加している〉人の割合は、③趣味関係のグループが20.5%と最も高く、次いで、②スポーツ関係のグループやクラブが16.8%、④学習・教養サークルが8.2%、①ボランティアのグループが8.1%、⑤特技や経験を他の人へ伝える活動が3.9%の順となっています。

①ボランティアのグループ及び⑤特技や経験を他の人へ伝える活動は「年に数回」、②スポーツ関係のグループやクラブは「週1回」、③趣味関係のグループ及び④学習・教養サークルは「月1～3回」が最も高くなっています。

〈週1回以上〉が10%を超えているのは、②スポーツ関係のグループやクラブのみです。

図表1-32 会・グループ等への参加頻度

単位：％（nは人）

区 分	参加頻度				月1～3回	年に数回	〈参加している〉	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	〈週1回以上〉					
n=1,307									
①ボランティアのグループ	0.3	0.6	0.8	1.7	2.0	4.4	8.1	90.0	1.8
②スポーツ関係のグループやクラブ	1.7	4.3	4.9	10.9	2.7	3.2	16.8	81.5	1.8
③趣味関係のグループ	1.0	1.7	3.0	5.7	9.1	5.7	20.5	77.8	1.8
④学習・教養サークル	0.3	0.4	1.4	2.1	3.6	2.5	8.2	90.1	1.8
⑤特技や経験を他の人へ伝える活動	0.3	0.7	0.2	1.2	0.8	1.9	3.9	94.1	2.0

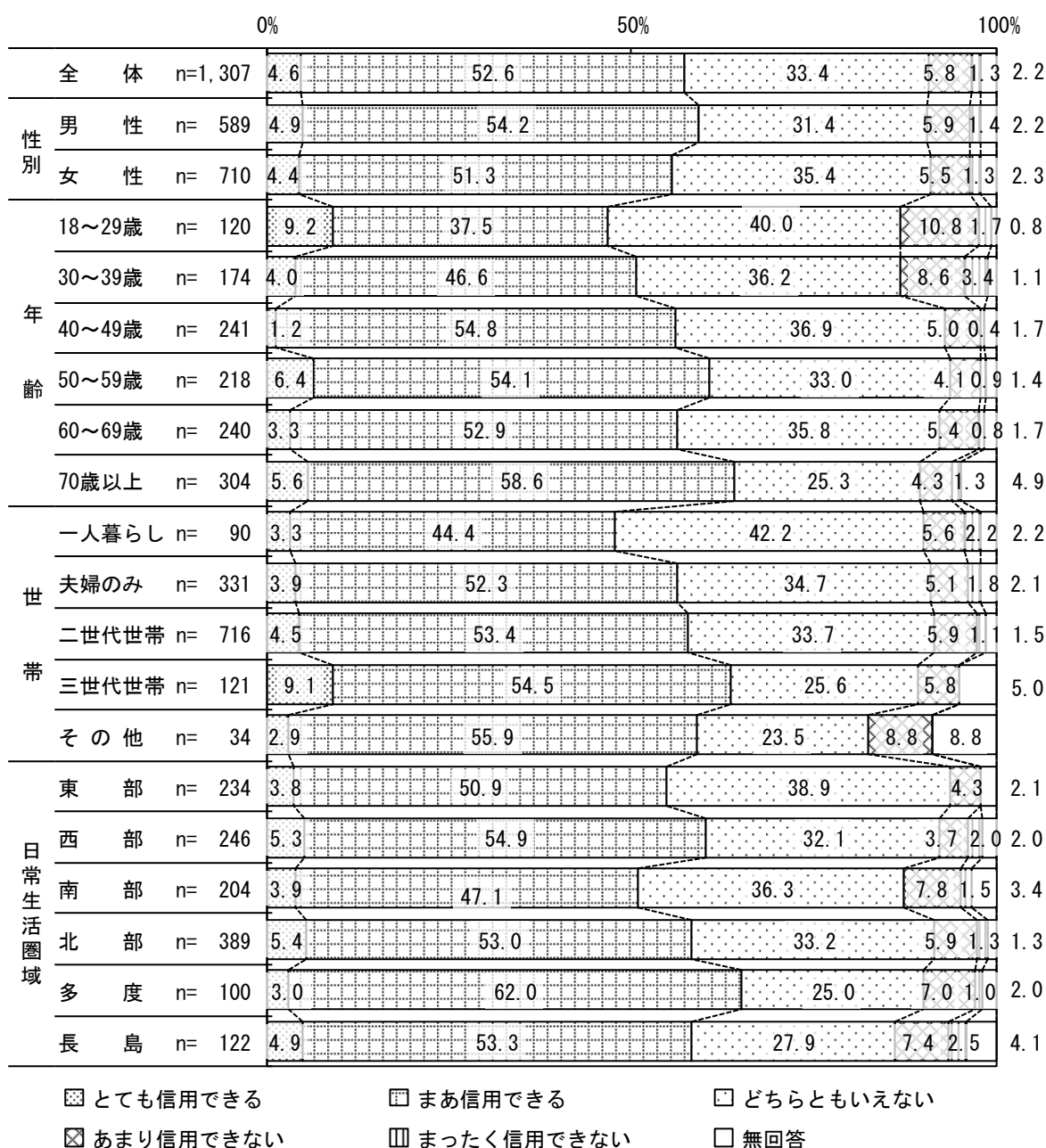
（注）『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

4 地域の課題等について

(1) 地域の人は信用できるか

「一般的に、地域の人は信用できると思いますか」という設問では、「まあ信用できる」が52.6%を占め、「とても信用できる」(4.6%)との合計〈信用できる〉は57.2%です。「あまり信用できない」(5.8%)と「まったく信用できない」(1.3%)の合計〈信用できない〉は7.1%です。年齢別にみると、年齢が上がるにしたがい〈信用できる〉が高くなっています。日常生活圏域別にみると、多度において〈信用できる〉が他に比べ高くなっています。

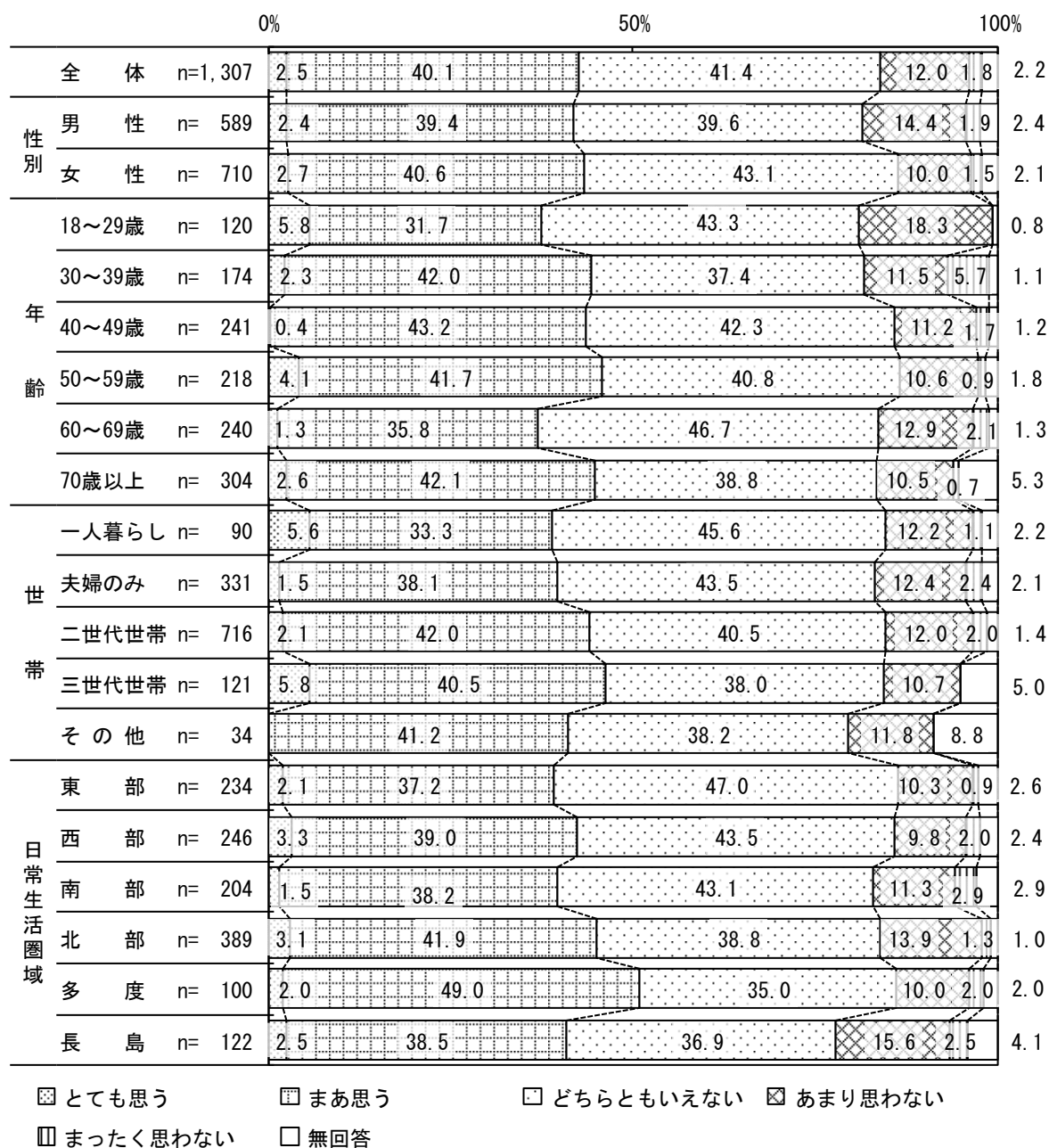
図表 1-33 地域の人は信用できるか



(2) 地域の人々は他の人の役に立とうとすると思うか

「一般的に、地域の人々は、他の人の役に立とうと思いますか」という設問では、「どちらともいえない」が41.4%と最も高くなっています。「まあ思う」(40.1%)と「とても思う」(2.5%)との合計〈思う〉は42.6%です。「あまり思わない」(12.0%)と「まったく思わない」(1.8%)の合計〈思わない〉は13.8%です。〈思う〉を属性別にみると、年齢別では50～59歳が、日常生活圏域別では多度が他に比べ高くなっています。

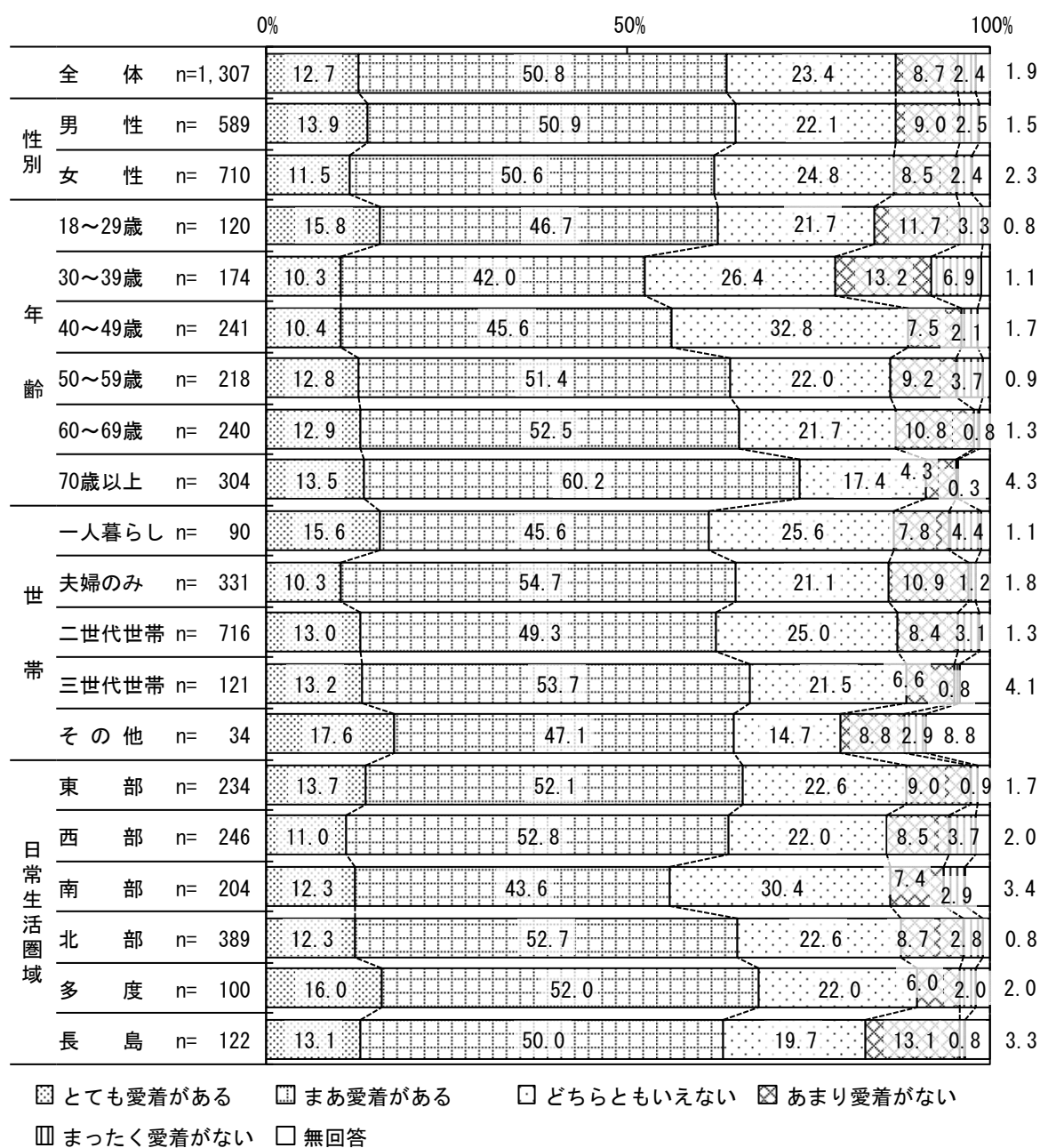
図表 1-34 地域の人々は他の人の役に立とうとすると思うか



(3) 地域に対する愛着

「あなたは、住んでいる地域に愛着はありますか」という設問では、「まあ愛着がある」が50.8%を占めており、「とても愛着がある」(12.7%)との合計〈愛着がある〉は63.5%です。「あまり愛着がない」(8.7%)と「まったく愛着がない」(2.4%)の合計〈愛着がない〉は11.1%です。年齢別にみると、年齢が上がるにしたがい〈愛着がある〉が高くなる傾向にあります。日常生活圏域別にみると、〈愛着がある〉が最も高いのは多度、最も低いのは南部となっています。

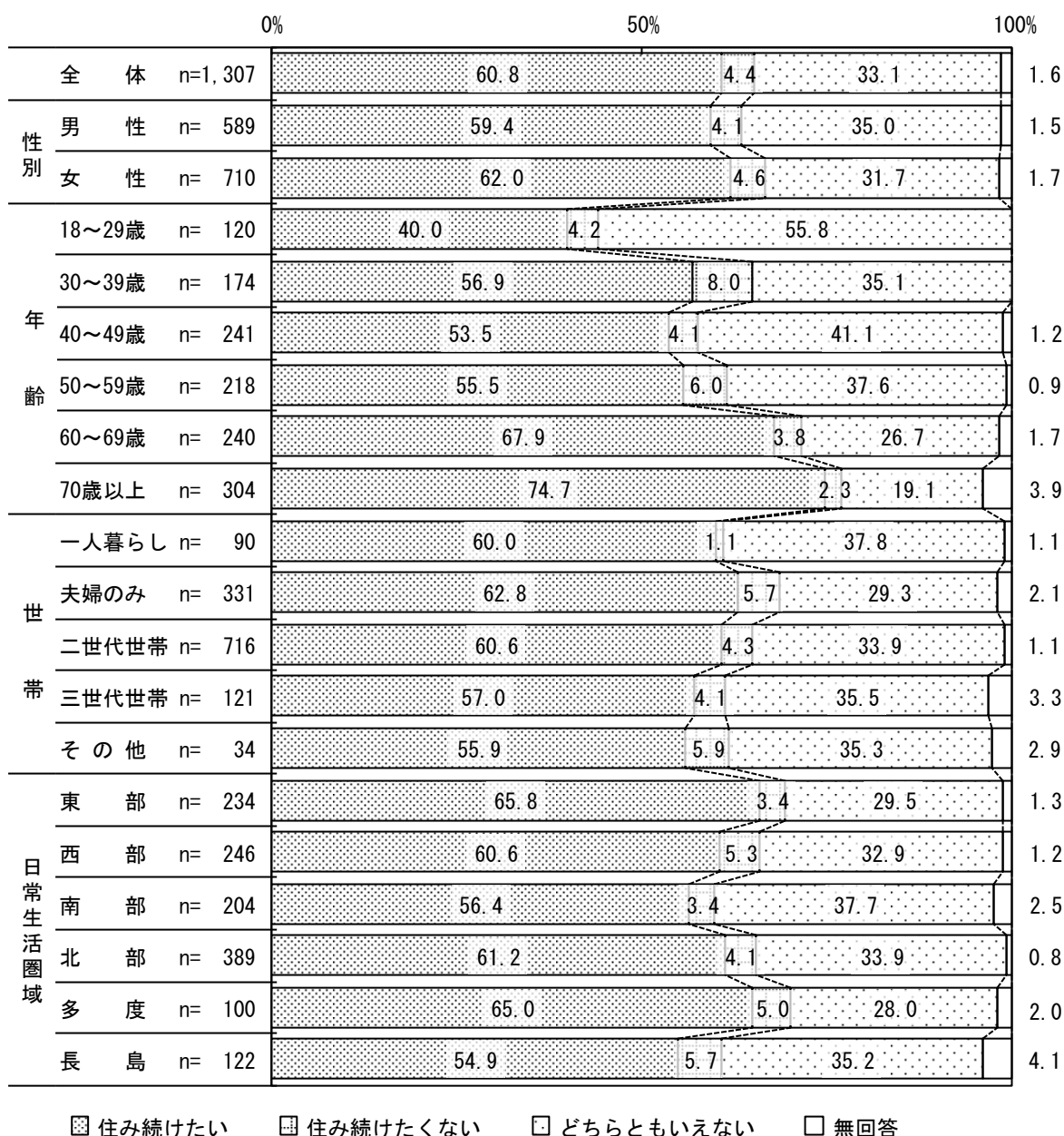
図表 1-35 地域に対する愛着



(4) 地域に住み続けたいか

「これからもあなたの地域に住み続けたいと思いますか」という設問では、「住み続けたい」が60.8%を占めています。「住み続けたくない」はわずか4.4%ですが、「どちらともいえない」が33.1%あります。年齢別にみると、「住み続けたい」は、年齢が上がるにしたがい高くなる傾向にあります。日常生活圏域別にみると、「住み続けたい」が最も高いのは東部、最も低いのは長島で、10ポイント以上の差があります。

図表 1-36 地域に住み続けたいか

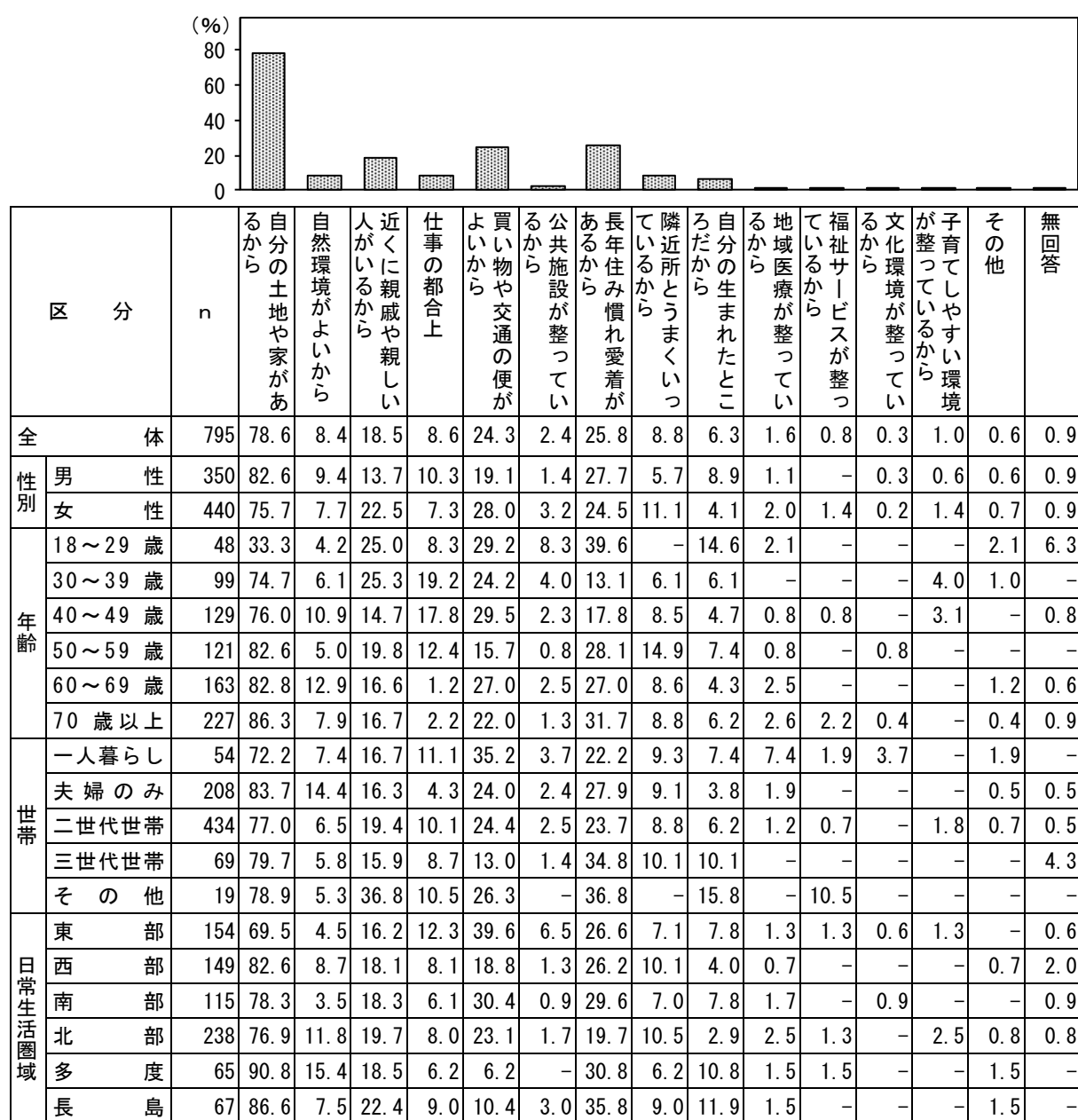


(5) 地域に住み続けたい理由

(4)で地域に「住み続けたい」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「自分の土地や家があるから」が78.6%と最も高く、次いで「長年住み慣れ愛着があるから」が25.8%、「買い物や交通の便がよいから」が24.3%などとなっています。日常生活圏域別にみると、「買い物や交通の便がよいから」や「自分の土地や家があるから」は地域によって20ポイント以上の差があります。

図表 1-37 地域に住み続けたい理由（複数回答・2つまで）

単位：％（nは人）

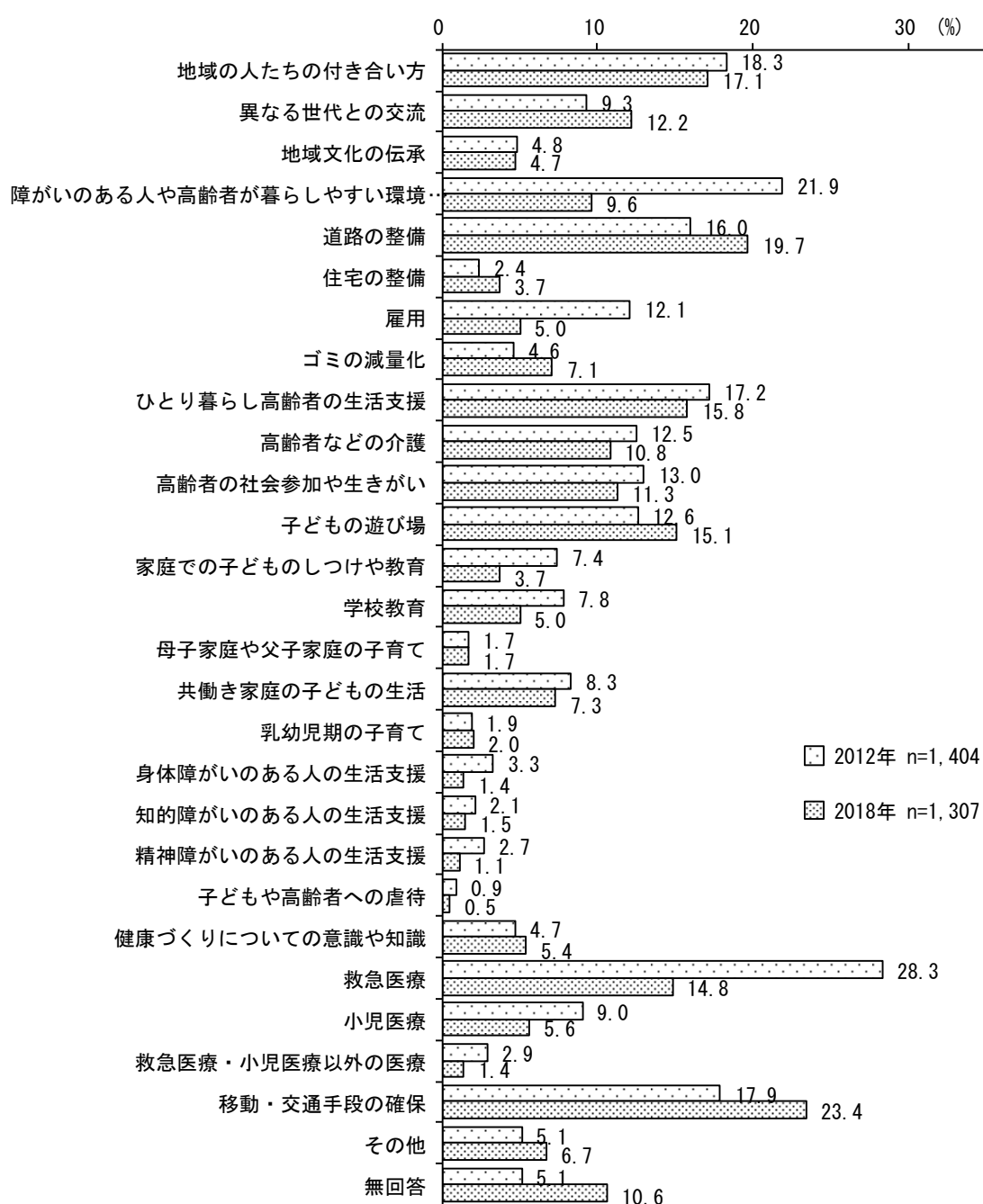


(6) 地域の課題

「あなたの住んでいる地域には、どのような課題や問題があると感じていますか」という設問では、「移動・交通手段の確保」が23.4%と最も高く、次いで「道路の整備」が19.7%、「地域の人たちの付き合い方」が17.1%、「ひとり暮らし高齢者の生活支援」が15.8%、「子どもの遊び場」が15.1%などの順となっています。

過去の調査との比較では、「救急医療」や「障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり」が大幅に低くなっている反面、「移動・交通手段の確保」などが高くなっています。

図表 1-38 地域の課題（複数回答・3つまで／2012年との比較）



年齢別にみると、18～29歳では「道路の整備」、30～39歳及び40～49歳では「子どもの遊び場」、50歳以上の各年齢層では「移動・交通手段の確保」が最も高くなっています。

無回答以外の項目の合計は、30～39歳が238.8%と最も高く、次いで40～49歳が226.5%、50～59歳が226.0%となっており、30～50代の働き盛りの世代が、多くの課題を抱えていることがわかります。

図表 1－39 地域の課題（複数回答・3つまで／年齢別）

単位：％（nは人）

区 分	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
n	120	174	241	218	240	304
地域の人たちの付き合い方	10.8	10.3	16.2	③19.7	③21.3	②18.8
異なる世代との交流	10.0	6.3	11.6	11.9	17.1	13.2
地域文化の伝承	4.2	4.0	5.8	5.0	5.4	3.9
障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり	9.2	7.5	8.3	9.2	12.5	10.2
道路の整備	①22.5	③21.3	③18.3	②21.1	20.0	17.4
住宅の整備	4.2	2.9	4.6	4.6	3.3	2.6
雇用	8.3	9.2	5.4	6.4	4.2	1.0
ゴミの減量化	10.0	4.0	8.7	6.9	3.3	8.6
ひとり暮らし高齢者の生活支援	9.2	10.9	14.1	15.1	②22.1	③18.4
高齢者などの介護	11.7	6.3	8.7	10.6	11.3	14.5
高齢者の社会参加や生きがい	4.2	4.0	6.2	12.4	15.8	17.8
子どもの遊び場	③17.5	①29.3	①24.1	9.6	11.7	5.6
家庭での子どものしつけや教育	3.3	4.6	6.2	4.1	2.9	1.6
学校教育	5.8	12.6	7.9	3.2	2.1	2.0
母子家庭や父子家庭の子育て	1.7	3.4	2.9	2.3	－	0.7
共働き家庭の子どもの生活	11.7	③21.3	10.4	5.5	1.3	1.3
乳幼児期の子育て	5.0	5.7	2.5	1.4	0.4	－
身体障がいのある人の生活支援	2.5	1.1	1.2	1.8	0.8	1.3
知的障がいのある人の生活支援	2.5	1.7	2.1	0.9	0.8	1.6
精神障がいのある人の生活支援	3.3	0.6	2.1	1.4	0.4	0.3
子どもや高齢者への虐待	0.8	0.6	0.8	0.5	－	0.3
健康づくりについての意識や知識	1.7	2.3	3.7	6.0	5.0	9.2
救急医療	11.7	②22.4	14.5	18.3	14.2	9.9
小児医療	6.7	20.1	5.8	5.0	2.1	－
救急医療・小児医療以外の医療	－	2.9	1.2	1.8	0.8	1.3
移動・交通手段の確保	②20.8	17.8	②22.8	①29.8	①23.8	①23.7
その他	8.3	5.7	10.4	11.5	2.9	3.3
無回答	7.5	6.9	7.5	7.8	9.6	19.7
無回答以外の合計	207.6	238.8	226.5	226.0	205.5	188.5

※ は上位3位

日常生活圏域別にみると、東部では「道路の整備」が、南部では「道路の整備」と「移動・交通手段の確保」が同率で、それ以外の圏域では「移動・交通手段の確保」が最も高くなっています。なお、「移動・交通手段の確保」及び「道路の整備」以外では、東部及び西部では「ひとり暮らし高齢者の生活支援」、東部及び南部並びに長島では「子どもの遊び場」、北部では「地域の人たちの付き合い方」と「救急医療」、多度では「救急医療」が、それぞれ上位3位までに入っています。

無回答以外の項目の合計は、多度が最も高くなっています。

図表1-40 地域の課題（複数回答・3つまで／日常生活圏域別）

単位：％（nは人）

区 分	東 部	西 部	南 部	北 部	多 度	長 島
n	234	246	204	389	100	122
地域の人たちの付き合い方	15.8	15.9	16.7	②19.5	17.0	14.8
異なる世代との交流	15.8	11.8	8.8	13.9	7.0	9.8
地域文化の伝承	6.4	2.4	2.9	3.6	12.0	6.6
障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり	6.0	12.2	9.3	9.0	14.0	11.5
道路の整備	①19.7	②23.6	①23.0	14.1	③22.0	②20.5
住宅の整備	4.3	4.5	4.9	2.6	3.0	3.3
雇用	2.6	4.5	5.4	5.9	10.0	4.1
ゴミの減量化	9.8	3.7	5.4	10.5	1.0	4.1
ひとり暮らし高齢者の生活支援	②18.4	③17.5	15.2	15.4	10.0	14.8
高齢者などの介護	8.5	17.1	9.8	11.3	9.0	4.1
高齢者の社会参加や生きがい	10.3	13.4	11.3	12.3	5.0	11.5
子どもの遊び場	③16.2	15.4	③21.1	10.5	14.0	③18.9
家庭での子どものしつけや教育	3.4	4.1	2.5	4.4	6.0	0.8
学校教育	6.8	2.8	3.9	3.9	12.0	6.6
母子家庭や父子家庭の子育て	2.6	1.6	0.5	2.3	2.0	－
共働き家庭の子どもの生活	7.7	4.1	5.9	10.8	7.0	5.7
乳幼児期の子育て	2.1	1.2	2.5	2.1	3.0	1.6
身体障がいのある人の生活支援	0.9	2.4	1.0	1.3	3.0	－
知的障がいのある人の生活支援	1.3	1.6	2.5	1.5	1.0	0.8
精神障がいのある人の生活支援	1.3	1.6	1.5	1.0	1.0	－
子どもや高齢者への虐待	0.4	0.8	0.5	0.8	－	－
健康づくりについての意識や知識	7.3	3.7	4.9	4.4	9.0	5.7
救急医療	9.4	13.4	12.7	③17.0	②24.0	16.4
小児医療	7.7	3.7	4.9	5.9	7.0	4.9
救急医療・小児医療以外の医療	0.4	2.0	1.0	1.8	1.0	0.8
移動・交通手段の確保	13.2	①26.8	①23.0	①22.6	①33.0	①32.8
その他	4.3	8.5	5.4	7.7	3.0	9.0
無回答	12.0	10.2	13.2	11.3	5.0	7.4
無回答以外の合計	202.6	220.3	206.5	216.1	236.0	209.1

※ は上位3位

「その他」の地域の課題や問題として、以下の記入がありました。

- 大型総合病院の充実（2件）
- 産婦人科（2件）
- 緊急外来が可能な小児科
- 信頼できる病院が少ない（2件）
- ゴミ分別の簡易化（2件）
- ゴミ捨て場が自宅から離れていて、車で捨てに行く
- ゴミのポイ捨て
- スーパー・コンビニなど買い物できる店が近くにない（6件）
- 郵便局が近くにない、銀行のATMもひとつしかない
- 小学校の立地の悪さ
- 学校の先生の質の向上（2件）
- 学童保育の充実
- PTA活動
- 公立幼稚園の3年保育
- 防犯対策（3件）
- 空き家対策（2件）
- 災害対策（10件）
- 災害時の避難場所
- 津波に対する危険地域の対策
- 公園・道路等の整備が不十分（7件）
- 路上駐車対策（3件）
- ペットのフンの始末・飼い方（2件）
- 公共交通機関（3件）
- 下水道の整備（4件）
- 都市ガスの整備
- 官公署や派出所をつくってほしい（2件）
- 区画整備
- 少子高齢化の進行（6件）
- 高齢者が安心して助け合える施設（2件）
- 自治会の役員などの担い手不足（4件）
- 地域の交流
- 地域の独自性
- 深夜の騒音や車の盗難など治安が悪い（3件）
- 観光地の少なさ
- 市の財政状況（4件）
- 市民税が高い
- 水道料金が安い

(7) 周りの人との「助け合い」の状況

周りの人との「助け合い」の状況をみると、「該当する人がいる」は、①心配事や愚痴を聞いてくれる人が94.5%と最も高く、次いで、③看病や世話をしてくれる人が93.6%、②心配事や愚痴を聞いてあげる人が92.7%、④看病や世話をしてあげる人が91.5%となっています。

①～④のいずれの項目も「配偶者」が最も高くなっていますが、①及び②の心配事や愚痴については「友人」が同居の子どもをはじめとする親族を上回っており、コミュニケーションを通じた心の健康には友人の存在が非常に重要であることがわかります。

図表 1-41 周りの人との助け合いの状況

単位：％（nは人）

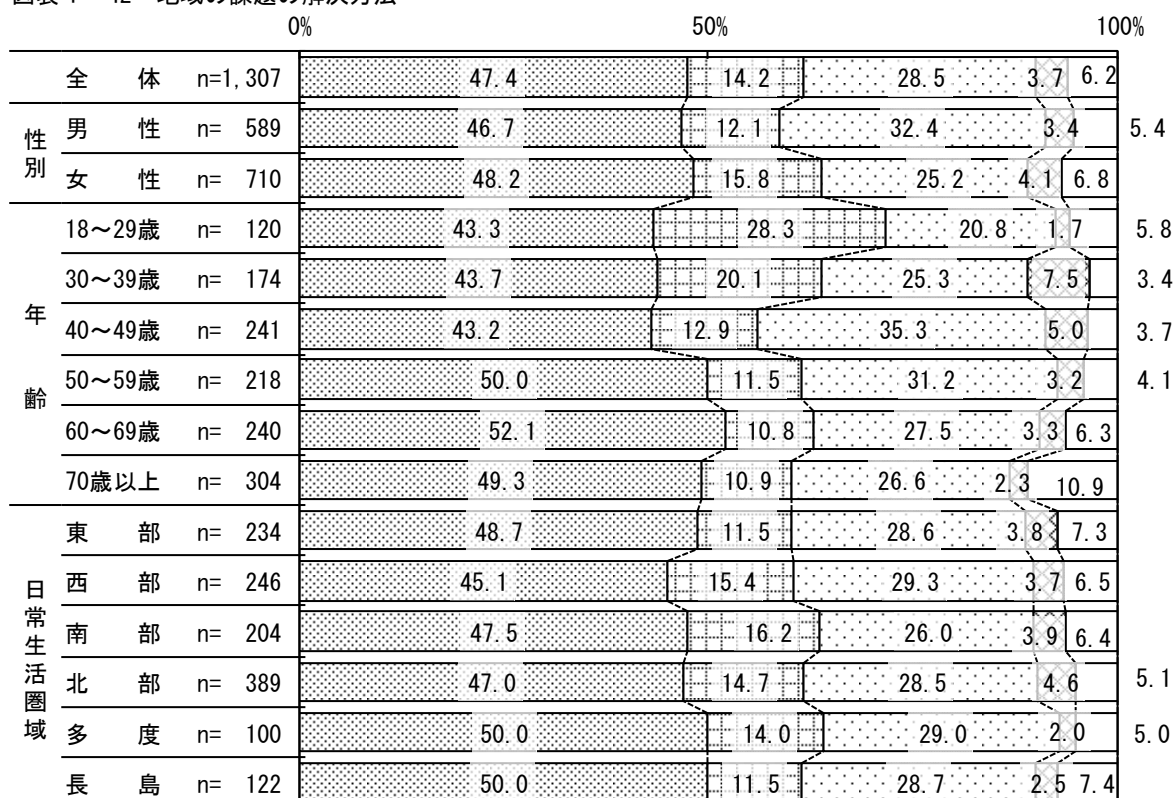
区 分 n=1,307	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答	該当する人がいる
①心配事や愚痴を聞いてくれる人	59.3	32.3	27.0	23.6	8.7	45.7	2.1	3.7	1.8	94.5
②心配事や愚痴を聞いてあげる人	56.6	40.1	30.7	24.7	10.7	45.8	1.5	5.2	2.1	92.7
③看病や世話をしてくれる人	65.2	31.7	26.8	10.4	0.9	3.4	0.7	4.9	1.5	93.6
④看病や世話をしてあげる人	67.3	51.4	36.6	16.1	1.9	4.5	0.4	6.8	1.7	91.5

（注）『該当する人がいる』＝100%－「そのような人はいない」－無回答

(8) 地域の課題の解決方法

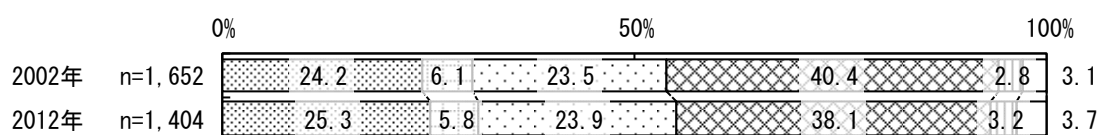
「住んでいる地域で、問題や困りごとが生じた場合、どのような方法で解決するのがよいと思いますか」という設問では、「住民同士で協力して解決したい」が47.4%、「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」が28.5%と、〈住民主体型〉が〈行政依存型〉を大きく上回っています。年齢別にみると、〈住民主体型〉が高いのは60～69歳及び50～59歳で50%以上となっています。一方、〈行政依存型〉は40～49歳が35.3%と比較的高くなっています。

図表 1-42 地域の課題の解決方法



- ☒ 住民同士で協力して解決したい
☐ 地域のことに熱心な人たちに任せておきたい
☐ 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
☒ その他
☐ 無回答

【参考】過去の類似した設問

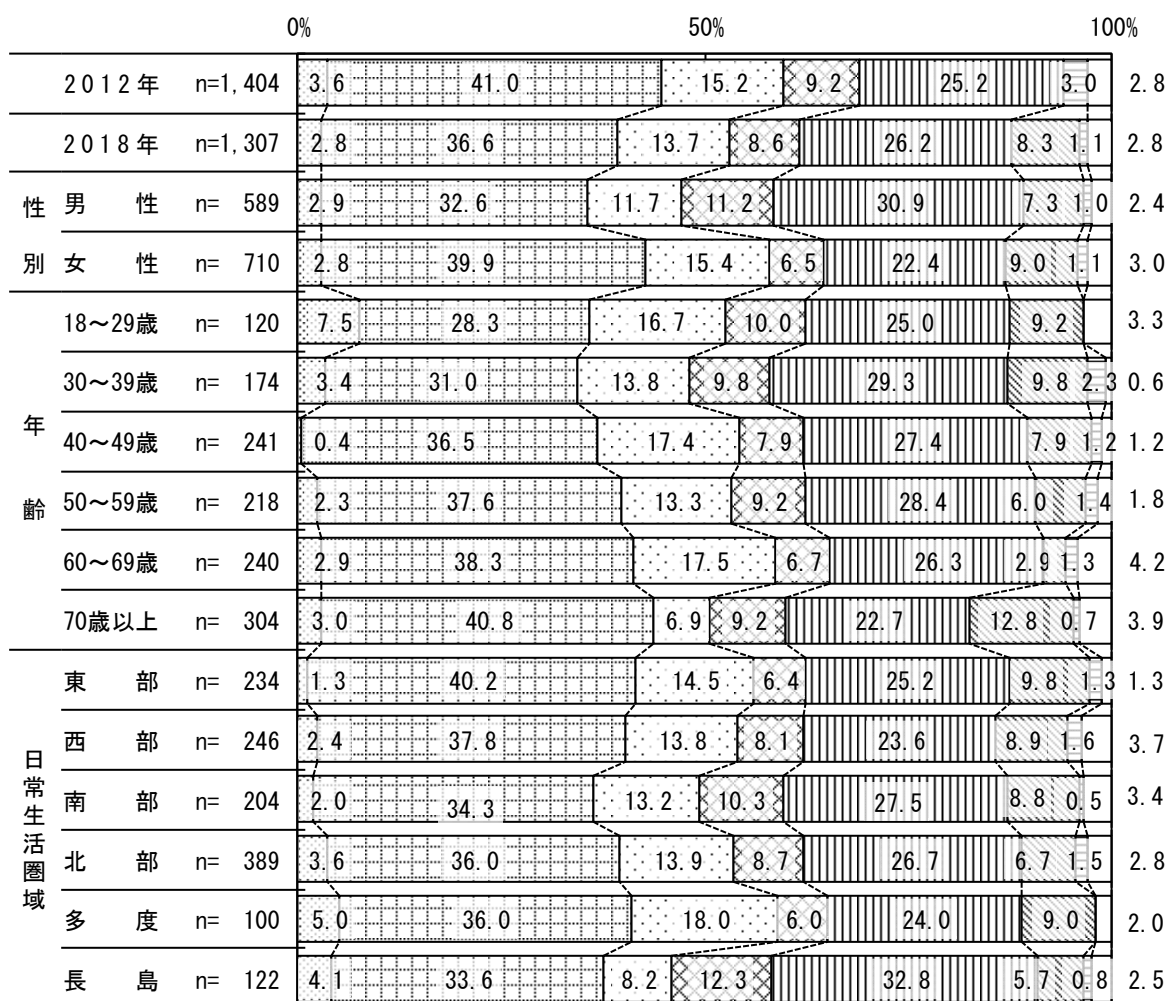


- ☒ 地域のしきたりにしたがって、周りの人と協力して解決したい
☐ 地域のことに熱心な人たちに任せておきたい
☐ 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
☒ 住民同士で協力して解決したい
☐ その他
☐ 無回答

(9) 困っている世帯への対応

「ご近所に、一人暮らしの高齢者・障がいのある人などで困っている世帯があったら、どんな対応をしますか」という設問に対しては、「多少のお手伝いはできる」が36.6%と最も高く、「積極的にお手伝いをしたい」（2.8%）との合計〈手伝える〉は39.4%と4割近くとなります。年齢別にみると、〈手伝える〉は70歳以上が高くなっています。18～29歳では他の年齢層に比べ「積極的にお手伝いをしたい」及び「福祉サービスを利用すればよく、特に自分が手伝える必要はない」が高くなっています。

図表1-43 困っている世帯への対応



☑ 積極的にお手伝いをしたい

☑ 多少のお手伝いはできる

☐ お節介と思われたくないのでためらってしまう

☑ 福祉サービスを利用すればよく、特に自分が手伝える必要はない

☐ よくわからない

☑ 手伝えることができない

☐ その他

☐ 無回答

※2012年の選択肢には「手伝えることができない」がありません。

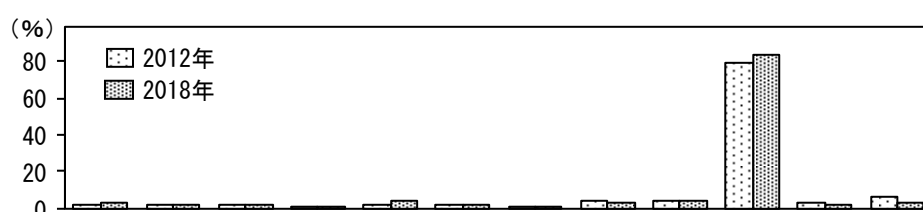
(10) 手助けしてもらいたいこと

ご近所や地域の人に手助けしてもらいたいこととしては、「特にない」が83.3%を占めています。以下、高い順に「高い所の作業（蛍光灯の取替など）」が4.4%、「ゴミ捨て・ゴミ出し」が3.8%、「家の保守点検・修理など」が3.7%などとなっています。世帯状況別にみると、一人暮らしでは上記3項目が10%以上と比較的高い率となっています。

「その他」として、「子どもの預かり、子どもの見守り」が多数記入されていました。

図表 1-44 手助けしてもらいたいこと（複数回答）

単位：％（nは人）



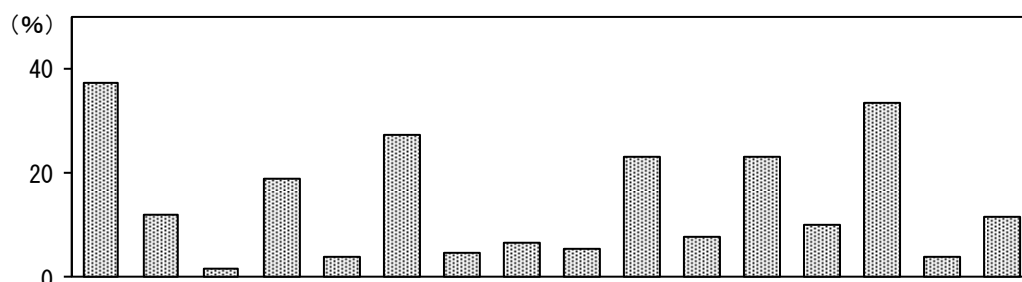
区 分		n	買い物	通院	掃除	洗濯	ゴミ捨て・ゴミ出し	市役所での手続き	銀行や郵便局でのお金の出し入れ	家の保守点検・修理など	高い所の作業（蛍光灯の取替など）	特にない	その他	無回答
2012年		1,404	2.3	1.9	1.6	0.4	2.4	2.0	0.2	4.6	4.1	78.9	3.6	6.0
2018年		1,307	2.8	2.0	2.3	0.4	3.8	1.6	0.7	3.7	4.4	83.3	2.3	3.1
性別	男性	589	2.7	2.2	2.9	0.3	4.6	2.4	1.0	4.6	2.9	83.5	1.5	2.5
	女性	710	3.0	1.8	1.8	0.4	3.2	1.0	0.4	3.0	5.6	83.2	2.8	3.4
年齢	18～29歳	120	1.7	-	3.3	0.8	5.0	3.3	0.8	1.7	6.7	83.3	0.8	0.8
	30～39歳	174	1.1	0.6	1.7	-	1.7	1.7	1.1	2.3	1.1	87.9	4.0	1.1
	40～49歳	241	2.5	1.2	2.9	1.2	4.1	1.2	0.4	2.9	2.5	86.7	3.3	2.1
	50～59歳	218	1.8	0.9	2.3	-	2.3	1.4	-	4.1	1.8	86.2	4.1	-
	60～69歳	240	2.9	1.7	1.7	0.4	4.2	0.8	0.8	3.3	1.7	86.3	1.3	5.4
	70歳以上	304	5.3	5.3	2.3	-	5.3	2.0	1.0	5.9	10.9	73.7	0.7	5.6
世帯	一人暮らし	90	6.7	4.4	8.9	2.2	11.1	2.2	1.1	10.0	12.2	65.6	3.3	5.6
	夫婦のみ	331	3.6	2.7	2.1	0.3	5.1	0.9	0.6	3.0	5.1	83.4	0.9	3.3
	二世帯世帯	716	2.0	1.4	1.7	0.3	2.8	1.5	0.6	3.5	3.6	85.2	2.9	2.4
	三世帯世帯	121	0.8	-	1.7	-	2.5	2.5	-	1.7	1.7	86.8	1.7	2.5
	その他	34	11.8	8.8	2.9	-	-	2.9	5.9	5.9	2.9	82.4	-	5.9
日常生活圏域	東部	234	1.7	1.3	2.1	-	3.8	0.9	-	4.3	6.4	81.6	3.4	3.0
	西部	246	3.7	3.7	2.8	0.8	4.9	2.0	0.4	2.0	4.1	82.5	2.4	3.7
	南部	204	2.0	2.9	2.9	-	2.5	2.0	1.5	3.4	2.9	84.3	1.5	3.4
	北部	389	3.1	1.3	2.1	0.3	4.4	1.3	0.5	4.4	4.1	84.6	2.1	2.1
	多度	100	4.0	2.0	2.0	-	2.0	4.0	2.0	4.0	6.0	82.0	2.0	4.0
	長島	122	2.5	0.8	1.6	0.8	3.3	0.8	0.8	4.1	3.3	83.6	2.5	3.3

(11) 地域に必要な活動

「あなたの住んでいる地域が、より暮らしやすくなるには、地域にどのような活動が必要だと思いますか」という設問では、「高齢者や障がいのある人への日常生活の援助（見守りなど）」が37.3%と最も高く、次いで「災害時の支援活動」が33.5%、「子どもの登下校時の見守りや防犯パトロールなどの活動」が27.1%、「地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル」が23.2%、「健康づくり、介護予防に関する活動」が22.9%などとなっています。

図表 1-45 地域に必要な活動（複数回答・3つまで）

単位：％（nは人）



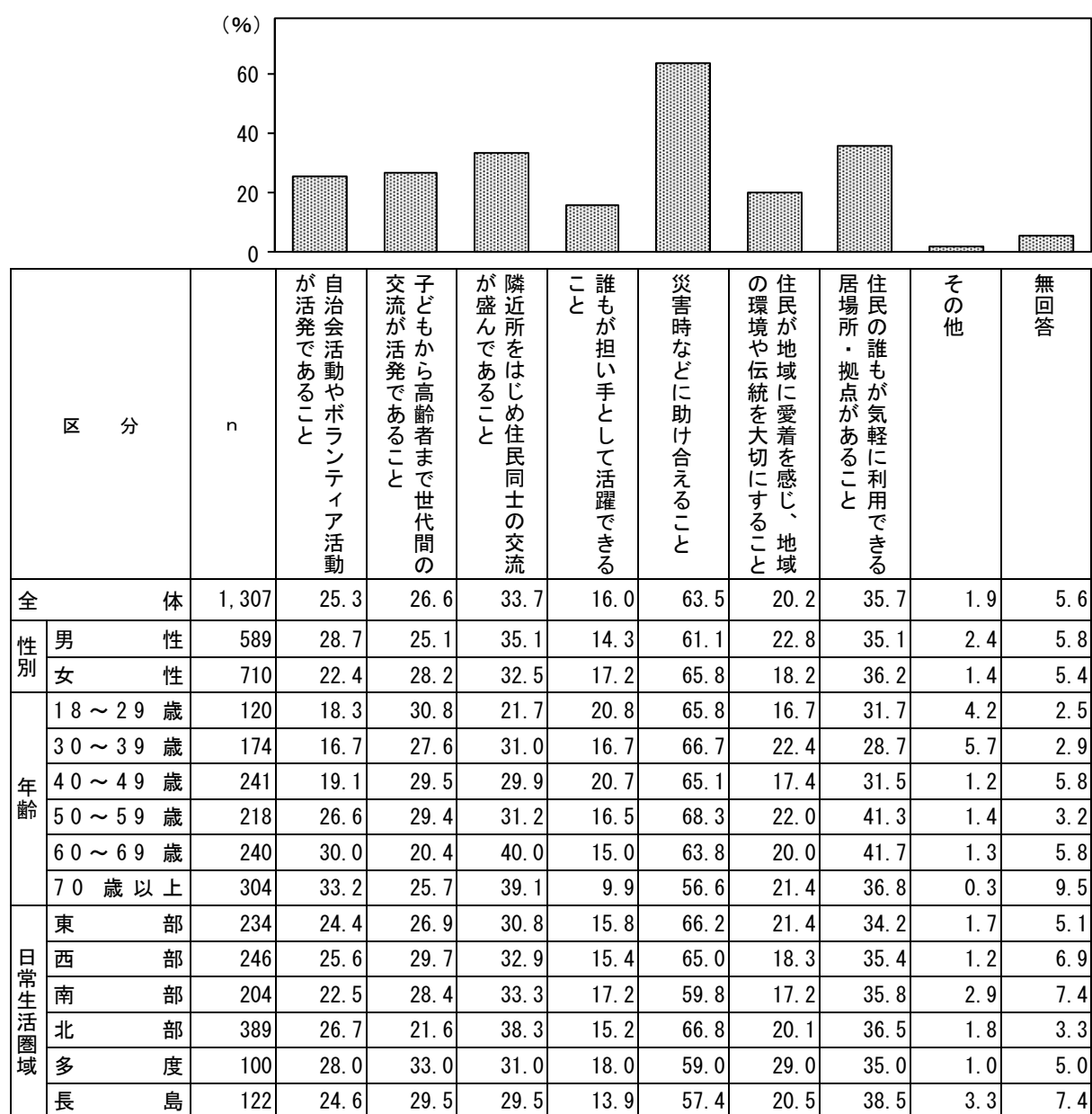
区 分	n	高齢者や障がいのある人への日常生活の援助（見守りなど）	高齢者や障がいのある人を集めた交流活動	高齢者や障がいのある人を集めた点字、手話、音訳、要約筆記などの伝達手段ボランティア	子育て支援・子どもの世話	不登校・ひきこもりの青少年に対する支援	子どもの登下校時の見守りや防犯パトロールなどの活動	子ども食堂	病院や福祉施設での手伝いや話し相手	寄付、募金への協力	健康づくり、介護予防に関する活動	地域のスポーツ活動の支援	地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル	地域の祭りやイベントの手伝い	災害時の支援活動	その他	無回答
全 体	1,307	37.3	12.1	1.5	18.7	3.8	27.1	4.9	6.8	5.5	22.9	7.7	23.2	10.2	33.5	4.1	11.6
性 別																	
男 性	589	32.4	10.5	1.4	18.2	3.7	24.6	3.9	5.3	7.0	21.7	10.2	28.7	14.3	36.3	4.1	11.4
女 性	710	41.5	13.5	1.5	18.9	3.9	29.0	5.8	8.2	4.4	23.8	5.6	18.7	6.6	31.4	3.9	11.7
年 齢																	
18～29 歳	120	27.5	12.5	0.8	29.2	3.3	29.2	9.2	10.0	12.5	15.8	9.2	18.3	12.5	30.8	5.0	9.2
30～39 歳	174	29.9	7.5	4.0	40.2	2.9	42.0	9.2	4.0	4.6	9.8	9.8	13.2	7.5	29.3	6.3	10.3
40～49 歳	241	36.1	10.0	1.7	25.7	7.1	36.1	7.9	6.2	3.3	22.0	8.3	18.7	8.7	31.5	5.8	9.5
50～59 歳	218	44.0	15.1	1.4	12.8	7.8	23.4	4.6	10.1	4.1	32.1	11.9	22.5	9.6	36.2	3.7	7.3
60～69 歳	240	36.7	10.0	1.7	10.4	0.4	22.5	2.1	3.8	4.6	24.2	5.0	30.0	13.3	40.8	2.5	15.4
70 歳以上	304	42.8	16.1	-	6.9	2.0	16.8	0.7	7.9	6.6	26.3	4.6	29.6	9.5	31.6	2.6	14.5
日常生活圏域																	
東 部	234	42.7	10.7	1.3	17.9	6.0	20.1	5.6	5.1	5.6	18.8	4.7	26.1	12.4	40.2	2.6	11.1
西 部	246	43.9	15.4	0.8	13.4	3.7	28.9	3.7	7.3	3.7	23.6	6.9	23.2	6.1	32.9	2.8	11.8
南 部	204	30.4	13.2	1.0	18.1	2.5	31.4	5.4	5.9	5.9	19.1	8.3	22.5	8.8	30.9	3.9	14.7
北 部	389	37.8	12.6	2.3	21.1	2.6	29.3	5.4	8.2	5.9	27.0	8.2	23.9	10.3	31.4	4.6	9.8
多 度	100	36.0	6.0	3.0	22.0	6.0	23.0	3.0	4.0	8.0	25.0	8.0	20.0	15.0	30.0	8.0	9.0
長 島	122	25.4	10.7	-	20.5	4.9	26.2	5.7	9.0	5.7	21.3	12.3	19.7	10.7	37.7	4.1	13.9

(12) 地域のあり方

「これからも安心して地域で住み続けるためには、どのような地域のあり方が大切だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください」という設問では、「災害時などに助け合えること」が63.5%と突出して高く、次いで「住民の誰もが気軽に利用できる居場所・拠点があること」が35.7%、「隣近所をはじめ住民同士の交流が盛んであること」が33.7%、「子どもから高齢者まで世代間の交流が活発であること」が26.6%、「住民の支え合い意識が高く自治会活動やボランティア活動が活発であること」が25.3%などとなっています。

図表 1-46 地域のあり方（複数回答・3つまで）

単位：％（nは人）

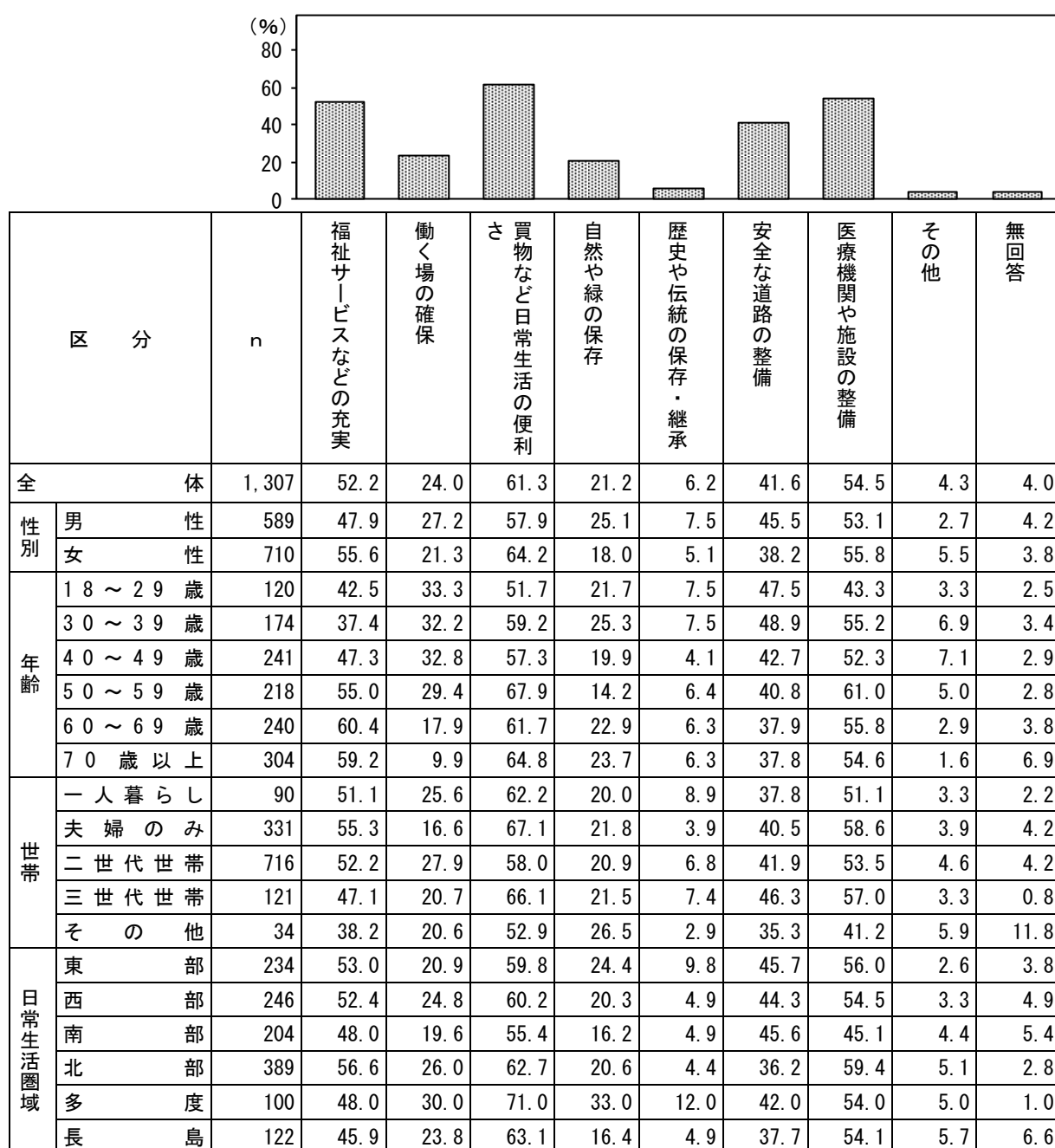


(13) 地域に住み続けるために重要なこと

「あなたの地域で住み続けるためには、次のうち何が重要と思いますか」という設問では、「買物など日常生活の便利さ」が61.3%と最も高く、次いで「医療機関や施設の整備」が54.5%、「福祉サービスなどの充実」が52.2%の順となっています。日常生活圏域別にみると、いずれの項目も地域による差が大きく、特に「自然や緑の保存」及び「買物などの日常生活の便利さ」は高い多度と低い南部の間に15ポイントを超える差があります。

図表 1-47 地域に住み続けるために重要なこと（複数回答）

単位：％（nは人）

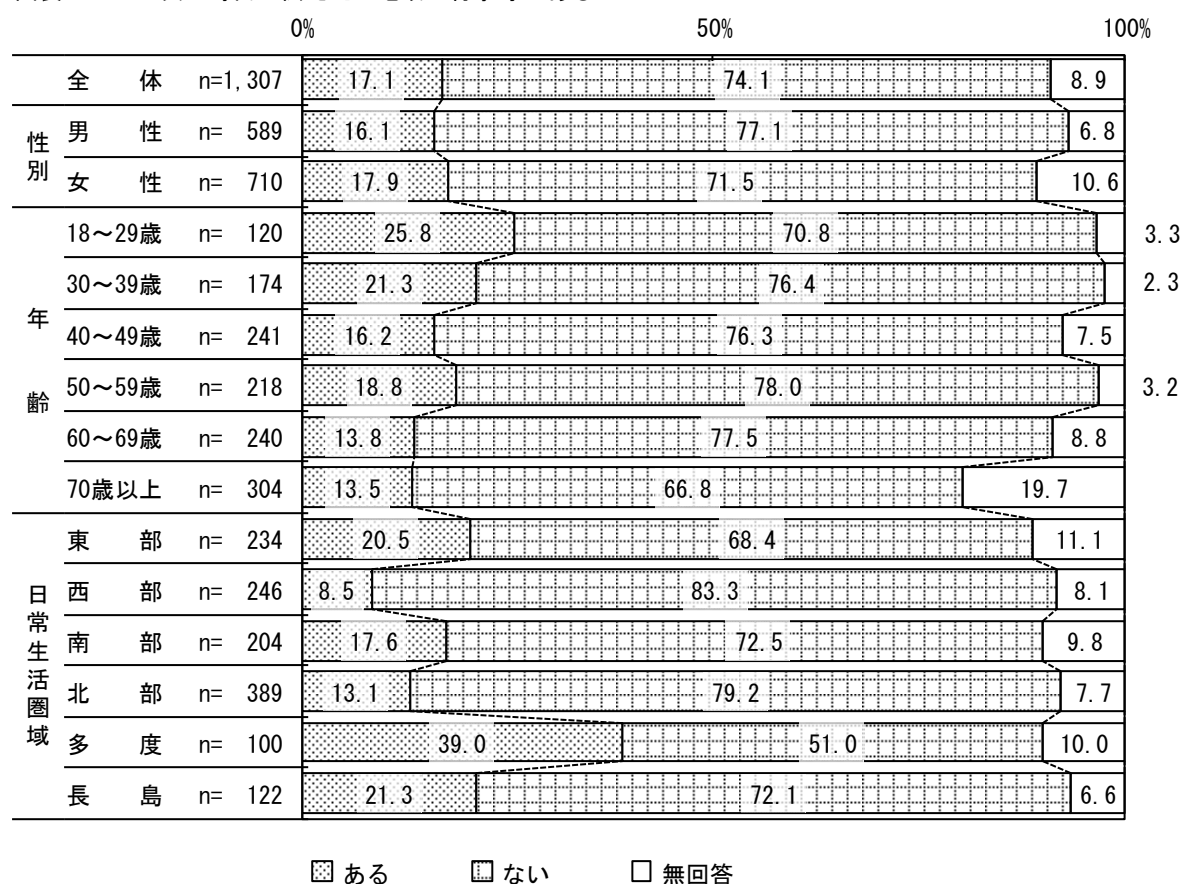


(14) 次の時代に伝えたい地域の行事等

「あなたの地域のイベント・行事、風習などで、自慢できるもの、次の時代に伝えたいと思うものはありますか」という設問では、「ある」が17.1%です。「ある」を属性別にみると、年齢別では若年齢ほど高くなる傾向にあり、日常生活圏域別では多度が高くなっています。

次の時代に伝えたい地域の行事等について、記述式で回答していただいたところ、「石取祭」「多度祭」「花火大会」「地藏盆」などが多数記入されていました。

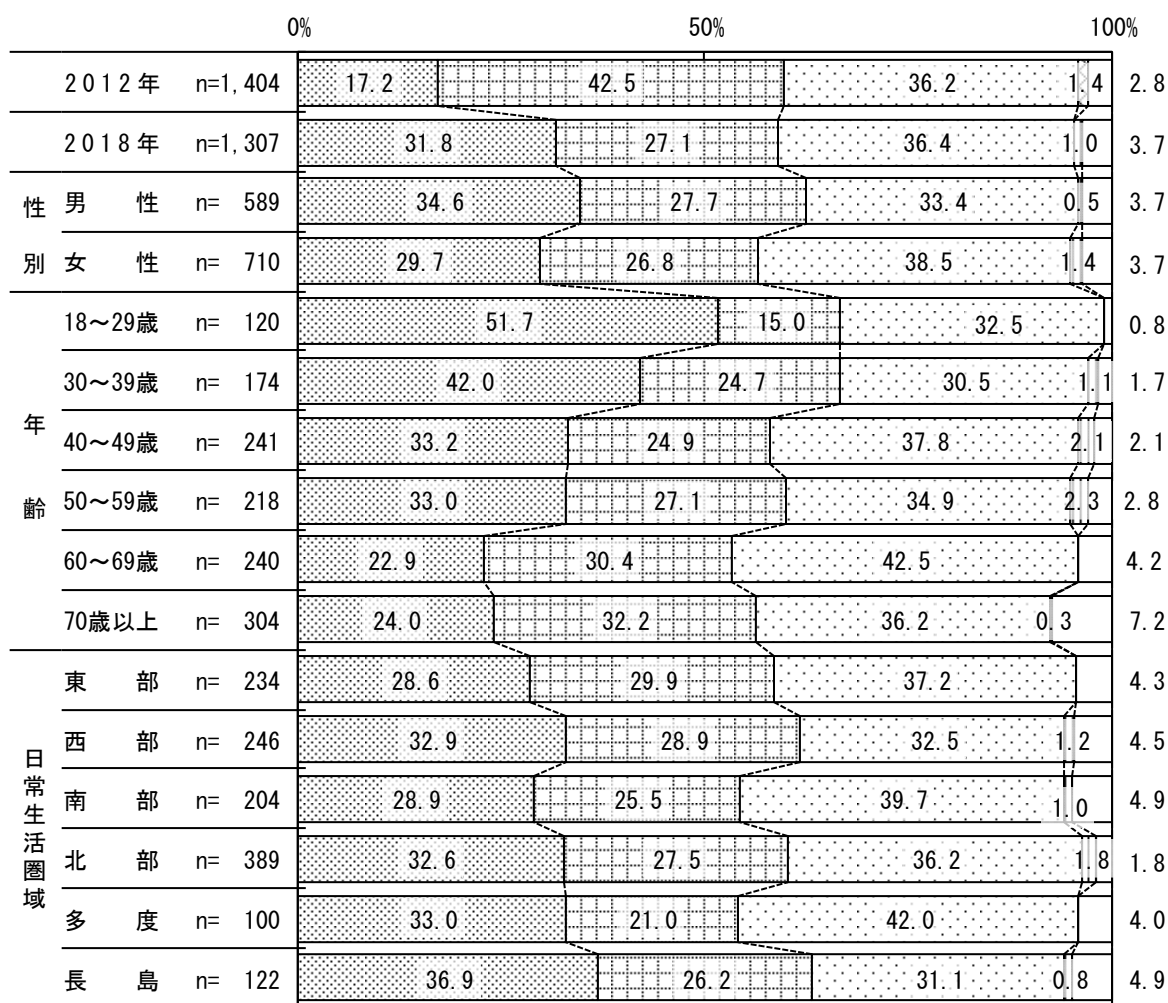
図表 1-48 次の時代に伝えたい地域の行事等があるか



(15) プライバシーの取り扱いについて

「プライバシーの取り扱いについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください」という設問では、「福祉の支援や災害への対処に必要な情報は共有すべきである」が36.4%と最も高く、次いで「いかなる理由があっても保護されなければならない」が31.8%、「隣近所の付き合いに必要な程度の情報であれば知られてもかまわない」が27.1%となっています。年齢別にみると、若い年齢層ほど「いかなる理由があっても保護されなければならない」が高くなっています。

図表1-49 プライバシーの取り扱い



- ☒ いかなる理由があっても保護されなければならない
☒ 隣近所の付き合いに必要な程度の情報であれば知られてもかまわない
☒ 福祉の支援や災害への対処に必要な情報は地域で共有すべきである
☒ その他
☐ わからない
☐ 無回答

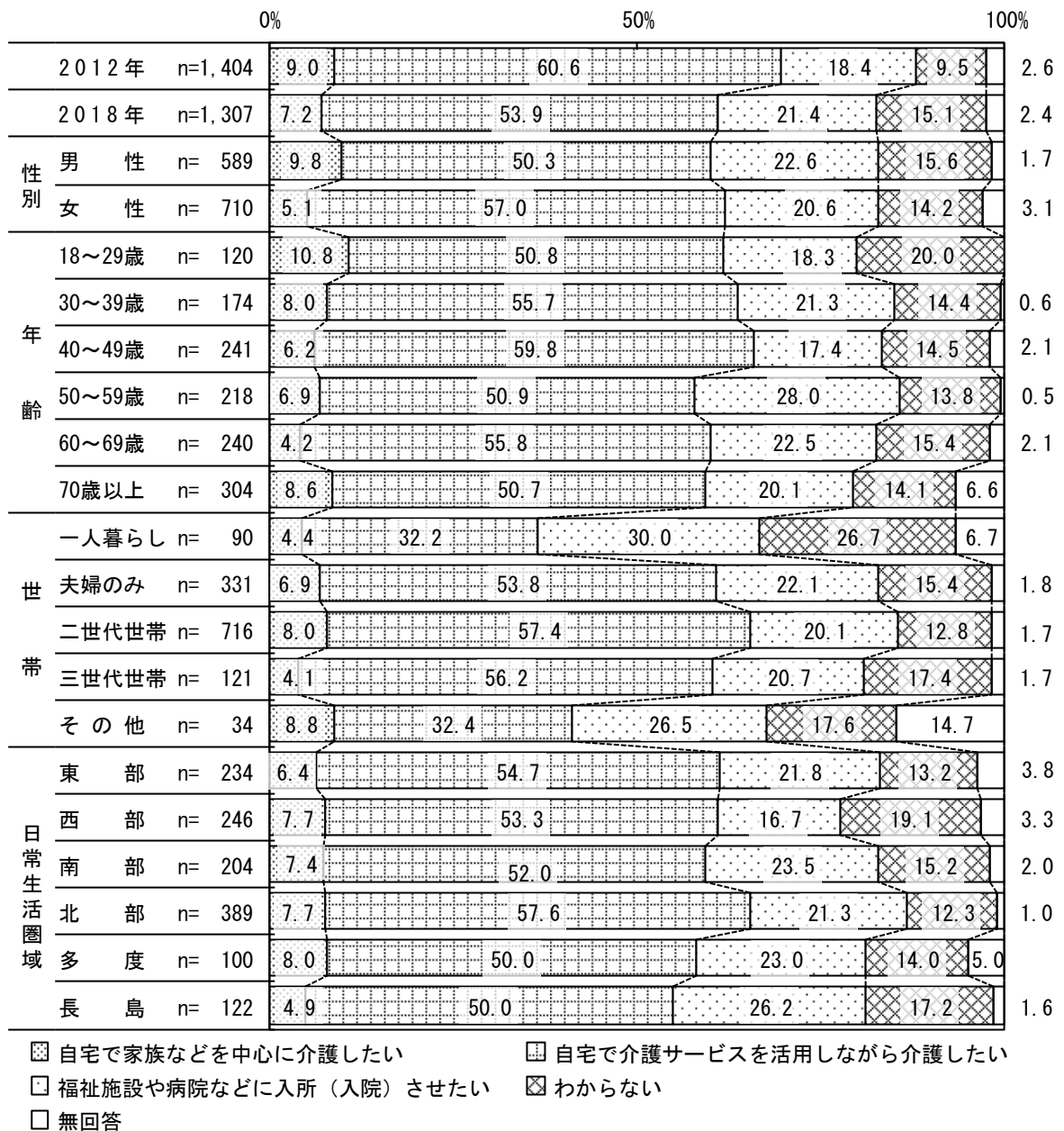
※2012年の選択肢には「わからない」が、2018年の選択肢には「その他」がありません。

5 福祉・介護の考え方等について

(1) 家族に介護が必要になった場合の希望

「仮にあなたの家族に介護が必要となったとき（介護をしている場合も含む）、どのようにしたいと思いますか」という設問では、「自宅で訪問介護、通所介護、短期入所などを活用しながら介護したい」が53.9%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの福祉施設や病院などに入所（入院）させたい」が21.4%となっています。過去の調査との比較では、〈居宅サービス〉が低下し〈施設サービス〉が上昇しています。年齢別にみると、〈施設サービス〉が最も高いのは50～59歳ですが、その背景には、親の介護と仕事の両立などに現実問題として直面していることなどが考えられます。

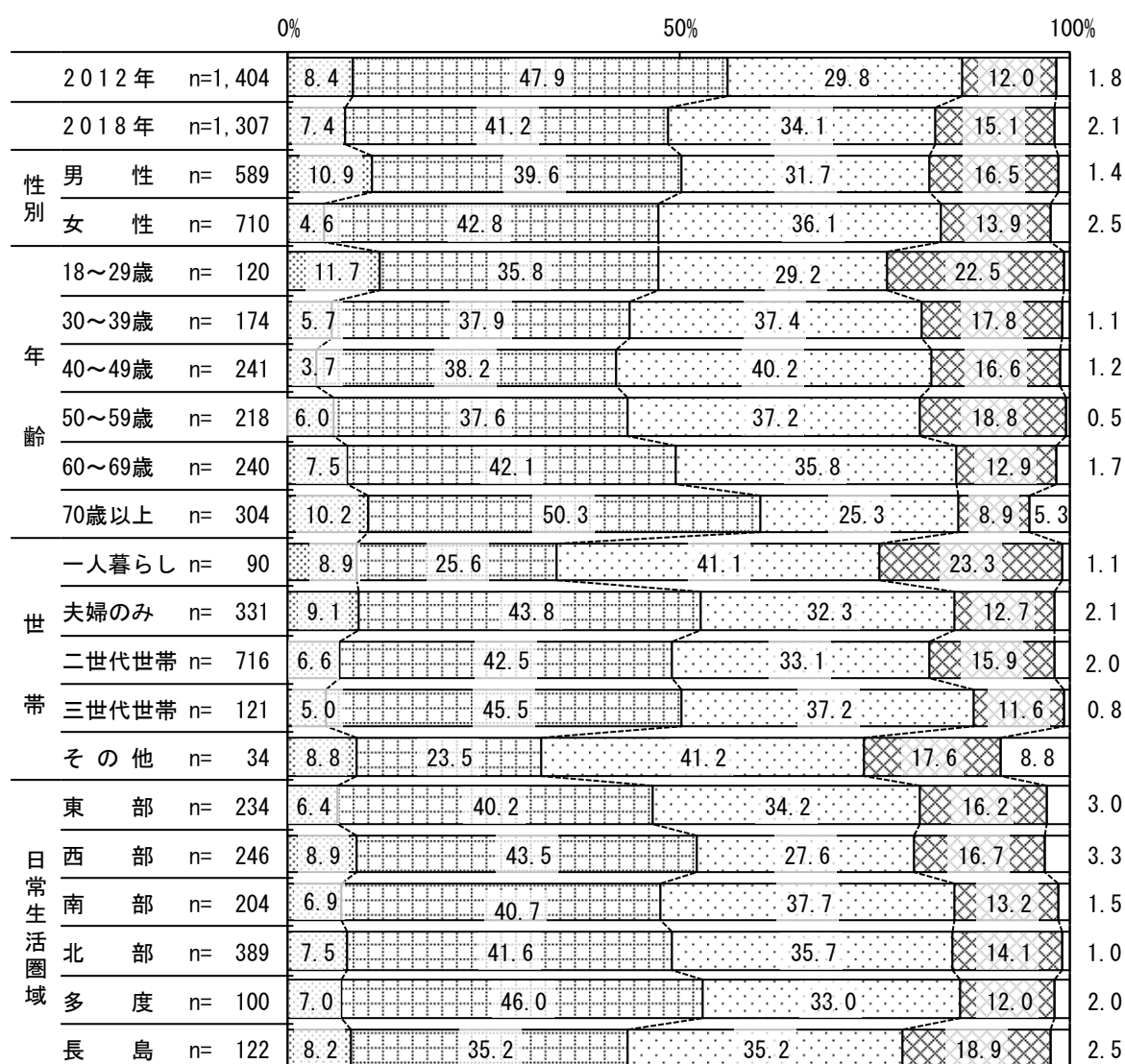
図表 1-50 家族に介護が必要になった場合の希望



(2) 自分に介護が必要になった場合の希望

「仮にあなたに介護が必要となったとき（介護を受けている場合も含む）、どのようにしたいと思いますか」という設問では、前項の家族の場合と同様に「自宅で訪問介護、通所介護、短期入所などを活用しながら介護してもらいたい」が41.2%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの福祉施設や病院などに入所（入院）したい」が34.1%となっています。ただし、(1)の家族の場合に比べ〈居宅サービス〉が低く、〈施設サービス〉が高くなっています。過去の調査との比較では、〈居宅サービス〉が低下し、〈施設サービス〉が上昇しています。

図表 1-51 自分に介護が必要になった場合の希望

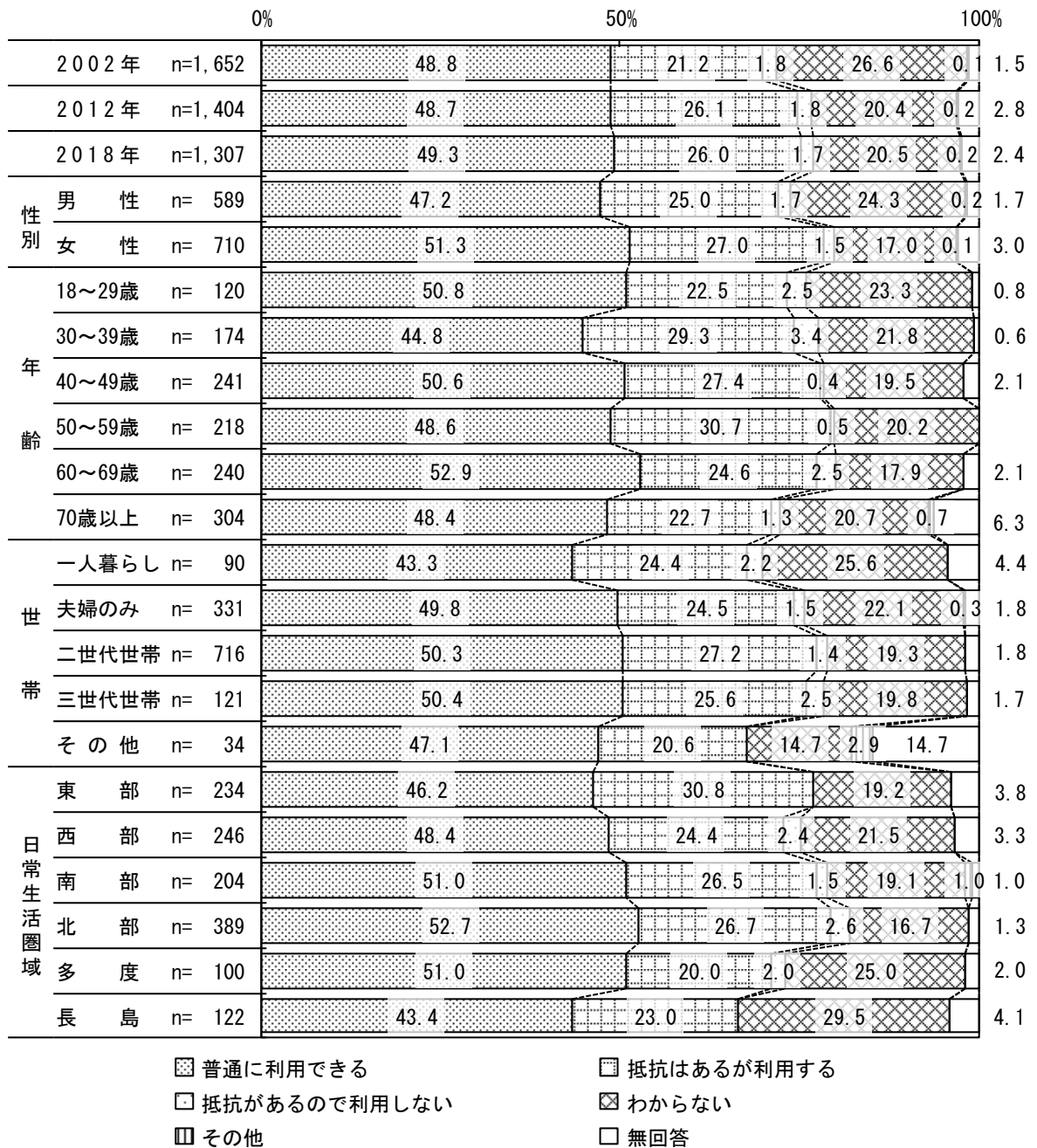


- ☒ 自宅で家族などを中心に介護してもらいたい
- ☒ 自宅で介護サービスを活用しながら介護してもらいたい
- ☐ 福祉施設や病院などに入所（入院）したい
- ☒ わからない
- ☐ 無回答

(3) 福祉サービスに対する抵抗感

「あなたや家族がホームヘルプサービスなどの福祉サービスを必要としたとき、抵抗なく利用することができますか」という設問では、「普通に利用できる」が49.3%と最も高く、「抵抗はあるが利用する」（26.0%）との合計〈利用する〉は75.3%となります。過去の調査との比較では、回を追うごとに〈利用する〉は上昇しています。世帯別にみると、一人暮らし及び夫婦のみの〈利用する〉が若干低くなっています。

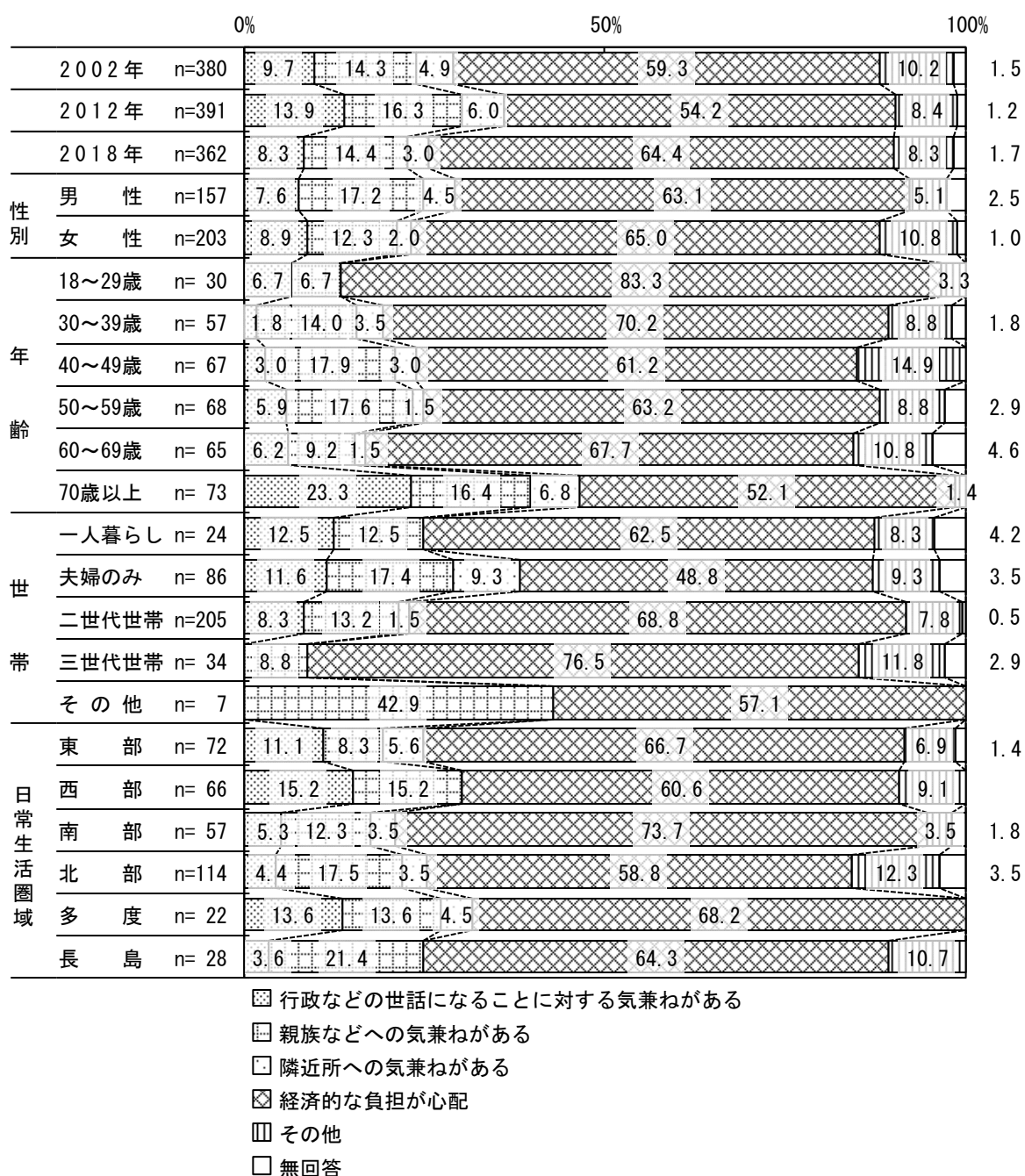
図表 1-52 福祉サービスに対する抵抗感



(4) 福祉サービスに抵抗を感じる理由

福祉サービスの利用に対して「抵抗はあるが利用する」または「抵抗があるので利用しない」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「経済的な負担が心配」が64.4%を占めています。次いで「親族などへの気兼ねがある」が14.4%あります。過去の調査との比較では、「行政～」「親族～」「隣近所～」などへの「気兼ねがある」が低くなった反面、「経済的な負担が心配」が高くなっています。

図表 1-53 福祉サービスに抵抗を感じる理由



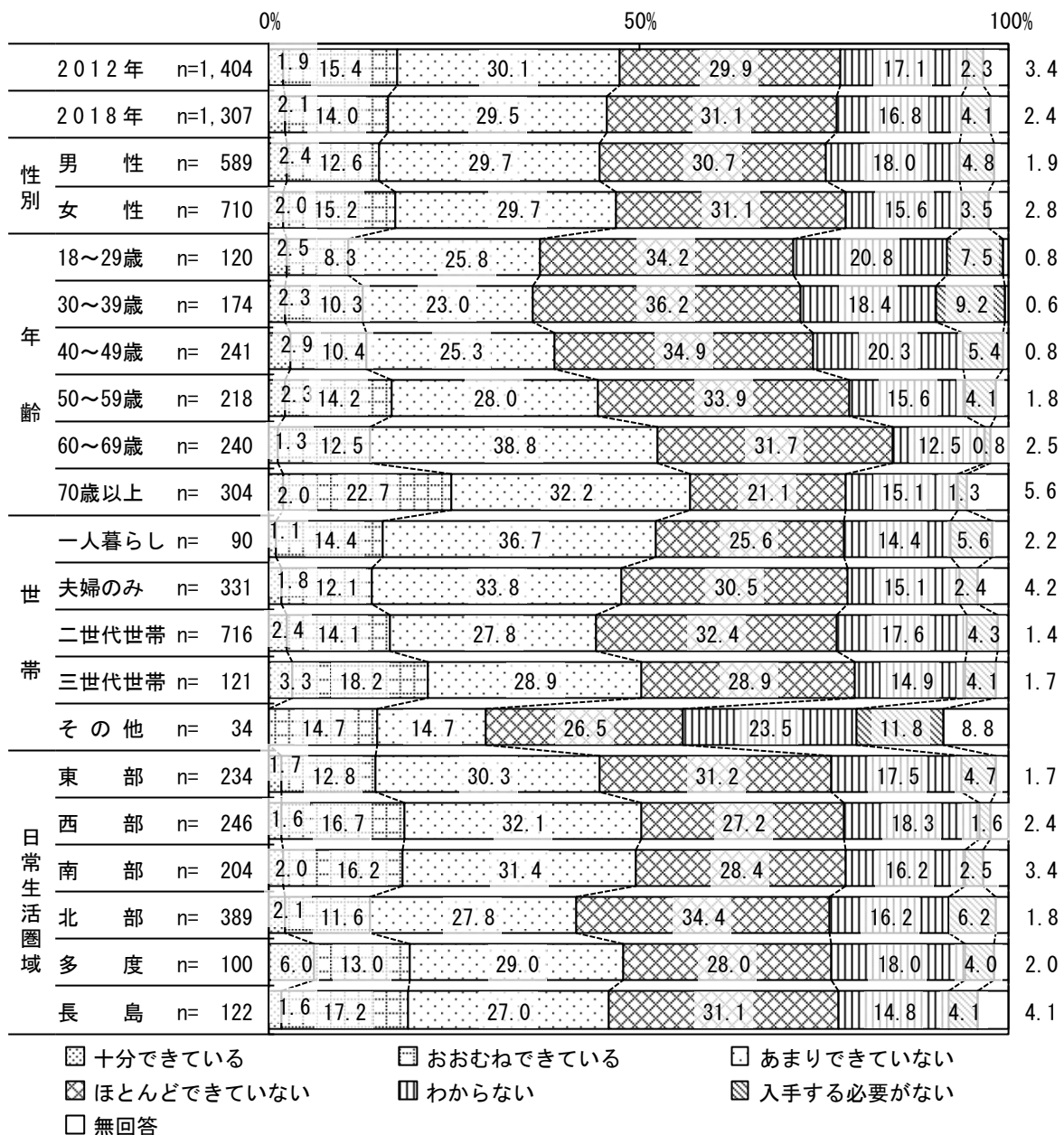
6 福祉に関する情報や相談について

(1) 福祉サービスに関する情報の入手

「必要な福祉サービスに関する情報をどの程度入手できていると思いますか」という設問では、「ほとんどできていない」が31.1%と最も高く、次いで「あまりできていない」が29.5%となっており、これらの合計〈できていない〉が60%以上を占めています。「十分できている」(2.1%)と「おおむねできている」(14.0%)の合計〈できている〉は16.1%となっています。

年齢別にみると、70歳以上では〈できている〉が20%を超え若干高くなりますが、〈できていない〉も50%を超えています。

図表 1-54 福祉サービスに関する情報の入手

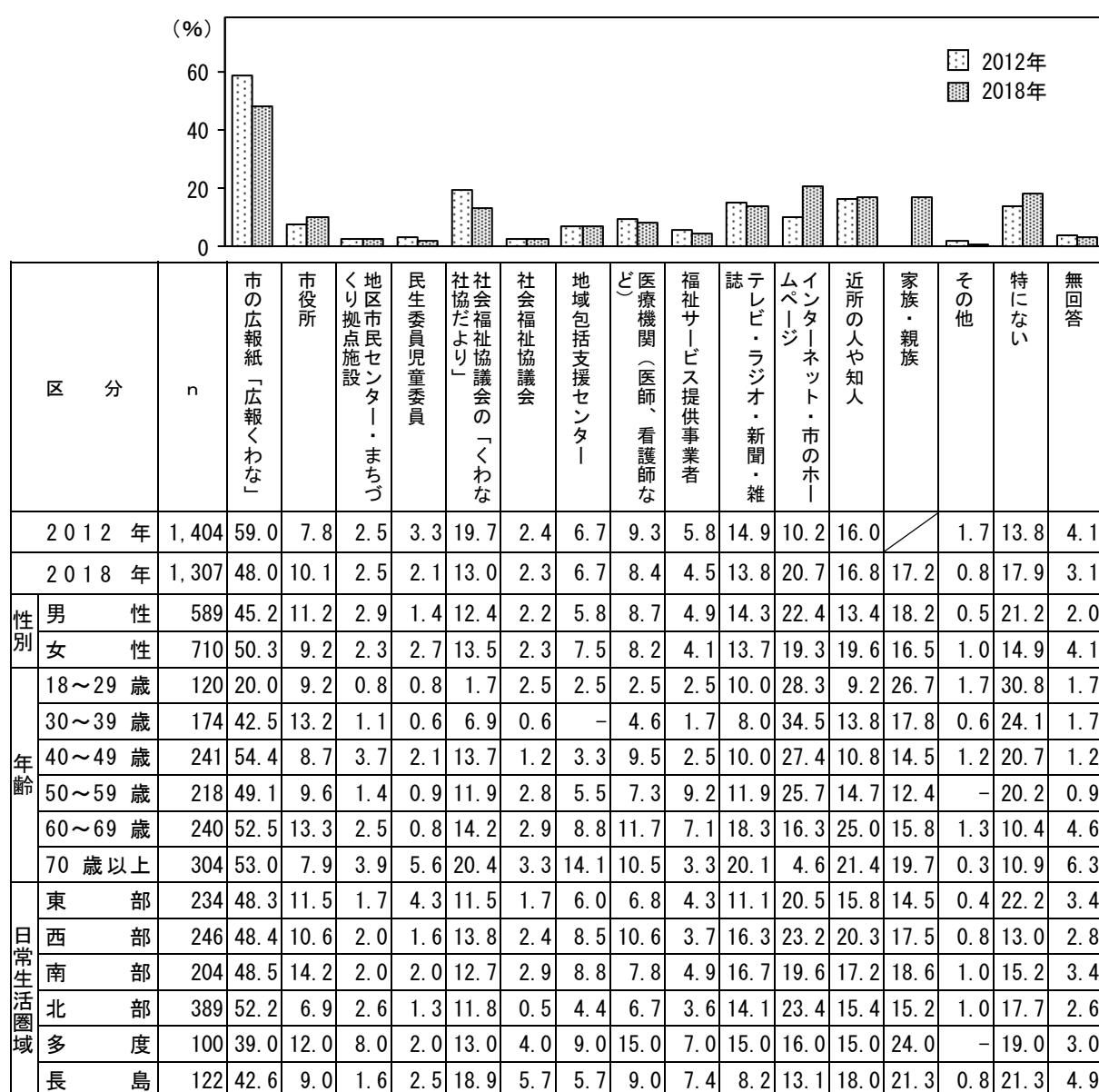


(2) 福祉サービスに関する情報の入手先

「福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか」という設問では、「市の広報紙『広報くわな』」が48.0%と最も高く、次いで「インターネット・市のホームページ」が20.7%などとなっています。過去の調査との比較では、「市の広報紙『広報くわな』」などが低下している反面、「インターネット・市のホームページ」が大幅に上昇しています。年齢別にみると、60歳未満の各年齢層では「インターネット・市のホームページ」が25%を超えています。

図表 1-55 福祉サービスに関する情報の入手先（複数回答）

単位：％（nは人）



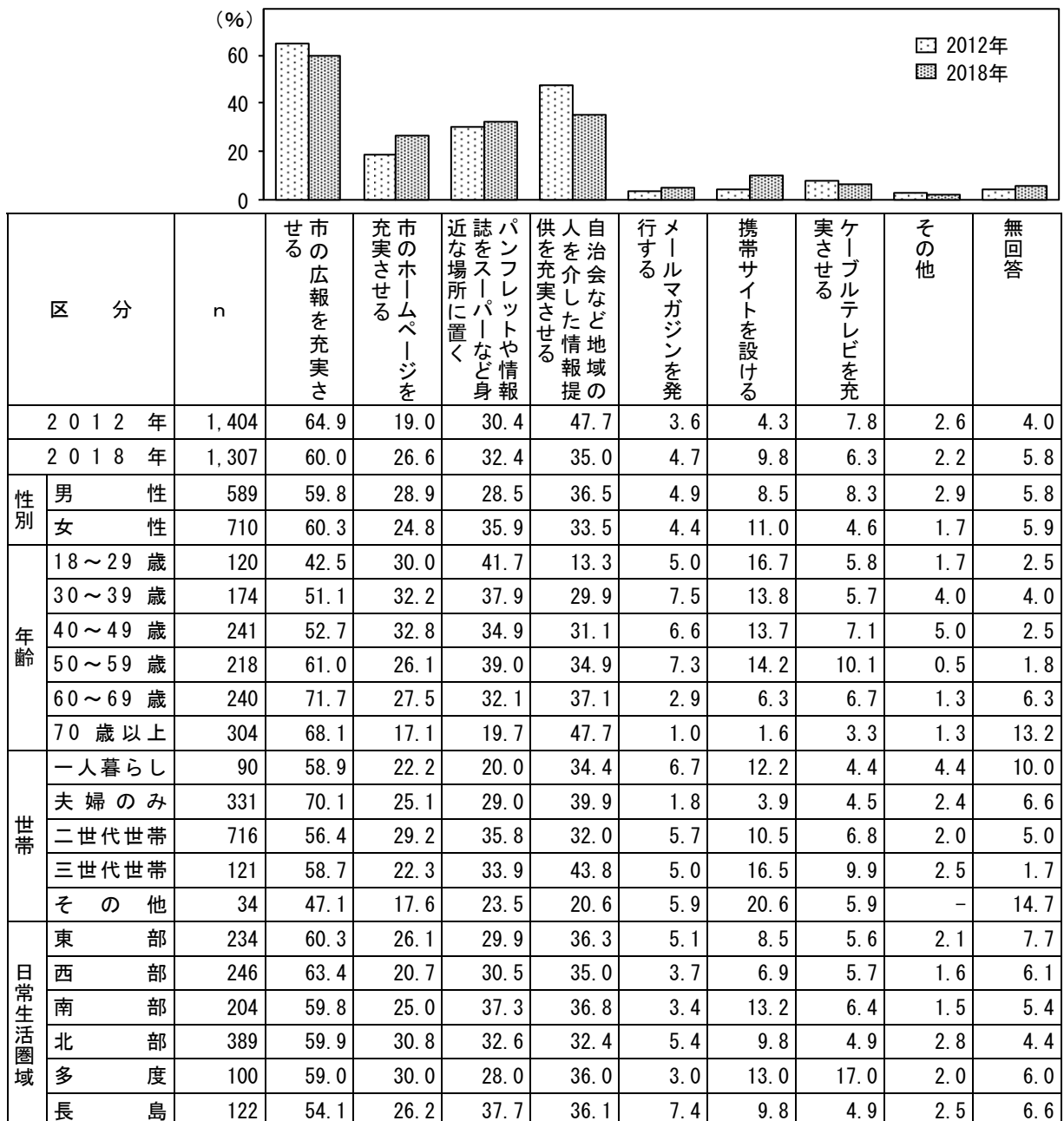
※2012年の「地区市民センター・まちづくり拠点施設」は「総合支所」です。

(3) 福祉サービス情報の提供方法

「市の福祉サービスに関する情報提供について、どのようにしたら必要な人に届くと思われますか」という設問に対しては、「市の広報を充実させる」が60.0%と最も高く、次いで「自治会など地域の人を介した情報提供を充実させる」が35.0%、「パンフレットや情報誌をスーパーなど身近な場所に置く」が32.4%、「市のホームページを充実させる」が26.6%などとなっています。年齢別にみると、年齢が上がるにしたがい「市の広報を充実させる」及び「自治会など地域の人を介した情報提供を充実させる」が高くなる一方、「パンフレットや情報誌をスーパーなど身近な場所に置く」「メールマガジンを発行する」「携帯サイトを設ける」などは低くなる傾向にあります。

図表 1-56 福祉サービス情報の提供方法（複数回答）

単位：％（nは人）

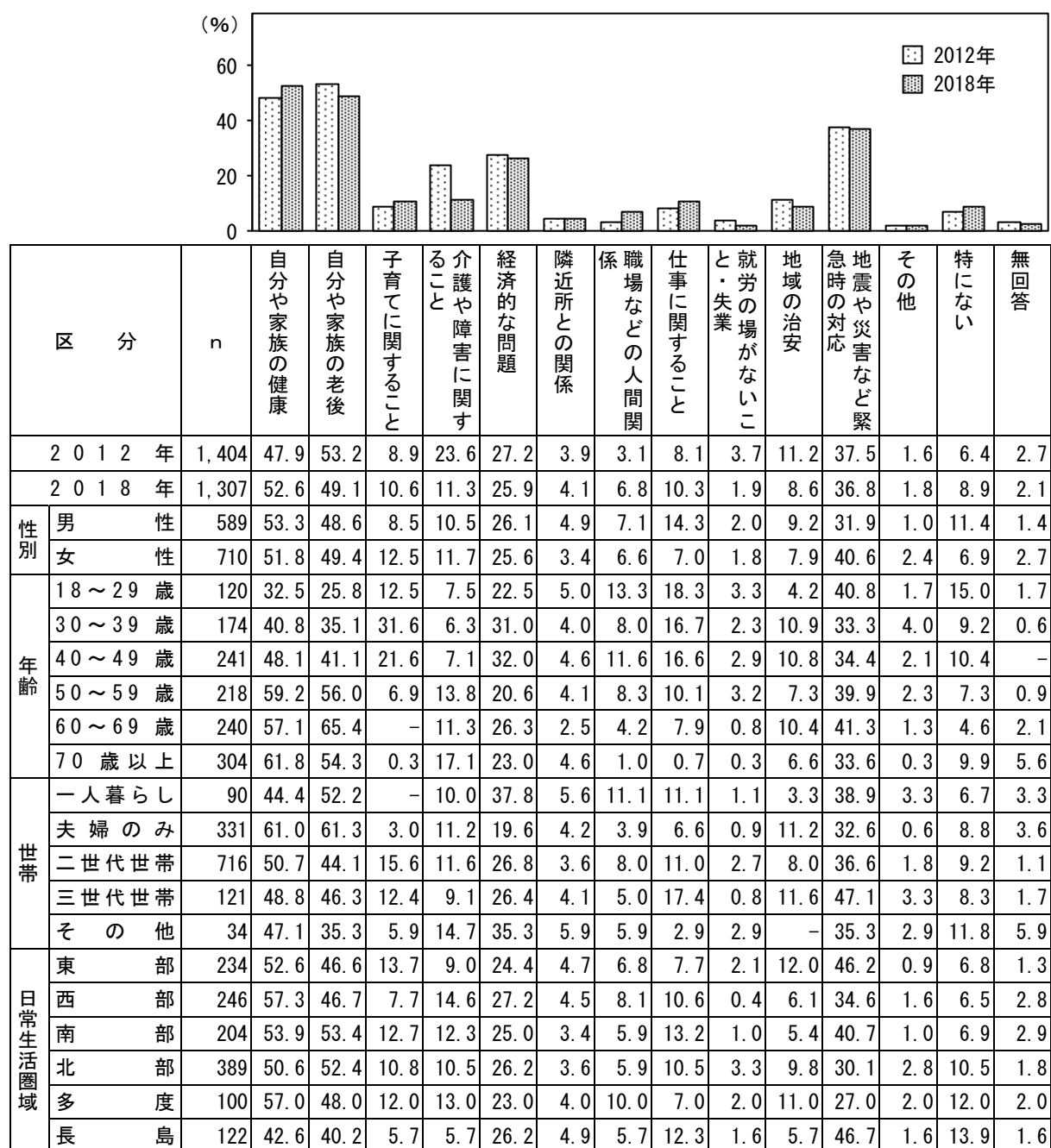


(4) 悩みや不安

「日々の生活においてどのような悩みや不安を感じていますか」という設問では、「自分や家族の健康」が52.6%と最も高く、次いで「自分や家族の老後」が49.1%、「地震や災害など緊急時の対応」が36.8%などとなっています。年齢別にみると、各年齢層とも上位3項目は変わりませんが、30～39歳の「子育てに関すること」及び「経済的な問題」、40～49歳の「経済的な問題」も30%を超える高い率となっています。

図表 1-57 悩みや不安（複数回答）

単位：％（nは人）

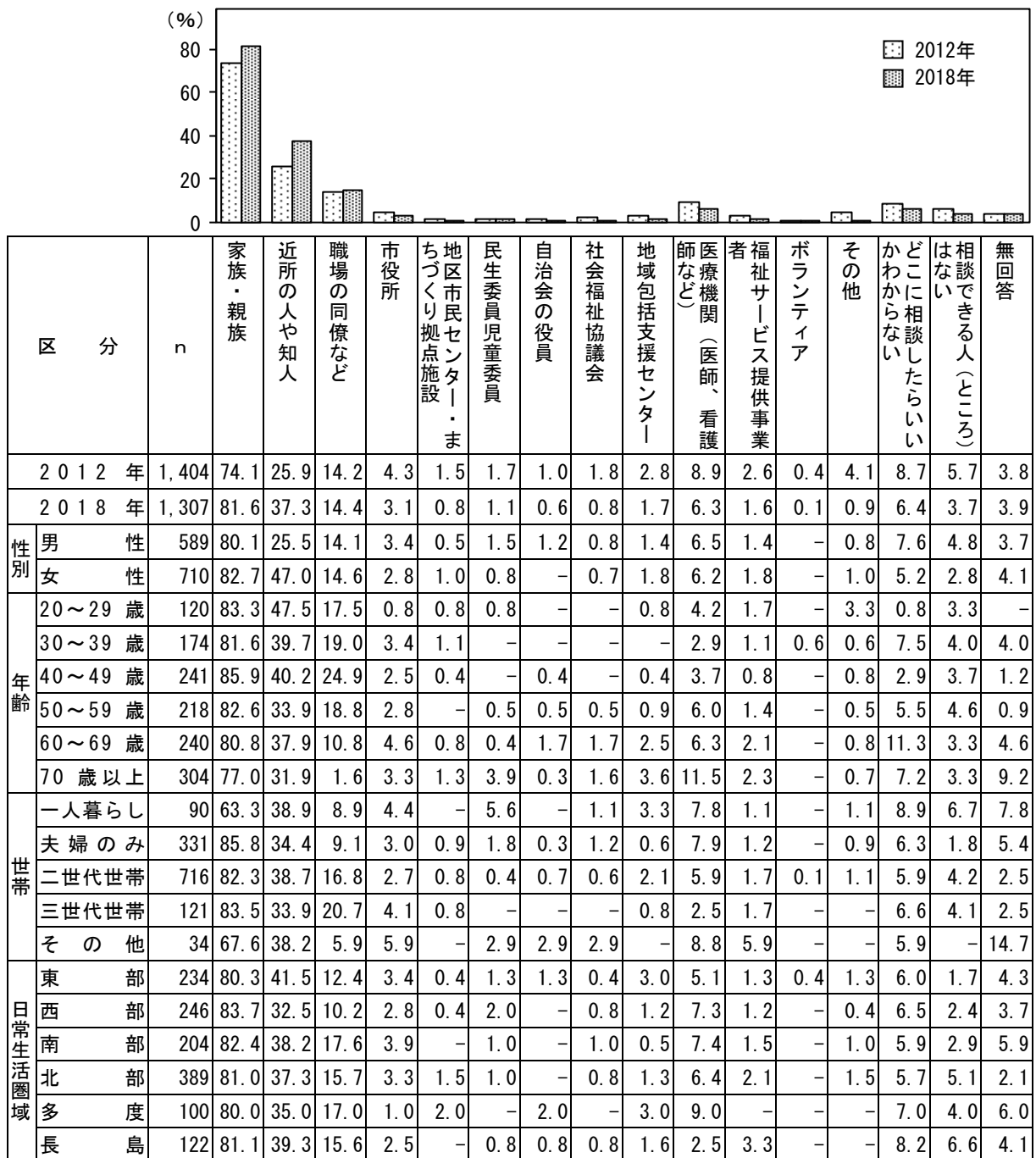


(5) 悩みや不安の相談相手

「悩みや不安について誰に（どこに）相談していますか」という設問では、「家族・親族」が81.6%と最も高く、次いで「近所の人や知人」が37.3%となっています。相談機関や専門機関では「医療機関」が6.3%ですが、その他の項目は5%未満です。なお、「どこに相談したらいいかわからない」が6.4%、「相談できる人（ところ）はない」が3.7%あります。

図表 1-58 悩みや不安の相談相手（複数回答）

単位：％（nは人）

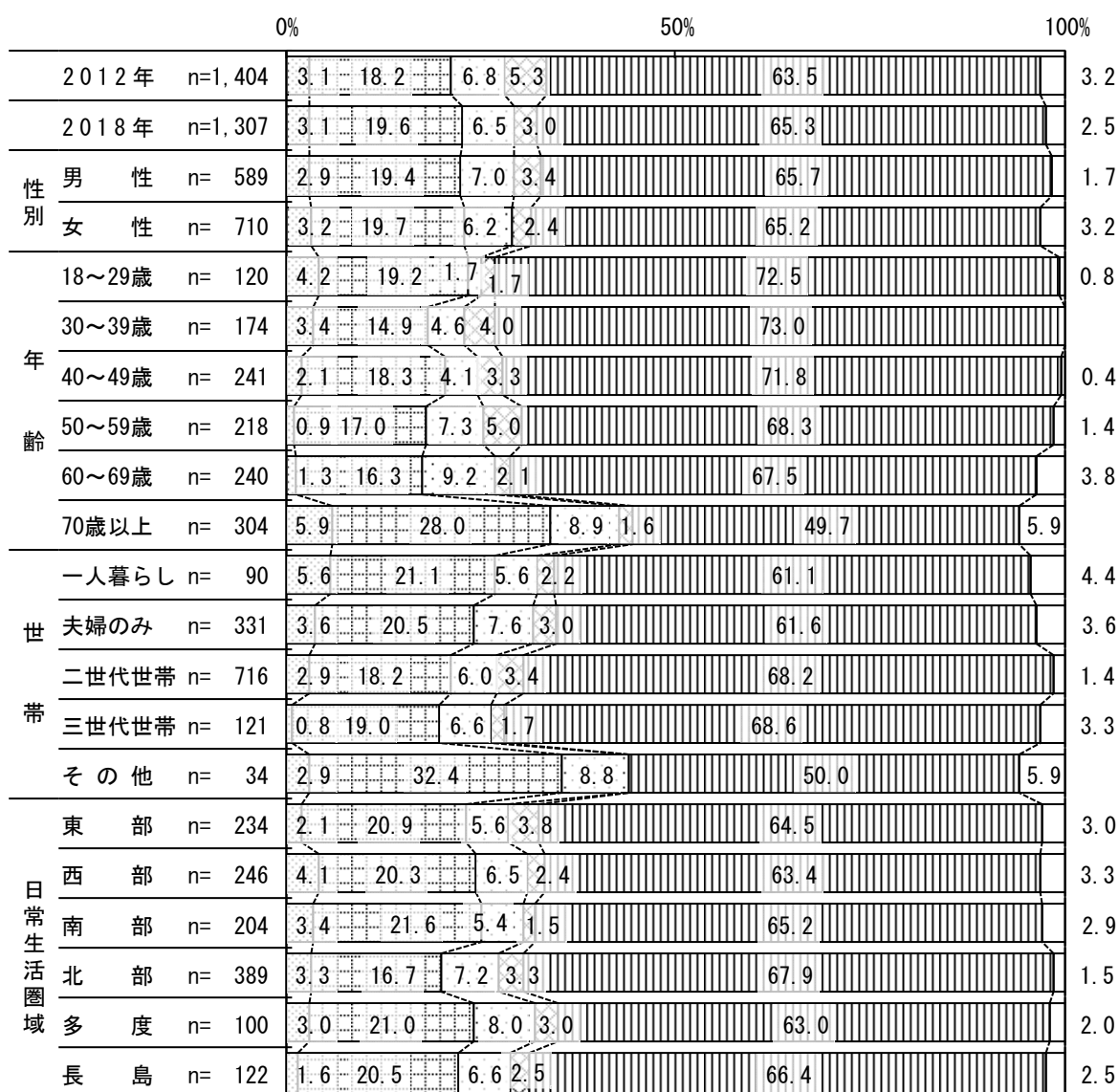


※2012年の「地区市民センター・まちづくり拠点施設」は「総合支所」です。

(6) 相談支援体制の満足度

「市の窓口や社会福祉協議会、地域の民生委員・児童委員など現在の相談支援体制に満足していますか」という設問では、「わからない」が65.3%を占めていますが、「満足している」(3.1%)と「おおむね満足している」(19.6%)の合計〈満足〉は22.7%、「不満」(3.0%)と「やや不満」(6.5%)の合計〈不満〉は9.5%です。年齢別にみると、若年齢層ほど「わからない」が高くなる傾向にあります。また、70歳以上では〈満足〉が33.9%と他の年齢層に比べ高くなっています。

図表 1-59 相談支援体制の満足度



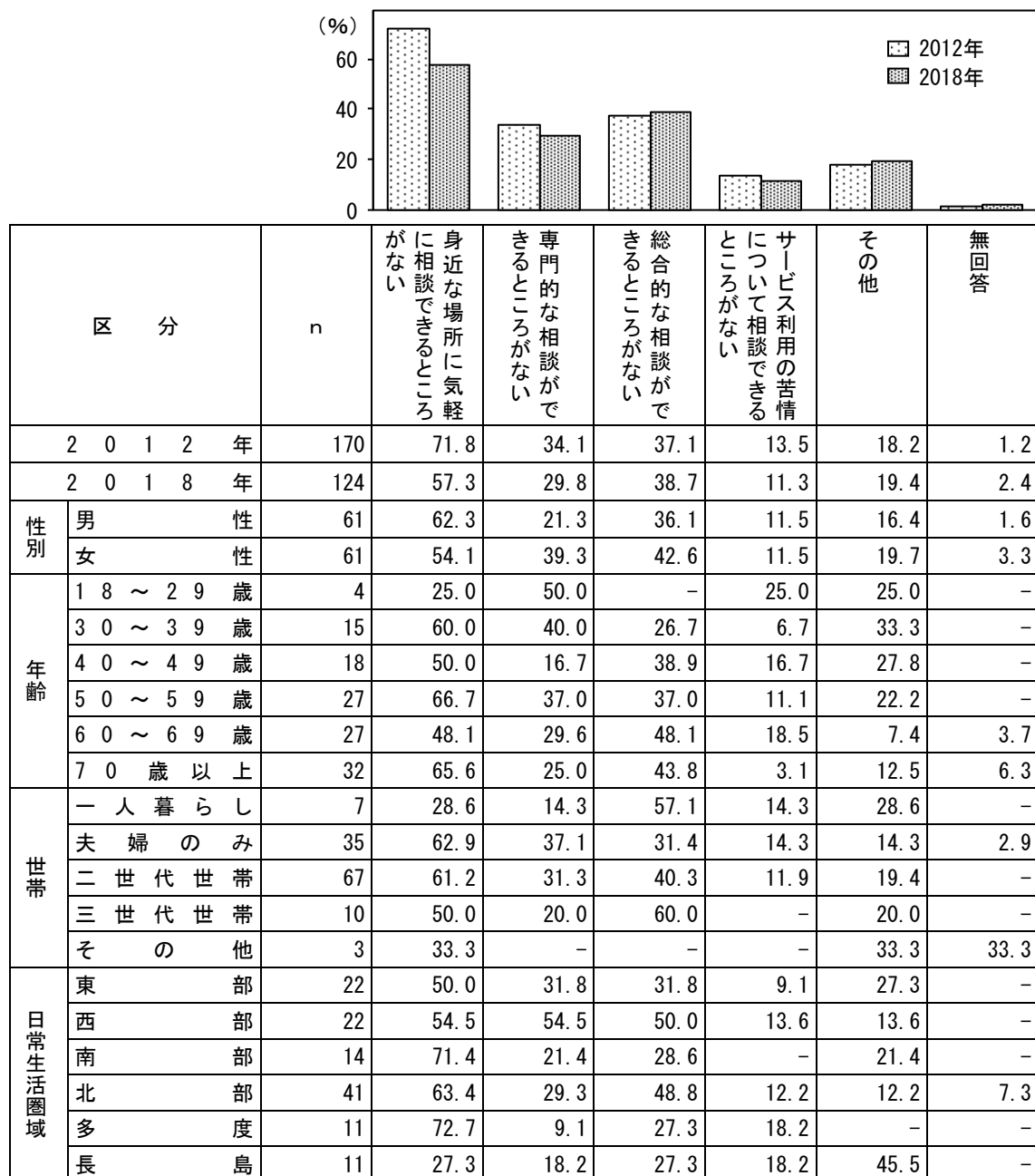
■ 満足している ■ おおむね満足している ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない □ 無回答

(7) 相談支援体制について不満な理由

相談支援体制の満足度で「やや不満」または「不満」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「身近な場所に気軽に相談できるところがない」が57.3%と最も高く、次いで「総合的な相談ができるところがない」が38.7%、「専門的な相談ができるところがない」が29.8%の順となっています。過去の調査との比較では、「身近な場所に気軽に相談できるところがない」が大幅に低下しています。日常生活圏域別では南部及び多度において「身近な場所に気軽に相談できるところがない」が70%を超える高い率となっています。

図表 1-60 相談支援体制について不満な理由

単位：％（nは人）

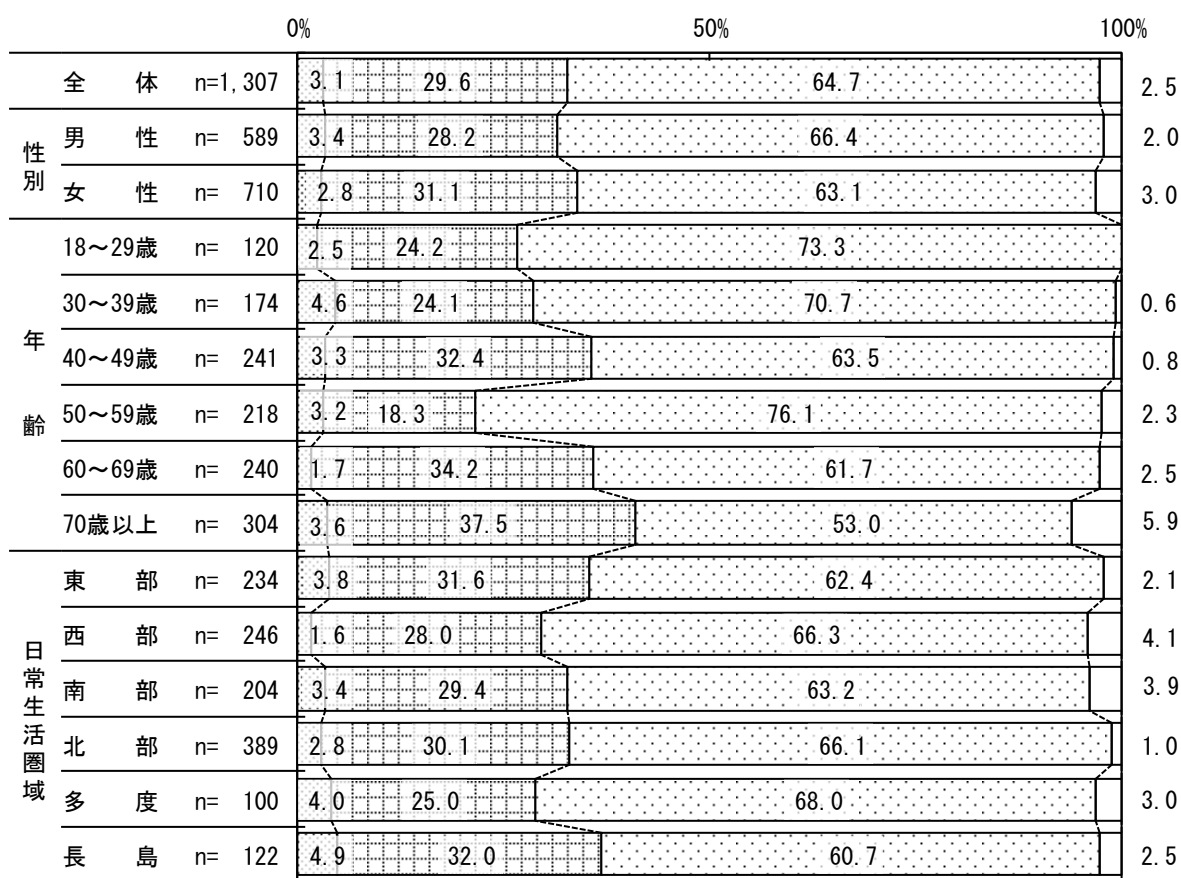


7 生活困窮者の自立支援について

(1) 生活困窮者自立支援制度の認知度

「家計、住居、仕事、子どもの学習環境など、生活に困難な状況にある人の自立を支援する生活困窮者自立支援制度が平成27年4月からはじまりました。あなたはこの制度を知っていましたか」という設問では、「知らない」が64.7%を占めており、「知っている（内容も）」が3.1%、「聞いたことはあるが内容まではよくわからない」が29.6%となっています。

図表 1-61 生活困窮者自立支援制度の認知度



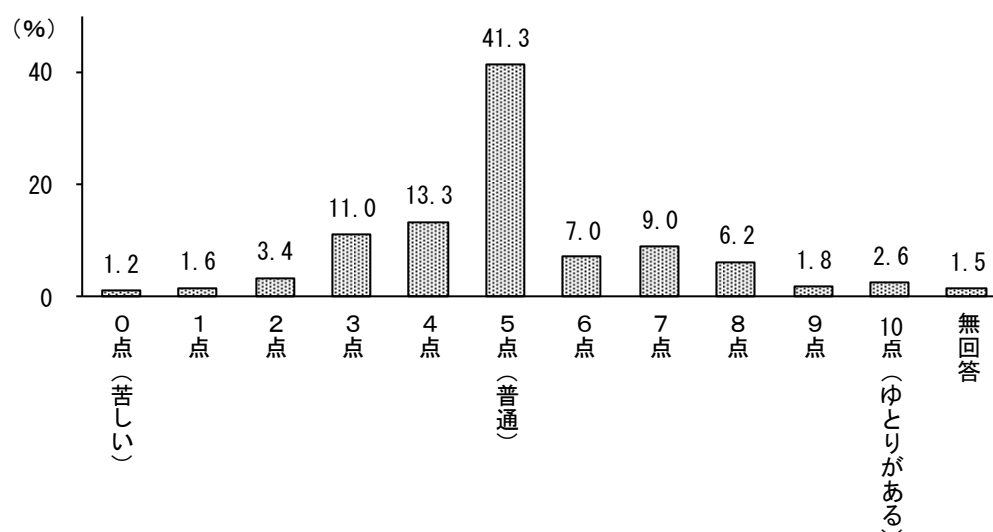
- ☒ 知っている（内容も）
- ☒ 聞いたことはあるが内容まではよくわからない
- ☐ 知らない
- ☐ 無回答

(2) 家計状況

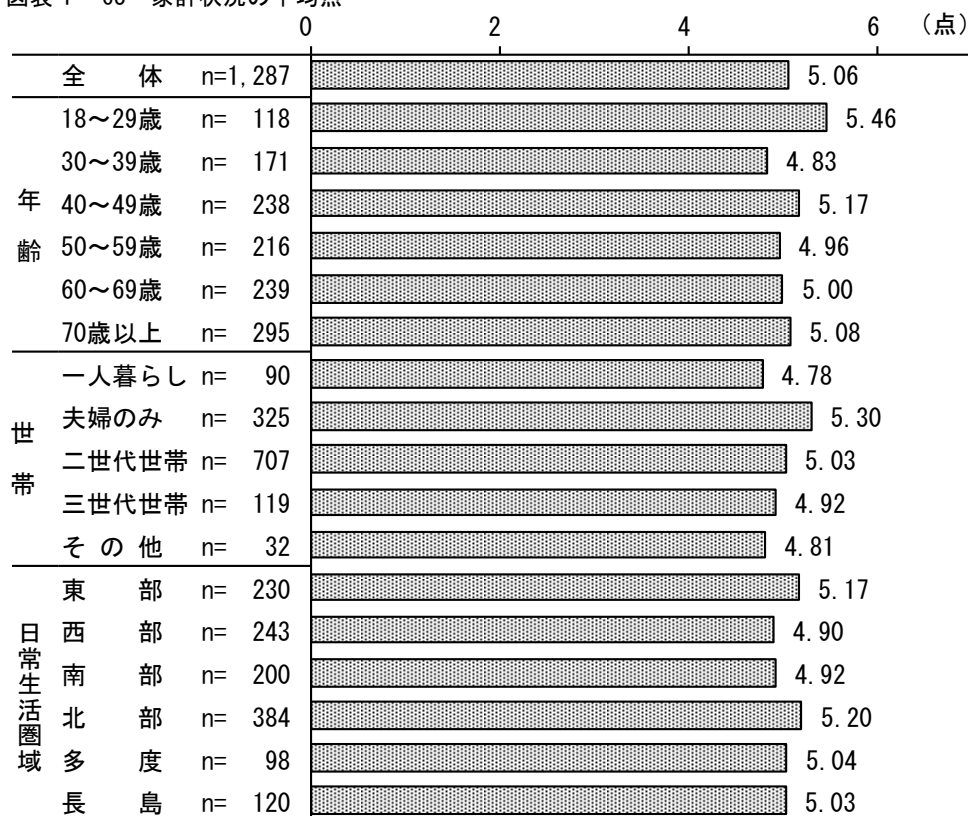
「あなたの家庭の家計状況について、『ゆとりがある』を10点、『苦しい』を0点とすると、何点くらいになると思いますか」という設問では、「普通」の5点が41.3%を占めており、次いで4点が13.3%などとなっています。

平均点をみると、全体では5.06点です。属性別にみて最も低いのは、年齢別では30～39歳の4.83点、世帯状況別では一人暮らしの4.78点、日常生活圏域別では西部の4.90点です。

図表 1-62 家計状況



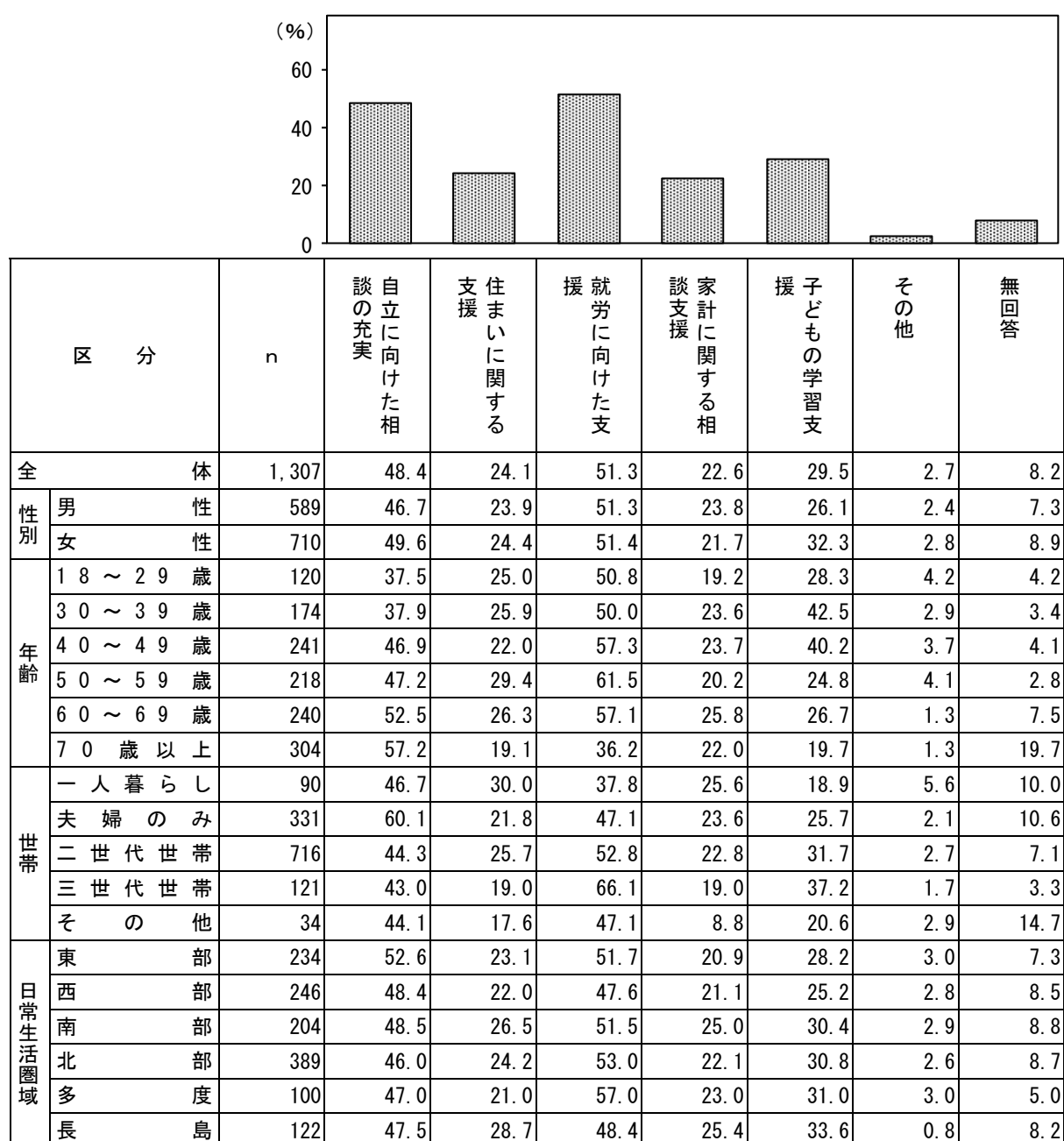
図表 1-63 家計状況の平均点



(3) 生活困窮者の自立支援についての取組

「生活困窮者の自立支援について桑名市がどのような取組に力を入れるべきだと思いますか」という設問では、「就労に向けた支援」が51.3%と最も高く、次いで「自立に向けた相談の充実」が48.4%となっています。年齢別にみると、70歳未満は「就労に向けた支援」が最も高く、70歳以上は「自立に向けた相談の充実」が最も高くなっています。30～39歳及び40～49歳は「子どもの学習支援」が40%を超えており、他の年齢層に比べて10ポイント以上高くなっています。

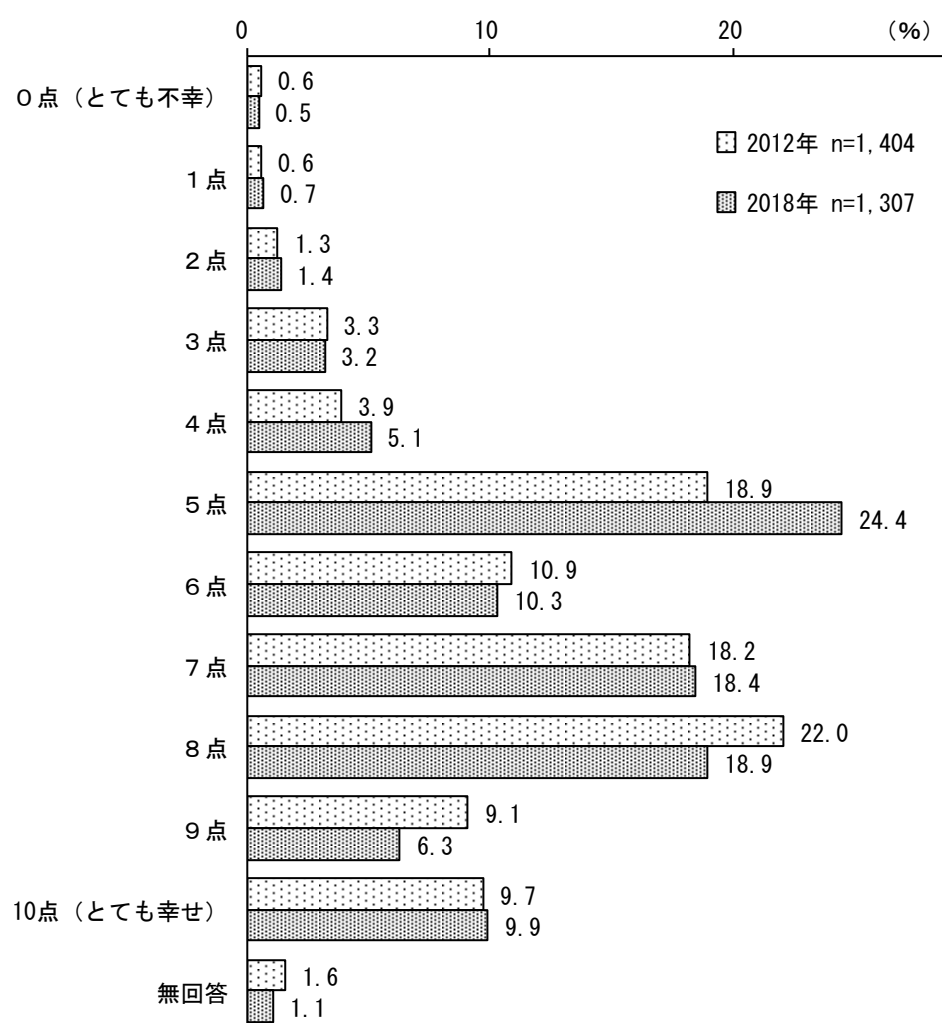
図表 1-64 生活困窮者の自立支援についての取組



8 幸福感について

「現在、あなたはどの程度幸せですか。『とても幸せ』を10点、『とても不幸』を0点とすると、何点くらいになると思いますか」という設問では、5点が24.4%と最も高く、次いで8点が18.9%、7点が18.4%の順となっています。過去の調査との比較では、5点が5ポイント以上上昇した反面、8点及び9点が3ポイント前後低下しています。

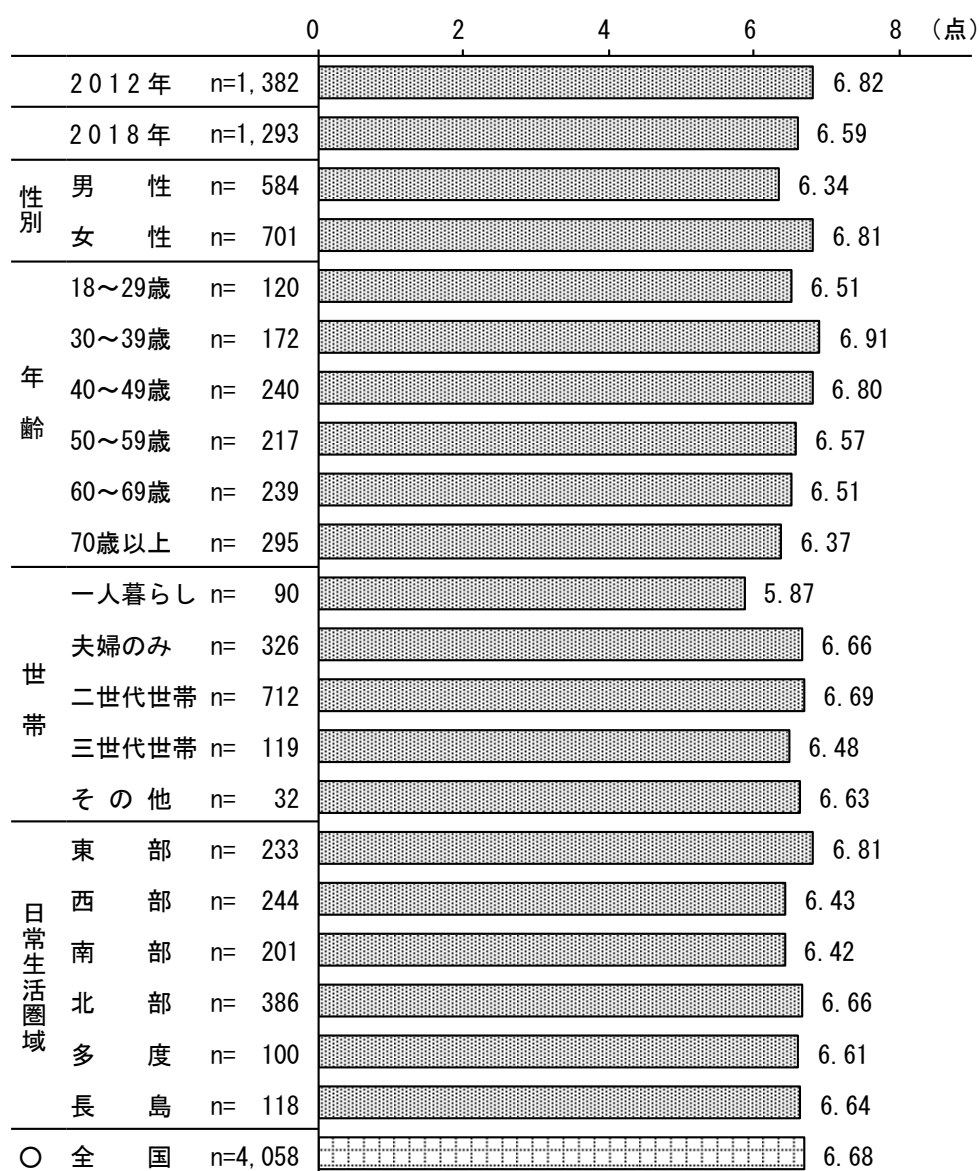
図表1-65 幸福感



平均点は6.59点で、過去の調査との比較では0.23点低くなっています。性別にみると女性が6.81点と男性を0.47点上回っています。属性別にみると、年齢別では30～39歳の6.91点が、世帯状況別では二世帯世帯の6.69点が、日常生活圏域別では東部の6.81点が最も高くなっています。一方、最も低いのは、年齢別では70歳以上の6.37点、世帯状況別では一人暮らしの5.87点、日常生活圏域別では南部の6.42点です。

なお、生活の質に関する調査（平成25年／内閣府経済社会総合研究所）によると、全国の平均は6.68点となっています。

図表1-66 幸福度の平均値



9 自由意見

東部圏域（精義、立教、城東、修徳、大成）

◆地域活動・交流

- 自治会について、権限の強化、根本的な見直しが必要。今の自治会活動は、市の広報の配布となっている。（男性 80歳代）
- 後期高齢者になり、これからも元気で暮らしていきたいと思います。いざ自分に何かがおきても、何かしてほしいと思っても、なかなかすぐにはできません。高齢者の自宅へ民生委員などに訪問していただき、話ができる場をもってほしいです。（男性 70歳代）
- 昔の銭湯のように、地域の人たちとコミュニケーションをとれる場所があればいいと思います。我が子どもたちは、地域の人たちに声をかけていただいて育ったという感じです。（女性 40歳代）
- 自治会活動、祭りや交流会が少ない。向こう三軒両隣のコミュニケーションが薄いと思う。生まれ育ったまちでは、町内運動会や石取祭などの祭があった。今の住まいはそれがなく、よそ者が多い。少し離れると住民なのかわからないこともある。（男性 80歳代）
- 老人と子どもとの交流の場が必要。（男性 80歳代）
- 地域活動を長年しているが、他力本願の住人や支援を打ち切る方向の市政にうんざりしている。大人には自力で何とかせよと思うが、子どもだけは未来を考え積極的に支援をしていく。（女性 30歳代）
- 我が町内は、比較的住民交流があります。神社や墓のそうじをはじめ、祭り等もあり継承されていることが多くありますが、近年は新しく団地が造成され、他の地区から多くの人移ってきて、顔見知りでない人がたくさんみえます。町内の行事等を通じて親しくなっていき、ゆくゆくは地域で安心して暮らせるように協力していきたいです。（女性 50歳代）
- 今年まで就労していたため、地域でのコミュニケーションがとれていない。今後の自分の課題であるが、引きこもりにならないように世界を広くしたい。（男性 60歳代）
- 公園に、高齢者向けの健康器具のような遊具の設置。散歩やウォーキングをしている人が多い。無料で健康トレーニングを戸外で行えると、特に高齢者の健康促進に有効だと思う。（女性 60歳代）
- 人と人との「ダイレクトなコミュニケーションの大切さ」を再認識し、周りに「迷惑をかけない行動」を常に考えて、「幼年期の教育の重要性」が理解できれば、自然と住みよいまちづくりが実現できるであろう。（男性 50歳代）

◆保健・医療・福祉

○福祉の充実。（男性 80歳代）

○がんの手術をした後、桑名市の障がい福祉のお世話になり大変ありがたく思っています。

友人等を通じて他の市町の人を見ても、桑名市は一步先んじてがんばっていただいていることを喜んでおります。障がい者なので迷惑ばかりおかけしておりますが、家族に助けられながら少しだけ幸福を味わっています。（男性 70歳代）

○年をとったら、すべての人が認知症になるわけではないということをわかってほしい。（女性 80歳代）

○障がい者がいる家庭の住みよいまちづくりとは。自治会の役員が来年あたる。重度の障がいがあるため家に一人おいておくわけにはいかず、父親もサービス業で土日は仕事のため困っている。桑名市には、障がい者を日曜日に預かってもらえる場所がなくて困っている。（女性 10歳代）

○高齢者の福祉に比べて、若年層への手助けが不足しているのではないか。（女性 40歳代）

○今は家族にも相談もできますが、明日のこと、半年先のことはわかりません。福祉関係が、いつも連携がとれていることを願います。（女性 70歳代）

◆教育・子育て支援

○小学校の放課後、学校で過ごせるような制度を整えてほしい。名古屋市のトワイライト学級などのような制度。（女性 30歳代）

○中学校を自由に選べるようにしてほしい。（女性 30歳代）

○いじめ防止。（男性 20歳代）

○高校で教師をしているが、親の都合で小中学生時代に十分な勉強ができず、劣等感を抱えながらがんばる学生に多く出会う。地域ぐるみで子育てをしていきたい。（女性 40歳代）

○市の教育行政も、先生たちが働きやすくなるよう抜本的改革が必要。（男性 30歳代）

○子育て支援センターなどを利用している友人の満足度が高いことから、その存在などをありがたく感じるようになりました。今後子どもをもつようになったら、ぜひ利用したいです。母親にゆとりのある社会を実現し、拡充してほしいです。さらに、母子家庭、父子家庭の子どもの支援も、今後増えていったらと思います。（女性 20歳代）

○一人親でお世話になっておりますが、18歳で支援がなくなります。現在、高卒では社会に通用しません。最低学歴も、四大卒以上の求人が多いのが現状です。子ども支援の見直しを。学生卒業までとなるとありがたいと思っています。（女性 40歳代）

◆施設の整備・まちづくり

- 医療施策の充実。（男性 20歳代）
- 小学校にエアコンがついてないと報道があり、心配になった。（女性 40歳代）
- 小学校の老朽化が進んでおり危険。改修することで、世代間交流促進と教育環境の充実、公共施設の集約化が得られると思います。（男性 30歳代）
- 空き家の解体の補助なし。（女性 50歳代）
- 下水を早急につける。（男性 80歳代）
- 下水道の充実。東部に充実した公園がない。（男性 40歳代）
- 市の側溝のそうじをする。（男性 80歳代）
- 住民がみんなハッピーになれるまちづくりをしてほしい。（男性 60歳代）
- 駅ビルをきれいにしてほしい。（女性 50歳代）
- もう少し暖かい日がきたら、住んでいるマンションの廊下を掃除したい。災害ボランティアに参加できるように、夫婦でやりくりし、健康をもう少しがんばりたい。（女性 40歳代）

◆交通・移動・道路の整備

- 高齢者の移動が楽にできる生活を。（女性 80歳代）
- 道路の整備。（女性 60歳代）
- 道路整備。特に、細い道などは車が止まらず子どもたちが危ない。（男性 40歳代）
- 踏切の道路が狭く、歩行者が通りにくいので整備してほしい。（女性 40歳代）
- 道路に路上駐車が多く、子どもたちの通行にとっても危険だと思います。歩道をつくる、一時停車の場所を設けるなどお願いします。（女性 30歳代）

◆生活の問題

- 高齢者宅のゴミ収集は、一軒ごとにしてほしい。ゴミ出しが大変。（女性 60歳代）

◆災害対策

- 災害時の避難場所が、現在は危険区域となっている。対応され考案されているのかどうか、反応も意見もいつになってもないのはなぜか。（男性 50歳代）
- 災害時、例えば津波の時、家の前の道が狭く、近所の高いブロック塀が崩れてきたら避難なんてできないと思っている。通学路でもあるので気にはなるが、近所なので言いづらい。広報などで周知いただけたらありがたい。（女性 40歳代）

- 小学校の老朽化が進んでおり、災害時の避難場所として不安。災害時の避難場所としての機能を確実にするため、コミュニティ拠点としてバリアフリー化する。（男性 30歳代）
- 自分の健康や老後よりも、今後来るだろう大きな地震の不安が一番大きいです。今は、不便も困りごともなく生活できていますが、将来は、震災に強いところに移りたいです。（女性 50歳代）

◆情報共有・相談

- 桑名駅前の、市役所サテライトで教えてもらった情報の内容に間違いが多く困ります。市役所で指摘され、再提出を求められたことが度々あり困っています。市役所が遠く何度も行けないので事前に確認しているのに、意味がないです。改善していただけると大変助かります。（女性 30歳代）
- 市役所の職員の説明がわかりにくい。市役所の人にはわかっているけど、こちらはわからないから相談に行くので、もう少しそのことを考えてほしい。特に高齢者には、早口でなく、ゆっくりメモなどに書いて説明してほしい。（女性 40歳代）
- 公民館などで、市の広報や福祉サービスのニュースを知るための授業を受け、そのあと簡単な飲食をするなど、みんなで過ごせるような場所や機会がほしいです。（女性 80歳代）
- 様々のことの情報交換ができるとよい。（女性 40歳代）
- 身近な施設等に、いつでも気軽に相談できる体制を構築してほしい。（男性 60歳代）

◆行政全般

- 観光資源をもっとうまく活用すること。収入が増えないと、何も進まない。県全体にも言えるが、「うまし国」三重という食も文化も本来優れている地域なのに、活用できていなくてもったいない。名古屋にも近いから、訪れる人が増え、お金を落としていてもらえる地域に育ってほしい。（男性 40歳代）
- 市や県や国も、民間企業のように、もっとコストダウンを進めて税金を安くしてください。もともと移住してきたので、いっぱい意見はありますが、がんばって生きていくだけです。（男性 30歳代）
- 税金をとりすぎ。何のために市民税を支払わなければいけないのか。仕事も雇用が悪いので長続きしない。とても困難。（男性 40歳代）
- 桑名市は生活関連にかかわる費用が高い。水道料金など市民税も含めて、公共機関や施設等の料金は値上がりばかり。（男性 50歳代）

- 新しく市会議員も決まったことですので、市長を中心に、ますます住みよい桑名に精一杯の努力をお願いしたいと思います。（女性 70歳代）

西部圏域（桑部、在良、七和、久米）

◆地域活動・交流

- 田舎なので昔ながらのやり方もわかりますが、新しい考え方や、今の人でも働きながら地域の自治会に参加できるような関わり方を提案してほしいと思います。（女性 40歳代）
- 一人暮らしで高齢者になった場合、どのようにすればいいのか。自治会相互で知り合う機会や催し等をつくるべきだと思う。（女性 80歳代）
- 団地は同じ世代の人が集まっており、子ども世帯が外に出て別世帯をもつことが普通になって、団地には高齢者が残されているのが現状です。（女性 50歳代）
- 他市から桑名市に移り住みました。お祭が大好きですが、住んでいる地区ではありません。石取祭の参加を広くしてください。（男性 30歳代）
- 他県や他市から引っ越してきた人や、どの年代の人でも、みんなが住みやすいと思えるような市になってほしい。（女性 10歳代）
- 家に閉じこもりにならないよう、地域のふれ合いや活動ができる場をつくってほしい。（男性 70歳代）
- クルクル工房のフリーマーケットのような機会がなくなって残念です。（女性 50歳代）
- 地域に高齢者が集まれる、公園などのスポーツができるようなところがないのでさみしい。（女性 70歳代）
- 今は元気だけれど、これから先何年も生きて、自分が介護されるときどうなるのか心配になります。みんながいかに健康年齢を維持していくかを考えます。（女性 60歳代）
- 最近、マンションや団地が増え、人間関係が希薄になり、田舎・下町の昔からの住人が減り、自分は自分、あなたはあなたでさみしい限りです。（女性 80歳代）

◆保健・医療・福祉

- 予防医学と介護予防をすすめて、医療や介護のなるべく要らないまちづくり。死ぬまで元気でいられるまちづくりをしてほしい。（女性 50歳代）
- 一人暮らしで高齢者になった場合、今後どのような取り組みをしていけばいいのか。（女性 80歳代）
- 市の検診で、マンモ乳がん検診を受けました。今までは毎年は受けられませんでした、これからは市の補助で毎年あればいいと思います。（女性 50歳代）

- まだ仕事をしていて、なかなかボランティア活動に参加できないので、寄付の募金は自分なりに少しでも役に立てればと思っています。（女性 60歳代）
- 国政における社会保障予算削減政策に追随せず、市民生活の向上に最大限の能力を発揮してください。（女性 70歳代）

◆教育・子育て支援

- 発達障がい者などにも、克服するための教育をしてほしい。障がい者も、教育が身を助ける。障がい者にも、教育機会の推進と創意工夫をしてほしい。（女性 50歳代）
- 保育料の無償化について、きちんとした説明をしてください。（男性 30歳代）
- 桑名市は子どもの数が多いのに、学校内に学童保育がなくてすごく不便。（女性 20歳代）
- PTA加入の完全任意化。（女性 40歳代）
- 桑名市は子育て世代が多く、子どもの数も多いのに、子ども医療などがまったく充実していない。他市町は、最低でも中学校までは医療費が無料なのに小学校までで、新しい家が増えて子どももさらに増えるであろうに、子育てがしにくいつくづく思う。（女性 20歳代）
- 夫婦共働きで子育てをするにあたり、桑名市は他の市町と比べてサポートが遅れています。転居してきましたので、その差がよくわかります。（男性 40歳代）
- 他の市町に比べて、いろいろと支援が少ないと感じます。子どもの医療費も、予防接種も、他市町は補助が出るものもあるようで、やはりうらやましく感じます。（女性 30歳代）

◆施設の整備・まちづくり

- 他市町に比べて、いろいろと支援が少ないと感じます。学校のエアコン設置もされてないままだと心配で、安心して登校させられません。（女性 30歳代）
- 郵便物を出す機会が減ったものの、近くにポストがなくて困っている。以前は、郵便局の配達員にお願いしていたが、その人が退職になり難しい。車を運転しなくても行けるポストは必要だと感じる。（女性 40歳代）
- 新しくできた地区や一部の地域は、住みやすい環境が整いつつあるが、昔からある地域は、なかなか環境が整わず、ずっと不便な状態が続いていると思う。昔からある地域にも目を向けてほしい。（女性 40歳代）
- 高齢者の割合がどんどん高くなり、空き家や非耕作地も増えています。過疎化は止まらないです。10年、20年先は不安だらけです。（男性 50歳代）

- 空き家の一軒家があれば、改装して安く貸し出す。（女性 60歳代）
- 近所に住む若者が、爆音で走行する車あり。近所迷惑している。（男性 70歳代）
- 防犯や交通事故を減らすためにも、街灯を増やしてほしい。（女性 10歳代）
- 電柱を地中に埋める無電柱化もすすめてほしい。景観が悪い。（女性 40歳代）
- 駅前開発は不必要。そんなお金があるのなら、町をクリーンにしてほしい。市町のみ
んなでクリーン活動をすべき。（女性 50歳代）
- 道路の水害、水害後の悪臭など。市への要望は、自治会をとおして資料を土木課へ提出
済みで、土木課と再三話し合いするが、市の予算がないとの話のみ。（男性 70歳代）
- 住民税を払っているのに、まだ下水道が整備されない。早くしてほしい。（男性
60歳代）
- 下水道などインフラ設備、費用がかかることではありますが、しっかりとご説明を含め、
市政よろしくお願いします。（男性 50歳代）
- 下水道の整備が遅れている。（女性 70歳代）
- 草も手入れしていない。（女性 50歳代）
- 自然環境を破壊しない。（男性 80歳代）

◆交通・移動・道路の整備

- 車を手放し、免許証を返納した後、交通手段に困るので、公共交通機関の手段や、乗り
合いタクシーを工夫してほしい。（男性 70歳代）
- 運転免許証を返納したらどう移動するか。電車もバスもあるけれど、外出しなくなるだ
ろう。（男性 70歳代）
- コミュニティバス、八風バス、高速バスの増便や、最終便の時間をもっと遅い時間にし
てほしい。（男性 60歳代）
- K-バスは、ただ走っているだけ。利用する例を示してほしい。（女性 50歳代）
- 最終バスを午後10時以降までに。土曜日のみでも。（男性 70歳代）
- 三岐鉄道の北勢線の存続。（男性 80歳代）
- 車が運転できる年代なら、買い物も通院も可能ですが、運転できなくなった時の生活が
どうなるかと不安です。自分は子ども世帯と同居しているので何とかなんとと思いますが、
周りがそうでないため、他人ごとながら心配です。どうしたら世代をつないで生活する
ことができるのか考えてほしいです。（女性 50歳代）
- 車の運転をしていて不安なときがあるので免許証を返納したいのですが、通院や買い物
などに不便で日常生活が送れなくなるため、できません。地域の人が低価格で運転して

いただけると助かります。買い物は宅配便を利用していますが、通院などは困ります。
何とかみんなが納得できる良い方法をつくってください。（女性 70歳代）

- とても路上駐車がが多く、朝夕のラッシュ時には片側通行になってしまう。通学の子どもたちも危ない。アンケートの意見欄に書いて、路上駐車がなくなるのか。もっときちんとした対応で、解決に向きたい。アンケートの返信封筒が小さすぎる。（女性 50歳代）
- 市街から離れているため、道路などの整備が遅れている。（女性 70歳代）
- 道路の充実。（女性 40歳代）
- 交通安全。特に子どもと高齢者。（男性 80歳代）
- 通学路の整備。（男性 70歳代）
- 自転車専用道路を設けてください。（男性 50歳代）
- 歩道の段差が多く、ベビーカー走行しにくい。（女性 30歳代）
- 桑名市は、道路が整備されていない。白線も不明確等。（女性 50歳代）
- センターラインや停止線、横断歩道などが消えている道路が多くあるので、整備してほしい。雨や雪が降ると境目がわかりにくく、とても危険な状態になっている。（女性 40歳代）
- 最近よく問題になる「あおり運転」をはじめ、車を運転していて危ないと思うことがよくあります。免許証の書き換えのとき、自動車学校を卒業するときに受けたようなテストをしてはどうかと思います。見慣れたビデオを見て話を聞くより、待っている間に配られた資料を読んで勉強して、30分ぐらいのテストをして、100点にならないと帰れないとしたら、みんな習ったことを思い出して優しい運転をしてくれるのではと思います。（女性 50歳代）

◆生活の問題・治安

- 最近、近所に外国人労働者をたくさん見かけるようになりました。最初は、特に何も思わなかったのですが、夜中に大声を出して遊んでいたり、今までなかった「ゴミの分別ができていない」と書かれた紙が配られたりします。外国の人がみな悪いとは思いませんが、やはり生活の価値観が違うなと感じます。家に0歳児がいるので、治安が心配です。桑名市は、とても住みやすいところです。（女性 20歳代）
- 治安の確保。（男性 80歳代）
- 防犯対策が悪い。（女性 50歳代）
- 学区ごとに交番または駐在所がほしい。（男性 60歳代）
- 不審者情報が多い中、コンビニも近くにあり、小学生の子どもが地域に多いため、派出所が近くにほしい。夏の夜など、団地内の公園に中高校生が集まったりしているので、

すぐにパトロールなど来てくれる環境になってほしい。以前、コンビニのゴミを散らかしたり、団地内を徘徊したりしていると通報したが来てくれなかった。（女性 40歳代）

- 今は働いているからいいですが、病気になったときのことを考えると不安です。今とても幸せでも、75歳以上になったときのことを考えると、大きなストレスです。（女性 60歳代）

◆情報共有・相談

- 市民センターの廃止により、市行政の窓口業務がなくなった。地元の高齢者は、遠方まで行くことになり大変である。（男性 70歳代）
- 今までは、何かあったら地区センターに行っていたけど、今は名称も変わって仕事内容も変わったのか、とても行きにくくなった気がする。住みよいどころか、何かあったら役所に行くように言われて、時間も交通手段もない人には、住みにくい気がする。電車の駅は遠いし、バスは本数も少なく高い。（女性 40歳代）
- 高齢者になったのに、地域センターがなくなったことは残念に思います。（女性 80歳代）
- 市民との意見交換会などが必要。（男性 50歳代）
- 市民の声を聞く姿勢が大切です。市職員の配置について、最低でも1つの部署に7年間以上いることが必要です。桑名市は、職員の配属を変えすぎる。（男性 70歳代）
- 高齢化が進む中で、行政側からの情報発信や、確認を密にできる制度を構築願いたい。（男性 50歳代）
- 一人住まいになったとき、どこにどのように相談すればよいのか不安でたまりません。（女性 60歳代）
- 自分の人生は、自分たち家族で考えて進めないといけないと、常に思っている。他人に頼んでも解決しないし、アドバイスのみもらっても、何の解決にもならない内容ばかりでした。もっと住みやすい桑名市にしてください。（女性 50歳代）

◆行政全般

- 若い人が住みつきやすい市を考えて市政を勧めてほしい。（男性 80歳代）
- 消費税等、税金の減額。募金にも税金がかかっていると聞きました。善意のお金から、国へお金がとられているのはおかしいです。（女性 40歳代）
- 同じ税金を払いながら、地域で格差があるのは納得いかない。子ども手当を支給しているが、子どものために使っている親はどれだけいるのか。小学校の給食費に充てて、

各家庭に手当てを払う必要はないと思う。税金の使い方をきちんとしてほしい。（女性 50歳代）

- 税金が高くて、将来が不安です。働けなくなったら、病気になったらと考えると、お金がないのに税金は払わなくてはいけなくて。生活が苦しくなったら、死にたいのに死ねなかったらなど、暗くなってしまいます。田畑や不利用地はなくしても、住むところや貯金だけは残して、生活費をもらえる法律ができてほしいです。（女性 50歳代）
- 桑名市は、財政状態が悪いという噂をよく耳にします。まずはそこからきちんと直していただかないと、この先不安です。（男性 40歳代）
- 各家庭で家計をやりくりしているように、市政の中でも小さいことでもムダ使いせず、市民のために考えていただきたいです。年金収入で生活していますので、年々減額では困ります。生活を豊かにするにはお金です。（女性 70歳代）
- 消費税値上げなどもあり、先行きや未来が明るく思えない人が多いように思う。希望の光が見えるような施策をしてほしい。今や「個人」になりつつある。その孤立の意味を良くも悪くも見すえた方法を考える必要がある。（男性 70歳代）
- 時代の流れで仕方がないだろうけれど、世の中は便利になりすぎ、反対に人の心や行動は信用できない。顔も見ないで話がまとまったりして、何ごとも間違っているように思えてならない。子どもを教育している大人は、今どうだろうか。不安になる。思いやりもなくなり、政治も信用できないと思える。（女性 60歳代）

◆アンケート

- アンケートを活かして、住民が住みよい市にしてほしい。（男性 40歳代）
- 生の意見を聞くことが大切と考える。もっと多くの人の意見を聞くこと。（男性 50歳代）
- こんなに難しい質問は、考えるのが大変です。（女性 80歳代）

南部圏域（日進、益世、城南）

◆地域活動・交流

- 人それぞれに生活内容や考え方に差異はありますが、お互いに近所同士が助け合い協力し、他人の意見を認め合う精神が必要と考えます。（男性 80歳代）
- 隣近所の思いやりが大切だと思います。（女性 80歳代）
- 町内会のそうじも出席者は多いし、一人暮らしで困っている人も見かけませんが、老人会等に勧誘しても、なかなか入っていただけません。元気で働いている人が多いのか、時間がとれないのか。みんなで話し合える場所や時間がないように思います。集まりはありますが、出席者は少ないです。（女性 70歳代）

- 公民館等の活動を充実させるのはいいが、たくさんあるように思います。まとめて個々のクラブ活動を高めてほしいと思います。（女性 70歳代）
- コミュニケーションができる居場所づくりを進める。（女性 60歳代）
- 桑名市は、他市より抜きんで良いところはありませんが、穏やかで住みやすいところだと思っています。今は、日中は市外へ働きに出ていますが、定年後に在宅時間が長くなってきたら、隣近所などとの付き合いがうまくできるか心配です。（女性 50歳代）
- 結婚を機に桑名に来ました。桑名の人は地元愛が強く、良いことだと思いますが、もう少し他市にも目を向けてもいいかなと感じています。（女性 40歳代）

◆保健・医療・福祉

- 健康が一番。（女性 60歳代）
- 困難な病気は、他市の病院に行くのがこの地域住民の常識になっています。桑名市総合医療センターの内容を充実させて、高度な医療技術や機器を導入して、市民が安心して入院できる医療センターになることを願っています。（男性 80歳代）
- 産婦人科、小児科がもっとあれば。医療センターができたけれど、小児の救急を受け入れないのでは、何のためにあるのか。桑名市で、小児の救急受け入れができないなんて、今後の子育てに不安がある。（男性 30歳代）
- 福祉や介護など、お年寄りに関してのことは、ものすごく耳にするが、子どもに関することは少ない。（女性 30歳代）
- 市で、高齢者住宅をもっと増やしてはどうでしょうか。（男性 30歳代）
- 今は自立した生活がおくれているが、高齢になって1人では生活できなくなったとき、特別養護老人ホームに入らねばと思っているので、特養ホームをたくさん造ってほしい。金額の高いところへは入れない。（女性 80歳代）
- 生活保護や自立支援を受けている人で、健康な人に、道路の草取りや枝払いなどの仕事をしてもらうことで、少しは気がねが減るのではないか。（女性 70歳代）

◆教育・子育て支援

- 少子高齢問題について、行政はもっと積極的に対応すべき。子ども手当などの支援はあるが、もっと出すべきである。（男性 40歳代）
- 定年後またはその少し前、自分のスキルを活かして、子育て支援等の地域貢献をしたいと思っています。（女性 50歳代）
- シングルマザーとして育児をしているので、その観点からの希望・要望・不満を感じることがあります。経済的な面で困窮しているのは確かなので、給付金や手当がささやかでもあるだけで、金銭面でも精神面でも救われます。多めの額を一度二度もらうより、

ほんの気持ちぐらいの額が定期的に入ってくると救われます。（女性 30歳代）

- 英語、国語、算数など、高学年の学力差がある。できる子にはどんどん伸ばせる教育を、難しい子には丁寧でわかりやすく指導すべき。全員同じようには不可能。（女性 40歳代）
- 子どもの予防接種について、定期接種をもっと充実させてほしいです。おたふくかぜ、インフルエンザ、ロタウィルス等を希望します。また、大人の麻疹、風疹の予防接種に補助金を出してくれば、接種する人が増え、感染予防につながると思います。（女性 30歳代）
- 子どもが医療を受けるとき、受給者証を提示すれば現金を支払わなくてもいいようにし、窓口での負担がないようにしてほしい。子育て世代への支援をお願いしたい。（男性 -）

◆施設の整備・まちづくり

- 公園など、子どもが遊べる場所がもっとあればいい。（2件）（男性 30歳代・60歳代）
- 子どもがいつでも遊べる場、公園や集会場などをつくるべき。（男性 40歳代）
- 公園を整備し、増やしてほしい。自転車に乗れるところも増やしてほしい。公園でも、子ども用自転車に乗ることが禁止されているところがある。（女性 30歳代）
- 伝馬公園を残してほしい。（男性 30歳代）
- 老朽化している保育所の建て直しをお願いします。（女性 30歳代）
- 通学路に古い家があり、瓦などが落ちていてとても危険です。地震のとき、ブロック塀も心配です。空き家も整備してほしいです。（女性 40歳代）
- 15年前に桑名市へ引っ越してきて家を建てる際、下水道が整備されていないことを知り驚いた。家の前の排水溝の臭いも気になり、汲み取り業者への支払いも高額でびっくりした。同じ桑名市でも、下水道があるところとないところがあるのはおかしい。15年たってもまだ整備されないのはなぜか。年に2度の排水溝そうじも、高齢者が多く、結局は若い人がすることとなってケガをしてしまう。（女性 40歳代）
- 駅前の鳥のフン害など、子どもと通るときに不安になります。野生生物の保護も大事ですが、人が集まる場所なので、何か対策をしていただきたいです。（女性 30歳代）
- 最近特に強く感じているのが、自然環境の破壊です。地球温暖化が叫ばれている中で、周囲では田や畑が姿を消し、野山は開発が進みます。桑名市として、それを食い止める方法を考えていただきたい。自然がなくなり、緑が減り、その無くしてしまったものを取り戻すには無限の時を要します。破壊するのは簡単です。（女性 60歳代）

◆交通・移動・道路の整備

- 車に頼らないまちづくりの実現。（男性 40歳代）
- 交通面。特にバス。（男性 60歳代）
- 利用できる交通機関もないし、近くにスーパーもないので、買い物ができる店が近くにほしい。（女性 70歳代）
- 今は車で買い物に行けますが、これから先運転ができなくなったとき、病院や買い物に出かけることが不便になります。交通の手段が良くなると大変うれしいです。（女性 60歳代）
- 病院、スーパー、交通が不便。（女性 60歳代）
- 今住んでいるところはとても便利です。しかし、コミュニティバスは、少しずつ本数が少なくなっているように思います。体も少しずつ衰えていきますので、本数を減らさず、今のままにしてください。それが今すごく心配です。（女性 50歳代）
- 同じ桑名市でも市街中心部とは違い、城南地区は交通の便も悪く、後回しにされているように思います。車がないと生活できず、75歳以上の高齢者も、通院・買い物もあり、免許証を返納できない人がたくさんいます。20年後、自分がここで生活できるのか。福祉サービスを受けるにも経済的な不安もあり、明るい老後は想像できません。（女性 50歳代）
- 人口の多い地域ばかり交通の便も施設も充実させている。交通の便が悪い、お年寄りが多い、学校まで遠い、津波が来たら最も危険な地域を住みやすい環境にするのが、役所の仕事だと思う。支払っている税金分くらいは、これらの地区に使ってほしい。（女性 50歳代）

◆生活の問題・治安

- 昼間・夜間ともの防犯パトロール強化。（男性 60歳代）
- 自転車の無灯車に困っているので、パトロールを。（女性 50歳代）
- 年齢的に仕事なくなるので、いつまでもできる仕事がほしい。（男性 50歳代）
- 道路での歩きタバコを禁止し、ポイ捨ても、もっときびしくしてほしい。（女性 30歳代）
- 外国人の労働者が増加し、地域住民、特に高齢者など不安になっている人がいるので、市として何か対応してください。差別するつもりはありませんが、マナーを守らず、自国の風習のまま生活していることに我慢ができなくなりそうです。自転車を利用する人が多いので、交通マナーなどの指導をお願いします。（男性 40歳代）

◆災害対策

- 大地震や津波などの防災対策。高齢者への対応策なし。（男性 60歳代）
- 老朽化している保育所の建て直しをお願いします。南海トラフなど、震災時が心配です。（女性 30歳代）

◆情報共有・相談

- 市役所のホームページに各課・担当部署の電話番号がありますが、相談や質問したいことが、どの課の担当なのかが、わからないことが多いです。受付の番号をすぐにわかるようにしてほしいです。（女性 40歳代）
- サービス利用の手続き等がよくわからない。（男性 50歳代）
- 支援や福祉など、住民が知って便利なものは、まとめて冊子にするなど、だれもが知る場所として平等に受けられるようにしてほしい。（女性 50歳代）

◆行政全般

- 人口が増えることはよいことだが、昔から住んでいる人より、新興住宅あるいは新しく住み始めた人を重視しているように思う。このままでは、桑名市あるいは行政が嫌いになる。もっとバランスの良い住みやすい町になってほしいと思う。税金の使い方をしっかりと見直してほしい。（男性 60歳代）
- くわな新聞とかで、税金を使うことはやめてほしい。（女性 40歳代）
- 住民税が高すぎて、いつも気にして生活しています。もっと効率の良い使い方をしてください。桑名市から若い人がいなくなります。（女性 50歳代）
- 税金を安くしてください。去年に比べて倍払わされています。（男性 40歳代）
- 高齢者から現役世代へ、行政サービスを転換いただきたい。（男性 40歳代）
- 目先の派手なパフォーマンスではなく、市民の文化活動の予算を省くことなく、幅広い意見を出し合って十分な議論をし、市民や子どもたちの芸術・文化の向上につながるところに予算を出してほしいです。（女性 60歳代）

◆アンケート・その他

- 実行してほしいです。（女性 60歳代）
- 住んでいる地区には、特有なことがほとんど存在していないように思う。「桑名市」としてなら、多々あり誇りに思っている。（女性 30歳代）
- 若者に働く意欲がない。ストレスを発散する場所を提案するとよいのでは。昔はよく遊んだが、仕事もよくやった。（男性 60歳代）

北部圏域（深谷、大和、新西方、筒尾、松ノ木、大山田、野田、藤ヶ丘、星見ヶ丘、陽だまりの丘）

◆地域活動・交流

- 自治会も機能しなくなっている昨今なので、行政から自治会の世話役のようなものを派遣してみてはどうか。自治会活動の活性化が求められていると思う。（女性 50歳代）
- 自治会は必要だと思うが、素人集団では話が進まないこともある。（女性 40歳代）
- 自治会に参加して、コミュニティを築くことが大切かと思います。近所とあまり密な人間関係を築くことは難しく、ある程度距離を置く方がいいと思う。災害時お互いに助け合えるような関係を築いていけたら理想です。（女性 60歳代）
- 外国の人が多い地域に住んでいます。自治体に入っていない人もいますので、自治体の活動などでも顔を合わせることがありません。言葉も通じない人もいて、災害時等は、どのような助け合いができるのかわかりません。今後、外国の人が増加するのなら、いろいろな面でのサポート等が必要なのではないかと思います。（女性 40歳代）
- 同世代の友だちが少ないので、メディアライヴにあった青少年センターを再築してほしいです。近所の公民館は、おばさんばかりでつまらないです。（女性 20歳代）
- 子どもと高齢者が、時間を共有できる施設をつくっていただきたい。（女性 40歳代）
- 小学生の子どもの登下校中など、地域の人に見守ってもらって安心して通わせています。集合住宅に住んでいて、普段地域活動に参加できていないのですが、近所の人と顔を合わせることがあれば必ず声をかけてもらい、気持ちよく生活しています。（女性 30歳代）
- ボランティアも少し興味はあるが、今の状況だと仕事と家庭で手一杯。（女性 40歳代）

◆保健・医療・福祉・就労

- 福祉団体は、何年も同じ役員で運営されている。もっと入れかえが必要ではないか。（女性 70歳代）
- 病気になった後のことではなく、病気にならないようにする方法を取り入れていかないと、医療にばかりお金がかかる。（女性 30歳代）
- 近くに病院がない。（2件）（女性 80歳代、60歳代）
- 結局、他市の病院に行くしかないのでは意味がない。（女性 30歳代）
- 下深谷部は、医療機関、ホームドクターなどがいない。（男性 70歳代）
- 子どもの医療を充実してほしい。救急で対応してくれる病院が少ない。（女性 40歳代）

- 離れて暮らす高齢者の受け入れ媒体がほしい。（女性 50歳代）
- 老人ホームでの介護士不足の解消。特に日曜日。（女性 80歳代）
- 独居の高齢者や高齢夫婦など、外出が不自由な人に巡回介護員の充実を図る。（男性 60歳代）
- 介護者の中には、適性を欠く人もいると感じることがありますので、より良いサービスのための指導と環境を望みます。（男性 50歳代）
- 介護士や保育士の賃金をもっとアップしてあげてほしい。少子高齢化の時代、誰もが安心して暮らせるように。（女性 60歳代）
- 高齢者が住みやすいまちづくりを特に考えてほしいです。（女性 70歳代）
- もっと福祉を充実させてほしい。（男性 60歳代）
- 身体障がい者や知的障がい者は、手厚く守られている感じがしますが、難病者に対しては、仕事の面で失業した場合など、障がい者と同じようにしてもらえないのが不満です。これは国の問題ですが。（女性 50歳代）
- 精神障がい者の求人について、社会保険完備で土日休みの事務職のパートをもっと増やしてほしい。以前の職場では、人間関係が悪くなり、退職してしまいました。自立して働くために、こういう求人がないと将来安定して生活できるかどうか不安です。（女性 20歳代）
- 元気な老人が集う場所が、少なすぎる。要支援等の認定がない人でも、利用できるデイサービスのよう施設があればよいと思う。（女性 50歳代）
- 生きがいのある高齢者の生活。（女性 50歳代）
- 就労の受け入れを拡大し充実を図り、働きやすい環境づくりを進める。（女性 30歳代）
- 若い人材を育てるために、地域に根差した地域に貢献できる環境のあり方、教育を育むシステムをつくる。（男性 40歳代）

◆教育・子育て支援

- 公立幼稚園が縮小されていき、桑名市は私立に頼り切っているところがあります。歴史がどうあれ、親はどの時代も公立3年保育を望んでいます。公立保育の大切さをわかってもらえれば、未来は変わると信じています。（女性 30歳代）
- 子育て支援の場が少ないです。幼稚園入園前の子の一時預かり所は、いつもいっぱい入れません。市で運営できないのなら、民営化してほしいです。周囲に頼れる親兄弟もいないワンオペ育児をしている母親はたくさんいます。深刻な問題です。（女性 30歳代）

- 子どもの預かり施設、夏休みや冬休み等長期休みの学童保育の一時利用や一時保育が、大山田地区にはないので、とても不便を感じています。子どもが多い地区なのに、なぜ開設してもらえないのか不思議です。（女性 40歳代）
- 子どもの預け先が少ないので、増やしてほしい。学童などの受け入れ先がないために、フルタイムで働けなくなっている。（女性 30歳代）
- 子育て支援センターのある環境を増やす。（女性 20歳代）
- 子どもたちの学習支援の充実が、貧困からの自立に必要な不可欠だと思います。子どもたちの居場所として、学校と自宅以外のサードプレイスを設けてあげたいです。（男性 50歳代）
- 高齢者ばかりではなく、子どもたちにもっと目を向けたことをしていかないと、ムダなお金ばかりが出ていく。（女性 30歳代）
- 子どもの医療費について、いちいち窓口で支払わなければならないのが負担です。待ち時間も長くなるので、市から医療機関へ支払う方法へ変更してほしい。（男性 30歳代）
- 子どもの医療費の窓口負担がなくなると、ありがたいです。（女性 20歳代）
- 子どもの医療費について、収入に関係なく無償化をすべきだ。（男性 50歳代）
- 子どもの健診内容を充実させてほしい。（男性 50歳代）
- 学童保育利用にかかる保護者の負担（主に運営）を減らして欲しい。フルタイムで働いていると時間がない。（女性 30歳代）
- 夏の暑さ対策。小学校の夏休み期間を増やす。（女性 80歳代）
- 健やかな子どもの成長を願うために、学校教育も大事だが、まずは家庭教育が一番大事だと思う。それには、まず親の教育が必要ではないか。今は、核家族が多くなったので、母親や父親の役割等を教えてもらえる場所がなくなっていると思う。家庭のしつけや、人として何が大事かについて、親が学習する場を行政がつくるといいと思う。（女性 60歳代）

◆施設の整備・まちづくり

- 市立学校のエアコン設置。設備の充実を図ってほしい。例えば、大山田公民館は、壁がはがれてそのままだったりする。設備の充実は、子育てを安心してできる環境づくりになるので、優先課題にしていきたい。（女性 40歳代）
- 小学校にエアコンの設置。（男性 40歳代）
- 公民館の建設を、アンケートにあるような地域順ではなく、お金がたまったら全地域同時期に建設、児童数に応じた保育園・幼稚園・小学校・中学校の統廃合。（男性 50歳代）

- 桑名ブランドの売れるものを増やすまちづくり。（男性 40歳代）
- 観光地の少なさ。集客力のある場所が、長島スパーランドしかない。（女性 20歳代）
- 桑名市はあまり観光地がなく、魅力がない。お店もあまりないので人が集まらない。
住んでいても、自慢できるものがないのが残念。住みやすいだけだと思う。（女性 40歳代）
- サッカー「ヴィアティン三重」のスタジアムづくり。（男性 30歳代）
- 三重県のサッカー、Jリーグを盛り上げていく。（女性 80歳代）
- 若い人が、桑名で働きたいと思えるまちづくり。（男性 40歳代）
- 桑名市は、非常に住みにくくなった。市民が楽しめるまちづくりがされていない。マンションばかりが増え、桑名のまちや商店は消えてしまった。市長は、桑名の良いところをもっと見出して、桑名をどうしていくか、いろんな人の意見に耳を傾けるべき。
（女性 60歳代）
- 桑名市内で一番人口の多い大山田地区にも図書館の建設を望んでいます。ショッピングセンター以外にも近所に長い時間を過ごせる公共の場所が必要だと思います。（女性 60歳代）
- 星見ヶ丘や大山田地区に、勉強ができる図書館等の施設を整えてほしい。（女性 20歳代）
- 高齢者が、活発に行動できる環境づくり。交通の利便性。スーパーやショッピングセンター、病院、公園などの充実。（男性 60歳代）
- 市の住宅。（男性 60歳代）
- 街灯を増やし、青色街灯をLEDに替えてほしい。暗すぎて危ない。（女性 20歳代）
- 桑名駅周辺の活性化。（女性 20歳代）
- 桑名駅周辺のインフラ整備に期待しています。5年後が楽しみです。（男性 10歳代）
- 市が近所の公園の木を切るらしいといううわさがある。なぜなのか。緑豊かな市になるためには、不当だと思う。（女性 70歳代）
- 街路樹にムダな税金を使わない。（女性 60歳代）
- 各世代の構成年齢のバランスがとれるようなまちづくりができると、自分が年をとってからも支えてくれる世代がいるという安心感が持てて、住み続けたいと思えるようになるかもしれない。若い世代の人たちが住みたいと思えるようなまちにすることが重要だと常々思う。特に、治安が良いにこしたことはない。（男性 30歳代）

◆交通・移動・道路の整備

- 昨今、高齢者ドライバーによる事故が増え、国や自治体も高齢者の免許証返納を進めて

- いるが、返納後の移動手段を真剣に考えてほしい。きめ細やかなコミュニティバス等が必要なのでは？（女性 50歳代）
- 高齢者用市バスの無料化。（男性 70歳代）
 - 市内バスの充実。本数が少なく料金が非常に高い。高齢者は、自動車運転免許証を返納してバスを利用して生活できるようにしてほしい。（女性 50歳代）
 - 交通の便が悪いので、車がないと困る。子どもの通学も心配。陽だまりの丘から桑名駅に行くバスの本数を増やしてほしい。（女性 30歳代）
 - バスが時間どおりに来ません。（女性 10歳代）
 - 桑名駅までバスで片道30～90分もかかる。これでは、歩くか、名古屋方面のバスの方がまし。車なら15分なのに。（男性 40歳代）
 - 下深谷部は、買い物も不便であり、まちづくりを進めるにあたり、考慮する必要あり。（男性 70歳代）
 - 高齢者が病院へ行きたくても、誰かがいないと行けない。家族は仕事で時間もない。地域でボランティアがあれば助かるのでは。（女性 20歳代）
 - 道路整備。交通渋滞。（男性 60歳代）
 - 歩道にベンチの設置。坂道に手すりの設置。（男性 70歳代）
 - 道路がデコボコで、自転車や車いす、高齢者が危険。（女性 50歳代）
 - 道路がデコボコで、子どもや高齢者がつまずく。転倒することもある。（男性 60歳代）
 - 市内を自動車で走っていて一番驚いたことは、主要道路はもちろん、町内の路地等、すべての道の白線が消えていること。全国ワースト3の事故率は、納得できることです。他県ではありえない光景に大変驚きます。転入してきた人はみんな同意見です。（女性 40歳代）
 - 通学路などの道路の側溝が、とても深く柵もフタもなく、危険な箇所が多い。子どもや高齢者が落ちる危険性が高い。（男性 60歳代）
 - 心に余裕がないためか、ドライバーの運転に危険を感じることも、多々ある。高齢者や子どもや障がい者は、より危険に感じるのではないかと思う。（男性 50歳代）
 - 高速道路やリニアが、今後私たちの地域に何をもたらすのかは、積極的な行政の取り組みにかかってくると思います。桑名の大きな価値という本意がしっかりしていれば、さまざまな事が充実してくるのでしょうか。（男性 40歳代）

◆生活の問題・治安

- 高齢者が、ゴミを毎回家から遠いところまで持って行くことができない。地域でボランティアがあれば助かるのでは。（女性 20歳代）

- 高齢者、特に一人暮らし、高齢夫婦、日中独居人は、ゴミ出しや通院などは大変なこと。地域でボランティアがあれば助かるのではないのでしょうか。普通の人が思っているより、高齢者にとってつらいことです。子どもの託児所を増やすことよりも、高齢者の生活に目を向けてみてはどうですか？（女性 20歳代）
- ゴミの収集について、弥富市などのように家の前に置くなど、個別収集にしてほしい。不燃ゴミの日に大量の空き缶を出すなど分別しない人を、きちんと分別している人が当番だからという理由だけで、面倒をみて処理するというのはおかしい。（女性 40歳代）
- 集合住宅の人にも、自治会のルールを守ってほしい。または管理会社が責任を持つ。集合住宅周りのゴミ出しが汚い。ルールを守らず、他の自治会にゴミを出す。（女性 50歳代）
- ゴミ出しの際の分別が面倒で、意味がないように思います。名古屋市のように、わかりやすくしてほしいです。ゴミ出しの時間帯についても、生活サイクルに合わない人も多いので、夜も回収していつでも出せるようにしてください。（男性 30歳代）
- 生ゴミを堆肥にする、以前クルクル工房でやっていたものを、復活してほしい。事業が中断して、生ゴミが増えて困っている。（女性 70歳代）
- 粗大ゴミの地域収集について電話できないときがあるので、シールではなく、年に数回回収してもらいたい。（女性 40歳代）
- 外国人の増加による、治安対策。（女性 80歳代）
- 防犯カメラの設置。外国人が多数いる。（女性 70歳代）
- 要所要所へ監視カメラを設置して、マナーの悪い車の取り締まりを進めてください。（男性 50歳代）
- 花火大会や祭など大人数が集まる機会や場所は、全面禁煙にしてほしい。とても危険。（女性 40歳代）

◆災害対策

- 桑名市は地震が少ないので、被災地への応援。（女性 80歳代）
- ハザードマップ危険地域に住む人を、遠ざける支援と圧力。津波想定地域の移住促進と、固定資産税の増税。駅舎の山側への移転。駅舎は断層直下。（男性 50歳代）

◆情報共有・相談

- 市の相談窓口は、何となく利用しづらい。（女性 40歳代）
- 高齢者向け窓口を行政側で設置してほしい。（男性 60歳代）

- 地域の問題や困りごとを伝達できるような支援がない。（女性 40歳代）
- 市を中心にした連携の充実が大事だと思う。（男性 50歳代）
- 年配者にわかりやすく説明する機関があってほしい。（男性 60歳代）
- 市役所のホームページから探した電話番号が違っていたり、更新されていなかったりしたので困った。（男性 60歳代）
- 市のホームページは、スマホで見るとすごく見づらい。（女性 40歳代）
- 市役所関係の人は、他県のやり方などを見に行って、勉強してほしい。（男性 60歳代）
- 地方自治行政の活動を、もっと市民に対してアピールすべき。「ふるさと納税」など地方の収入源がアピール不足により減少すると、今後展開しようと検討しているサービスも財源不足が原因で実施できない。また、住民と地域のつながりについても、今の社会において情報インフラが整備されたことにより、過去とは比較せず、個人の安心・安全を第一に考えてほしい。（男性 30歳代）
- 市は、行政としての役割は十分果たしていると思う。あとは、個人の努力の問題。情報をいくら発信しても、知ろうとしなければ意味がない。健康と福祉で、市ができることは、場所や機会を提供するのではなく、紹介することではないか。個人・グループや企業など、様々な場所や機会はたくさんある。みんな知ろうとしないだけ。（男性 20歳代）

◆行政全般

- 住みよいまちづくりを進める核となる市役所で、不祥事を起こす職員が多いのではない。桑名市のレベルアップに期待しています。（男性 40歳代）
- 地域金融機関のネット対応を含め、もっと電子化を進めて行政コストを下げ、住民の利便性を高めてもらいたい。（男性 60歳代）
- 民間の機関を市が紹介する等、官民連携が必要と思う。（女性 40歳代）
- 市民税が高すぎる。（男性 -）
- 税金が高い。不公平感を感じる。（女性 50歳代）
- 市民税が高い。固定資産税が高い。市民のことを考えていない。（男性 60歳代）
- 桑名市は他と比べて、税関連、水道代が高いと感じる。市政、税金の使い道に対して、市民の声を聞かれているのでしょうか？（男性 60歳代）
- 水道料金が安い。（男性 40歳代）
- 消費税対策。早めに計画を出す。（女性 80歳代）
- 税金の支払い方法に「Pay B」「LINE」などのツールを選択肢に入れてもらえ

ると、とても便利になると思います。大阪府や神奈川県の取り組みを参考に。（女性 20歳代）

- 普段あまり現金支払いを利用しないので、公共施設でもキャッシュレス化が進むと利便性も上がるのではないかと思います。（女性 20歳代）
- 財政の立て直し。子どもたちに背負わせるのは気の毒です。（男性 40歳代）
- いつまでたっても生活が楽にならない。（男性 40歳代）
- 可もなく不可もなくという感じです。（女性 40歳代）
- 家計の建て直しに必要な貸付制度ができれば、ありがたいです。（女性 60歳代）

◆アンケート

- 一般市民アンケートということで、伊藤市長名で協力をお願いされていますが、住みよいまちづくりを進めていくためには、県外から桑名市に住居を移した人たちからも話を聞く機会をつくることを提言します。今回多くの新人議員さんも増えて、改革を進める絶好のチャンスだと思います。アンケートの回答はいつになりますか？（男性 70歳代）
- 個人の主観的な幸福感をアンケートして、どのようなデータとして活用するのですか。（男性 50歳代）
- アンケートの問が多すぎる。（女性 70歳代）
- 桑名の名前が、世界に広がるといいと思います。桑名市が行っている公共工事や事業が無事に終わることを願っています。健康と福祉に関するアンケートに、選んでいただきありがとうございました。（男性 20歳代）
- アンケート調査をすることはいいことなので、続けてください。（女性 40歳代）

◆その他

- 自身ができることがあれば、協力していきたいと思います。（男性 60歳代）
- いろいろありすぎて、まとまらない。（女性 60歳代）

多度圏域

◆地域活動・交流

- 助け合い。（男性 60歳代）
- 消防団をなくしてほしい。（男性 20歳代）

◆医療・福祉

- 夜間や休日の子どもの救急病院がない。小児科医がいらないからと、結局は弥富市の病院

へ行かなくてはいけない。（女性 30歳代）

- 医療センターは、職員がいまいち。（男性 50歳代）
- 多度総合支所が市民センターになったり、多度すこやかセンターで行われていた育児相談健診などの福祉サービスが中央保健センターに一本化されたりするなど、多度・長島地区の住民にとっては、年々行政サービスが低下し、不便を感じています。福祉や教育は合理化できるものではなく、地域に身近に存在し、利便性を高めることこそが重要です。機能を戻していただくことを切望しています。（女性 40歳代）

◆まちづくり・交通・道路の整備

- 道が暗いので街灯を増やすべき。（男性 30歳代）
- 桑名駅、多度駅、長島駅など、3つの地域を巡回するバスがない。（女性 30歳代）
- 公共交通機関の充実。多度町にも、名古屋行き的高速バスを走らせてほしい。（男性 50歳代）
- 多度町内を走るK-バスの運行時間について、利用者の多い時間帯に増発するなどして、利用者が使いやすいルートを検討していただきたい。特に、中学生や高校生にとっては、重要な公共交通機関になっていると思うので、中学校前にバス停を設けて、帰宅時間帯に運行を検討するなど、もっともっと利便性を上げてほしい。（女性 30歳代）
- 地域に、1日500円ぐらいで利用できる車のレンタルがあるといい。（男性 30歳代）
- 養老線を利用する企業に来てもらい、もっと電車の本数が増えるようにしてほしいです。老人の利点も、桑名市の中心地の人と比べると、多度は不便だと思う。（女性 40歳代）
- 病院通いのためには、車が必要です。免許証を返納したくても、返すことができない地域もあります。買い物は、宅配で朝注文すれば、午後には配達されますので、大助かりです。やはり、高齢者にもスマホは必要です。（女性 80歳代）
- 多度タクシーを復活させてください。（女性 20歳代）
- 大型のショッピングセンターが車で5分ぐらいのところにほしい。（男性 30歳代）
- 制限速度が時速40～50kmでは、車のスピードが出過ぎて危ないところがあるため、見直しが必要。（女性 40歳代）
- 山道は積雪すると、トラックや運転できなくなった車でいっぱいになり、完全に通行できなくなってしまいます。積雪予報が出た段階で、道路の封鎖など、早めの対応をとってほしいです。凍結し事故になるので、未然に防げます。多度や古野や東員までの道をどうかしてほしいです。（女性 30歳代）

◆相談

- 相談窓口でのきちんとした対応。（男性 60歳代）
- 会っていろいろな話や意見を聞いてもらいたい。（男性 30歳代）

◆行政全般

- 市の施設や土地を売却しているのを最近見かけますが、その収益をどのように市の予算として組み込んでいるのか、「見える化」してほしいです。今後、どういう方向性で進んでいくのかも知りたいです。（男性 30歳代）
- 健康と福祉に関する計画策定事業については、行政は市民の考え方を事前によく聞いて行ってください。（男性 70歳代）
- 住みよいまち、住みよい市に、少しでもなるよう力を入れてください。（女性 60歳代）

長島圏域

◆地域活動・交流

- 敬老会への補助金が打ち切られたと聞きました。他にも助成金が減額されたりして、住みよいまちとはどんなまちを目指しているのでしょうか？（女性 40歳代）
- サークル活動で、他市の施設を利用します。とても人気があり抽選でしか利用できないくらいです。統合などで使わなくなった施設を貸しスタジオに活用して、同じような悩みをもった人たちが使えるようにしてほしい。（女性 40歳代）
- 実家が遠方で祖父母との交流が少ない中で、子どもたちと高齢者の人たちとのかわりがもてる機会が、小中学校でもっとあればと思います。（男性 40歳代）
- 市は市民、企業にボランティアというが、市役所も一事業所として、市職員の積極的な支援を感じられない。市、職員には有言実行していただきたい。（男性 50歳代）
- 今後は外国の人がもっと増えて、地域での課題もより複雑になると思いますが、子どもたちが成長し自立したら、何か協力していきたいと考えています。（男性 40歳代）

◆福祉・子育て

- 税金や社会福祉費用を有効に使って下さい。（男性 50歳代）
- 子育て世代としましては、子どもの登下校の見守りをしてくださるボランティアの地域の人に、とても感謝しています。（男性 40歳代）
- 小学校の図書費を充実したりするような小さなことが、もう何年も放っておかれていると思う。（女性 50歳代）

◆施設の整備・まちづくり

- 桑名市内、特に長島を車で走っていると、空き家や空き地、空き施設を放置していることが多く、雑草が茂っている様子を見ると安心できる環境とは思えない。ソフト面ばかり優先しないで、ハード面を充実させてこそ、子育てや高齢者福祉に魅力がある。
(女性 40歳代)
- 社会福祉協議会への市からの予算をもう少し増やしてほしい。施設や設備の古い物品を改善してほしいが、予算がない。(男性 80歳代)
- 長島B & Gプールを改修してほしい。(3件) (女性 40歳代・50歳代・男性 40歳代)
- 長島や多度の黒字地域から、図書館や体育館、長島B & Gプールを衰退させるのはおかしい。(男性 20歳代)

◆交通・移動・道路の整備

- 車の運転免許証がないので、動くのに不便。(男性 60歳代)
- 交通が不便。車がなくても生活できるようにする。(女性 60歳代)
- モノレールもあったらいい。(男性 60歳代)
- 地域バスの増発。(男性 40歳代)
- 介護や病院へ行けるようなマイクロバス等で、決められた時間ではなくて、個人で利用できるように交通手段があるといい。(男性 60歳代)
- 高齢者には極めて住みにくいまち。例えば、市役所へ出向くためにかかる所要時間は、往復で4時間以上。バスが1日に1本のため、高齢者の足で駅まで歩いて50分、駅から市役所まで50分。病院への通院のために、タクシー代が往復6,000円ぐらい。(男性 80歳代)
- 免許証を返納しても、病院や買い物など、安心して生活ができるといいと思います。交通の便が悪いので、病院や買い物に行くためのバスがあるといいです。(女性 70歳代)
- 買い物や通院など、自動車を運転できないと、生活が困窮する地域です。もっとコミュニティバスを利用しやすい方法にしてほしいです。(男性 60歳代)
- スーパーが近くにない不便さを感じる。(女性 60歳代)
- 安全性から、自転車や歩行者専用の道路の整備。(男性 60歳代)
- 道路にほとんど歩道がないため、危険。(男性 80歳代)
- 横断歩道の白線を直したりするような小さなことが、もう何年も放っておかれていると思う。他市では、道路の白線がきれいで驚いた。(女性 50歳代)

- 小学校の横断歩道のあるところや、子どもたちが通学している道路を、すごいスピードで走る高齢者の運転する車をよく見かける。危険なので対応してもらいたい。（女性 40歳代）
- 橋を渡るのに、渋滞するので困る。橋の整備を早くしてもらいたい。（男性 60歳代）

◆生活の問題

- ゴミ捨て場が遠い不便さ。（女性 60歳代）

◆災害対策

- 災害に強いまちづくり。ハード・ソフトの両面から。（男性 80歳代）
- 災害時の避難所が、徒歩で50分もかかる小学校だった。しっかりとした対策を立ててほしい。高齢者も人間であることを考えて、政治を行ってほしい。（男性 80歳代）

◆行政全般

- 桑名市は、税金をどのように活かしているのかよくわからない。このままでは、桑名市から若い人がどんどん他市へ出て行ってしまうと思う。（女性 50歳代）
- まずは、市町村がお金を集め、黒字にできるようにイベントや観光に力を入れるべき。長島と多度黒字で、桑名市と合併して赤字になるようでは話にならない。（男性 20歳代）
- 桑名をブランド化して行ってほしい。（女性 40歳代）
- 長島に、絶景と思われるような場所があるとよい。（男性 60歳代）
- 合併して住みよいまちになると思っていたのは大違い。長島が、どうでもいいという扱いを受けているように思います。何をするにもお金がないと言われ、他の地域や他県へ移ろうかとも考えてしまいます。市長はじめ市会議員・公務員の人々が喜んで公務に励んでいるのでしょうか。残念です。（女性 60歳代）
- もっと住みよいまちづくりを目指してほしいです。高い税金を納めていますので、願いがかなうようにお願いします。（女性 60歳代）

◆アンケート

- 質の高い福祉サービスを提供し、住みよいまちづくりを目指すうえで、地域ごとの問題点や住民のニーズを十分に把握することは重要であり、その意味で、今回のアンケートは大変有効である。しかし、行政の資源である市職員や財源は限られており、今後は、アンケート結果およびその分析内容をいち早く発信することはもちろん、その改善策と

して行政が主体すべきことと、市民の協力やボランティアが必要なことの仕分けを明確にして、市民参加の推進を図ることも、行政の役割として大変重要である。（男性 60歳代）

○アンケートはよくとられるが、それでどのように良くなったかがわからない。毎年毎回同じなのか。改善点を発表し、次年度にどれだけ改善されたか詳しく発表すればみんなの関心も高まるのでは？アンケートを取った時点で、終わりにならないように。（男性 70歳代）

○このアンケートは、本当に活用されるのですか？あまり住みよいまちとは思いません。（男性 60歳代）

○幸福感などのような内容を参考にして、福祉計画が策定できるのか疑問です。再考してください。計画には、財政を勘案してください。（男性 80歳代）

○当アンケートの調査費用は？クロス集計をして特異点を把握して、公表してください。単純集計では、意味がないです。費用に相応した効果を期待しています。（男性 80歳代）

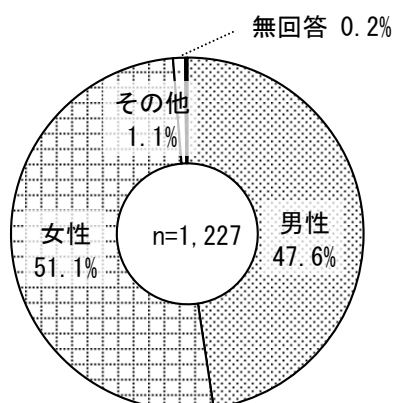
第2章 中学生調査

1 調査対象者の属性等

(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が「男性」より高くなっています。「その他」が1.1%（13人）あります。

図表2-1 性別

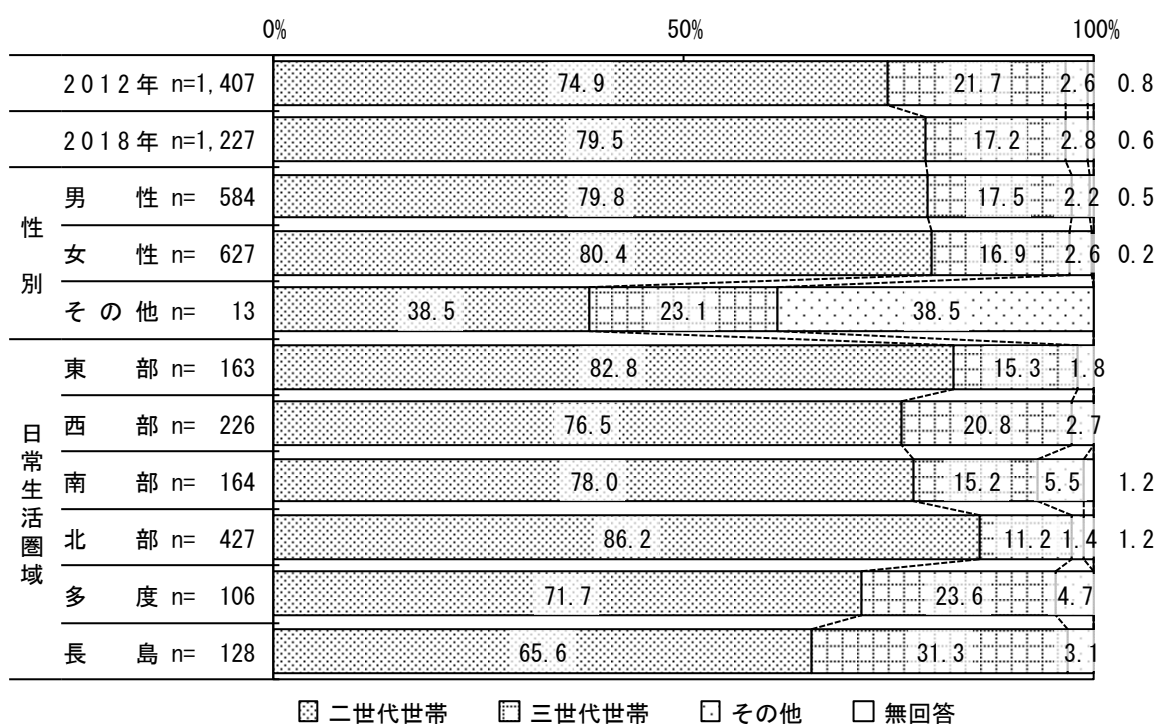


(2) 家族構成（世帯）

回答者の家族構成（世帯）は、親と子の「二世帯世帯」が79.5%と最も高く、次いで祖父母と親と子の「三世帯世帯」が17.2%の順となっています。2012年との比較では、「三世帯世帯」が4.5ポイント低くなっています。

日常生活圏域別にみると、北部は「二世帯世帯」が85%以上と、長島は「三世帯世帯」が30%以上と他の圏域に比べて高くなっています。

図表2-2 家族構成（世帯）



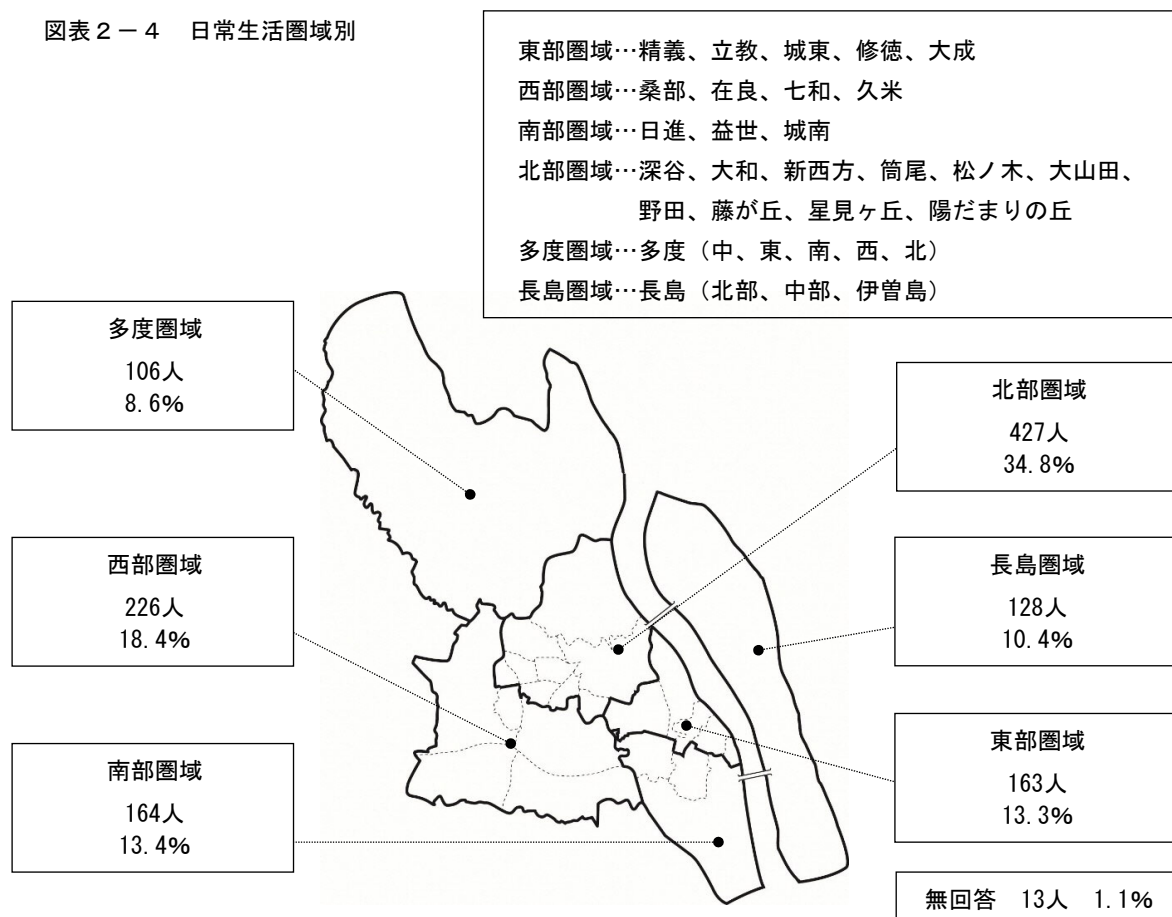
(3) 居住地域

回答者の居住する地域は、図表２－３のとおりです。また、これを桑名市地域包括ケア計画（第７期介護保険事業計画・第８期老人福祉計画）で設定した日常生活圏域別にみると図表２－４のとおりとなります。

図表２－３ 居住地域

地区	日進地区	精義地区	立教地区	城東地区	益世地区	修徳地区	大成地区	大和地区	桑部地区	在良地区	七和地区	深谷地区	久米地区	城南地区	筒尾地区	松ノ木地区
人	47	29	15	8	58	49	62	18	40	62	62	29	62	59	23	29
%	3.8	2.4	1.2	0.7	4.7	4.0	5.1	1.5	3.3	5.1	5.1	2.4	5.1	4.8	1.9	2.4
地区	大山田地区	野田地区	藤が丘地区	星見ヶ丘地区	新西方地区	陽だまりの丘地区	多度中地区	多度東地区	多度南地区	多度西地区	多度北地区	長島北部地区	長島中部地区	伊曾島地区	無回答	合計
人	32	15	28	80	31	142	74	10	7	3	12	31	72	25	13	1,227
%	2.6	1.2	2.3	6.5	2.5	11.6	6.0	0.8	0.6	0.2	1.0	2.5	5.9	2.0	1.1	100.0

図表２－４ 日常生活圏域別



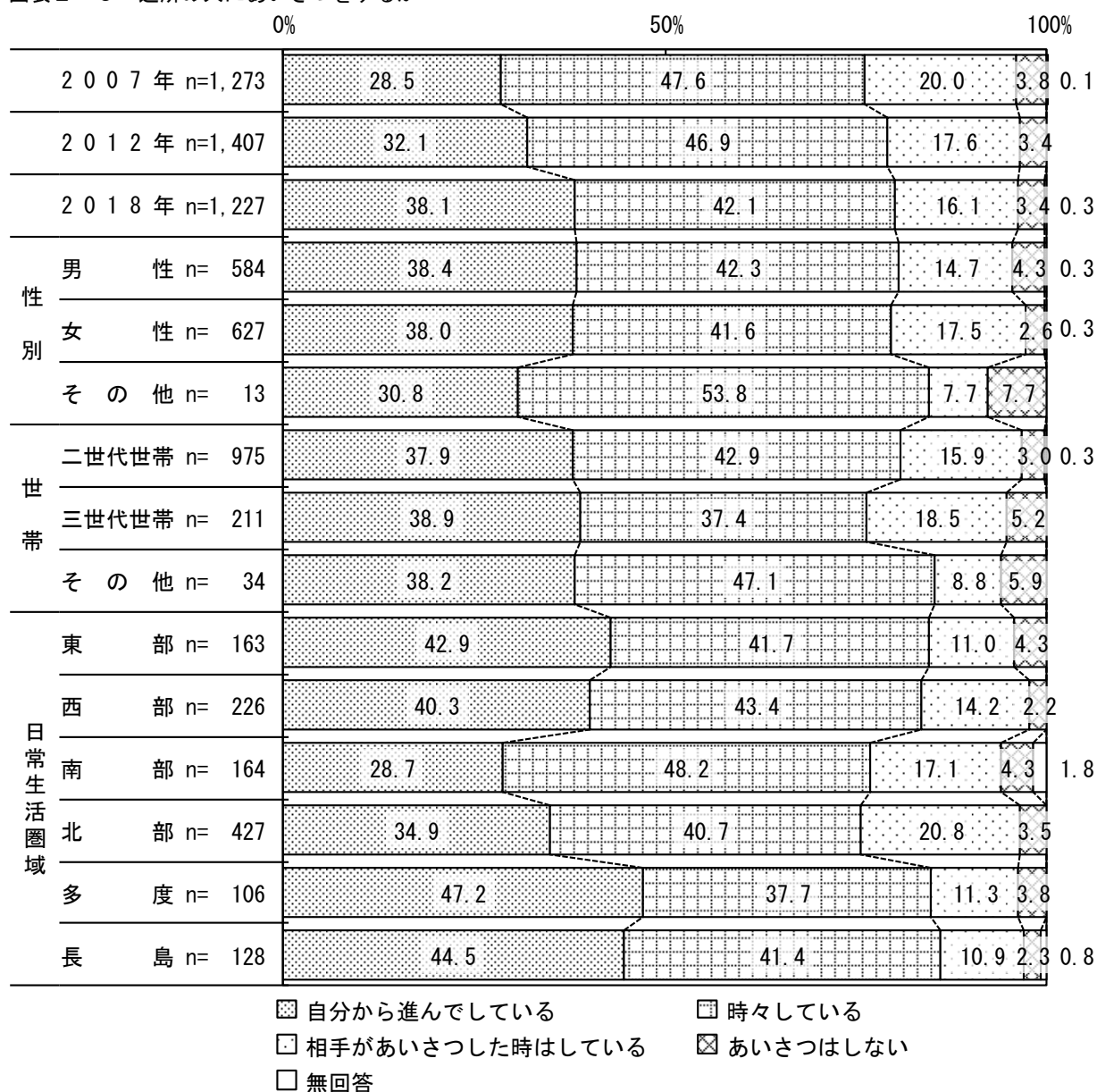
2 地域の人との関わりや地域の課題

(1) 近所の人にあいさつをするか

「近所の人にあいさつをしていますか」という設問では、「時々している」が42.1%と最も高く、次いで「自分から進んでしている」が38.1%となっており、この2項目で80%以上を占めています。過去の調査との比較では、回を追うごとに「自分から進んでしている」が高くなってきています。

日常生活圏域別にみると、南部と北部において「自分から進んでしている」が他の圏域より低くなっています。

図表2-5 近所の人にあいさつをするか

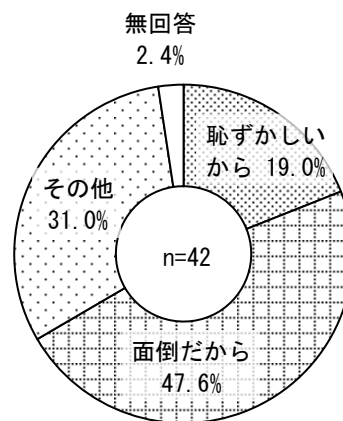


(2) あいさつしない理由

前項で「あいさつはしない」と答えた人に理由をたずねたところ、「面倒だから」が47.6%と最も高くなっています。

「その他」として、「近所がない」「人がいない（2件）」「人に会わない（2件）」「かわりがない」「返事が返ってこない」「顔を知らない」などが記入されていました。

図表2-6 あいさつしない理由

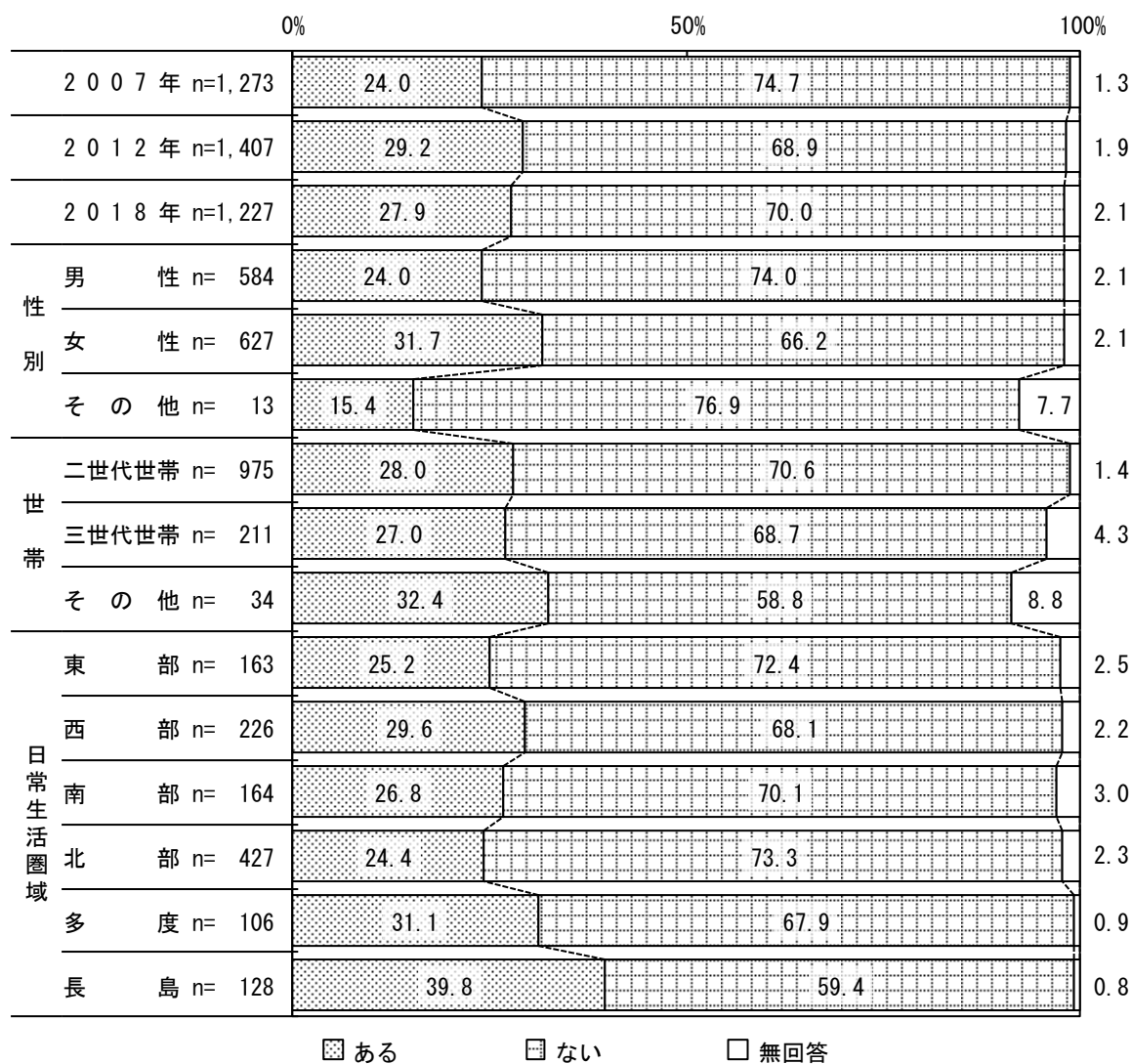


(3) 近所の人に助けられたこと

「これまでに近所の人に助けられたことや、近所の人のおかげだと思ったことはありますか」という設問では、「ある」が27.9%、「ない」が70.0%です。前回と比べて「ある」が1.3ポイント低くなっています。

「ある」は、性別では女性が、日常生活圏域では長島が高くなっています。

図表2-7 近所の人に助けられたこと



(4) 近所の人に助けられた事例

前項で、近所の人に助けられたことや、近所の人のおかげだと思ったことが「ある」と答えた人に、それはどんなことかたずねたところ、以下の記入がありました。

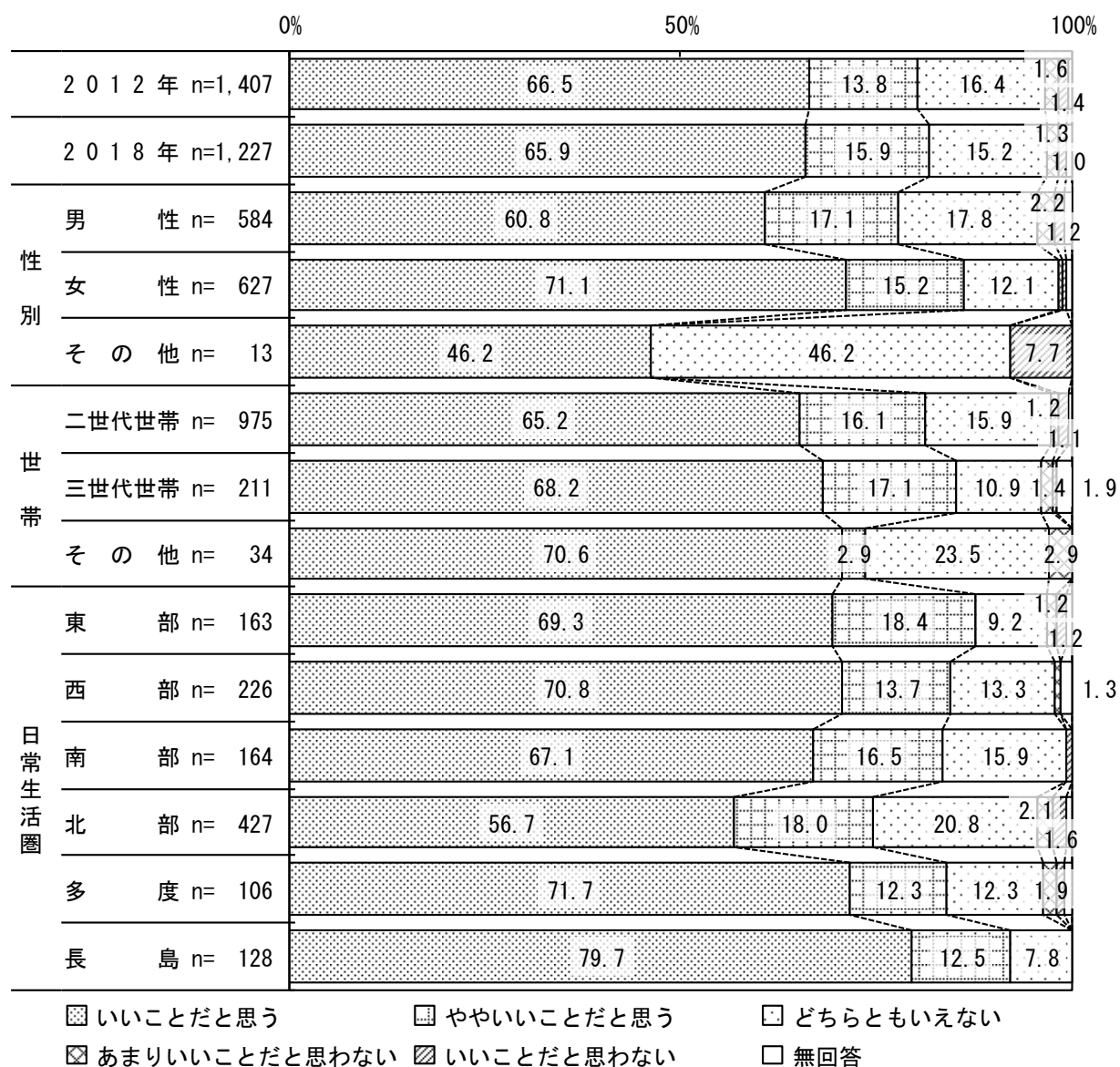
- 困っていたときに助けてくれた（15件）
- 声をかけて、話してくれる（7件）
- 遊んでいたときなど、危険だと思ったときには注意してくれた（4件）
- わからないことを教えてくれる（2件）
- 遊んでいるとき見守っていてくれた
- 家のカギを忘れたときやなかったときに、助けてもらった（43件）
- 家に親がいないときに助けてもらった（4件）
- 家出したとき、隣の家のお父さんに助けてもらった
- 旅行に行ったときに、家のことをしてもらった
- お祭や行事のとき（11件）
- 野菜や果物などをもらった（9件）
- おすそわけをしてもらった（6件）
- 電話・トイレなどを貸してもらった（8件）
- 雪かきを手伝ってもらった（7件）
- 家の中に入ってしまったボールなどを取ってもらった（5件）
- 車で送ってくれた（3件）
- 雨の日に洗たく物を入れてくれた（2件）
- 布団が干してあったとき、雨が降ってきたことを教えてくれた
- 脚立や自転車の空気入れなど、必要なものを借りた（2件）
- 中学校入学祝にカバンをもらった
- スポーツをやっているのを、応援してくれた（2件）
- スポーツを教えてくれた（2件）
- 近所の人に勉強を助けてもらった
- 災害のときに心配してくれた、助けてくれた（2件）
- 登下校の見守り・パトロールをしてくれた（14件）
- こわい人がいたとき、一緒にエレベーターに乗ってくれた
- 車の通行量が多いところや横断歩道などで、立って見守ってくれていた（11件）
- 道に迷ったときに助けてくれた（6件）
- 雷が鳴ったとき助けてもらった
- あいさつができる（8件）
- 地域の清掃活動や草むしりなどしてくれる（49件）
- ゴミ置き場がきれい、整備してくれた（8件）
- ゴミ拾いをしてくれている（5件）
- ゴミの分別を手伝ってもらった（5件）
- 廃品回収を手伝ってもらった

(5) 学校の行事に地域の人に参加することについて

「学校（小学校含む）の行事などに、地域の人たちが参加することについてどう思いますか」という設問では、「いいことだと思う」が65.9%を占め、「ややいいことだと思う」（15.9%）との合計〈いいことだと思う〉は80%を超えています。過去の調査との比較では、〈いいことだと思う〉が前回よりやや高くなっています。

〈いいことだと思う〉が低いのは、性別では男性、世帯別ではその他世帯、日常生活圏別では北部となっています。

図表2-8 学校の行事に地域の人に参加することについて



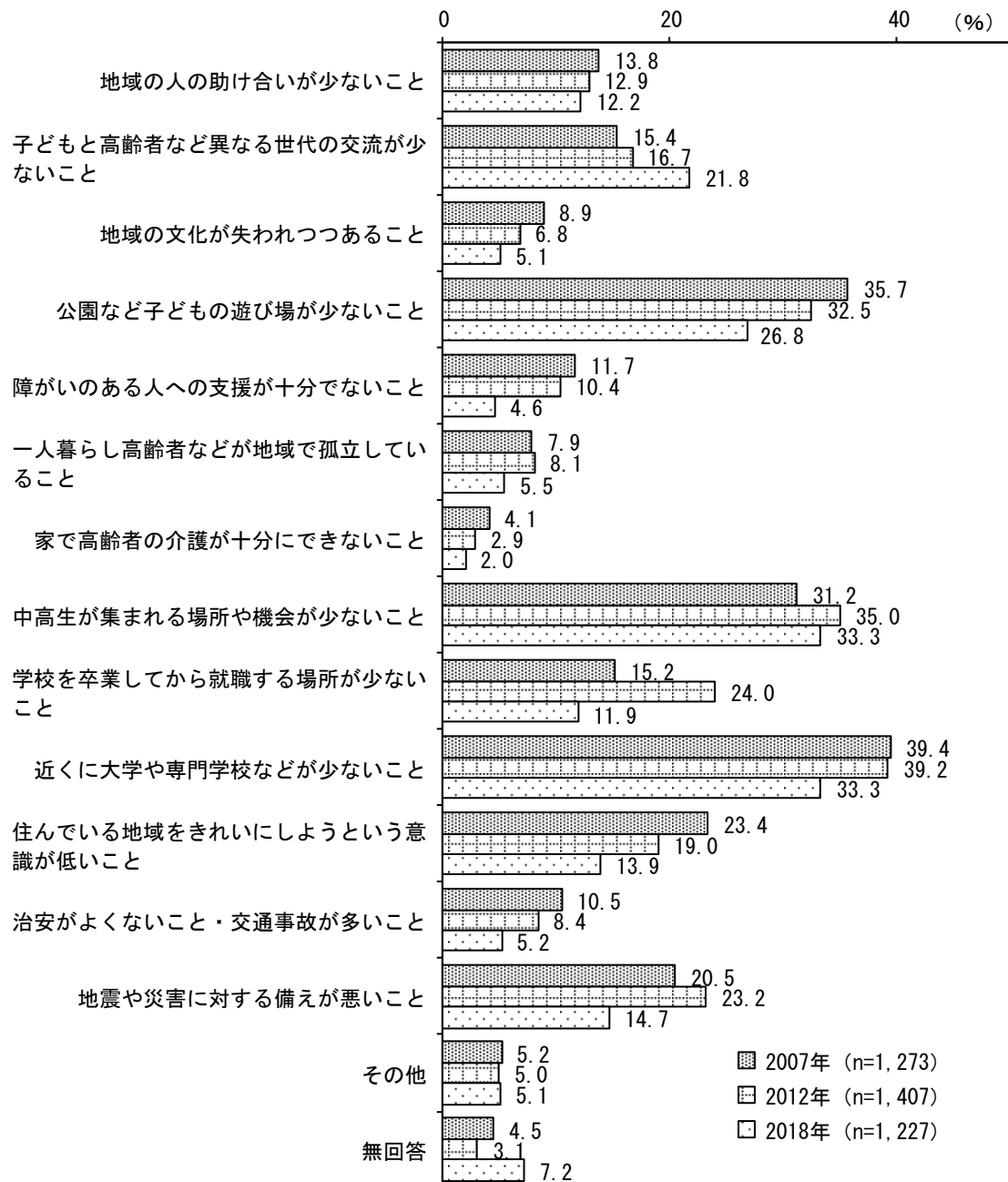
(注) 1%未満の数値はグラフ上の表記を省略してあります。

(6) 地域の課題

「あなたの住んでいる地域には、どのような課題や問題があると感じていますか」という設問では、「中高生が集まれる場所や機会が少ないこと」および「近くに大学や専門学校などが少ないこと」が33.3%と最も高く、次いで「公園など子どもの遊び場が少ないこと」が26.8%、「子どもと高齢者など異なる世代の交流が少ないこと」が21.8%、「地震や災害に対する備えが悪いこと」が14.7%などの順となっています。

過去の調査と比較すると、高くなったのは「子どもと高齢者など異なる世代の交流が少ないこと」のみで、その他の項目は低くなっています。特に、「学校を卒業してから就職する場所が少ないこと」が10ポイント以上低くなっています。

図表2-9 地域の課題（複数回答・3つまで／2007年及び2012年との比較）



第2章 中学生調査

日常生活圏域別にみると、東部と西部では「近くに大学や専門学校などが少ないこと」が、南部と長島では「公園など子どもの遊び場が少ないこと」が、北部と多度では「中高生が集まれる場所や機会が少ないこと」が最も高くなっています。北部をのぞく圏域では上の3項目が上位3位を占めていますが、北部では「子どもと高齢者など異なる世代の交流が少ないこと」が3位となっています。

無回答以外の項目の合計は、長島が最も高くなっています。

図表2-10 地域の課題（複数回答・3つまで／日常生活圏域別）

単位：％（nは人）

区 分	東 部	西 部	南 部	北 部	多 度	長 島
n	163	226	164	427	106	128
地域の人の助け合いが少ないこと	14.1	13.3	11.0	14.5	3.8	8.6
子どもと高齢者など異なる世代の交流が少ないこと	20.2	21.2	23.2	③22.5	21.7	21.1
地域の文化が失われつつあること	3.1	4.0	3.0	6.6	7.5	6.3
公園など子どもの遊び場が少ないこと	③26.4	③21.7	①34.8	18.3	③33.0	①50.8
障がいのある人への支援が十分でないこと	5.5	4.0	6.1	4.7	3.8	3.1
一人暮らし高齢者などが地域で孤立していること	5.5	8.0	6.1	3.7	5.7	7.0
家で高齢者の介護が十分にできないこと	3.1	2.7	1.8	0.9	3.8	1.6
中高生が集まれる場所や機会が少ないこと	②31.9	②31.0	②29.3	①34.7	①39.6	②36.7
学校を卒業してから就職する場所が少ないこと	8.6	11.1	9.8	13.6	8.5	18.0
近くに大学や専門学校などが少ないこと	①33.7	①35.0	②29.3	②34.4	②34.0	③32.8
住んでいる地域をきれいにしようという意識が低いこと	12.9	15.5	13.4	12.6	10.4	20.3
治安がよくないこと・交通事故が多いこと	7.4	6.6	4.3	4.9	5.7	2.3
地震や災害に対する備えが悪いこと	13.5	11.5	17.7	15.5	8.5	19.5
その他	4.9	4.4	4.3	6.1	4.7	4.7
無回答	6.1	6.6	6.7	9.4	4.7	3.1
無回答以外の合計	190.8	190.0	194.1	193.0	190.7	232.8

※ は上位3位

「その他」の地域の課題や問題として、以下の記入がありました。

- 他の地域の人がある機会がない
- 20年ごとに高齢化が進みそう
- 子どもが少ない
- 友だちが住んでいない
- 子ども会などに参加する人が減った
- コンビニなどの店が少ない（4件）
- 娯楽施設やカフェがない
- 公園で遊ばず、道路で遊んでいる（2件）
- 公園などで、ボールで遊べない（2件）
- バスケットゴールがない
- 北部だけ町民運動会がない
- 北部小の鼓笛隊の発表の場がない
- 街灯が少ない（3件）
- 夜になると、暗くなる場所がある（2件）
- 交通が危ない（2件）
- 道路がガタガタになっている
- 広報の無線をなおしてほしい
- 公民館の設備が悪い
- ガードレールの修理が遅い
- 学校の設備が悪い
- 高校が少ない（2件）
- 高校の学力レベルが偏りすぎている
- うつになる教師が多い（2件）
- 日本語が通じない
- 外国人が夜うるさいので、ちゃんとしてほしい
- ゴミが多い
- 石取祭の前後は、治安がいつもより悪くなる
- 祭のマナーが悪い、ポイ捨てなど
- 子どもの前でタバコを吸う人が多い
- 電車の音がうるさいから、地下鉄にしてほしい
- バイクの音がうるさい
- 不審者が多い（2件）
- 防空ごうが少ない
- 高台をつくろうとしているが、全然つくられない
- 森や山などの自然をこわして、家を建てようとする
- 犬や猫のフン（2件）
- 野良猫にえさを与えるので、猫がうろうろしている
- 電車の本数が少ない（2件）
- 電車賃が高い（2件）
- お金がない（2件）

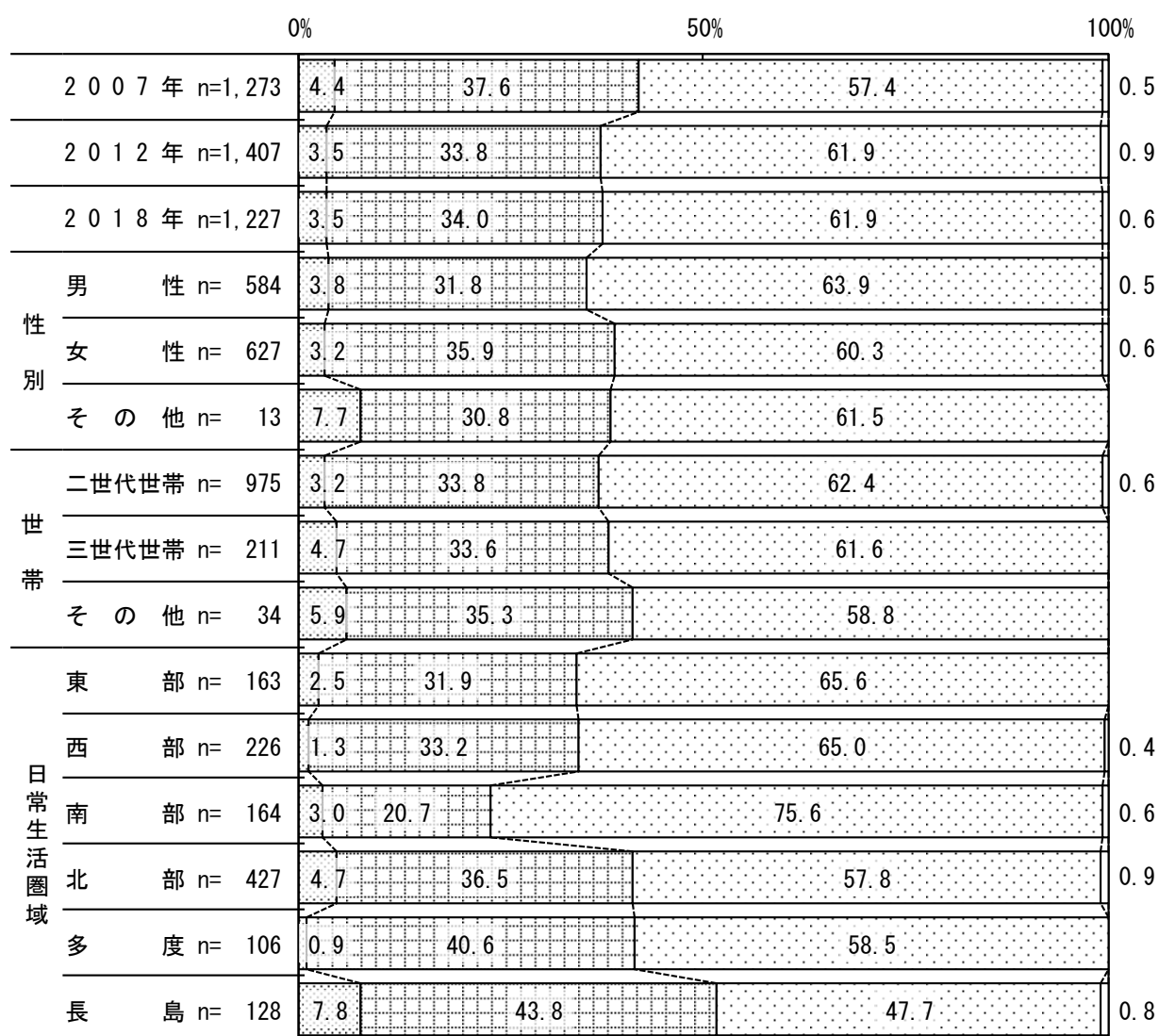
3 ボランティア活動

(1) ボランティア活動への参加

「自分の意志でボランティア活動に参加したことがありますか」という設問では、「参加したことがない」が61.9%を占めています。「現在、参加している」は3.5%、「以前に参加したことがある」は34.0%となっており、これらを合計した〈参加〉は37.5%です。過去の調査との比較では、前回とほとんど同じ割合となっています。

「現在、参加している」を属性別にみると、性別ではその他が、世帯別ではその他世帯が、日常生活圏域別では長島が高くなっています。

図表2-11 ボランティア活動への参加



☒ 現在参加している
 ☒ 以前に参加したことがある
 ☒ 参加したことがない
 ☐ 無回答

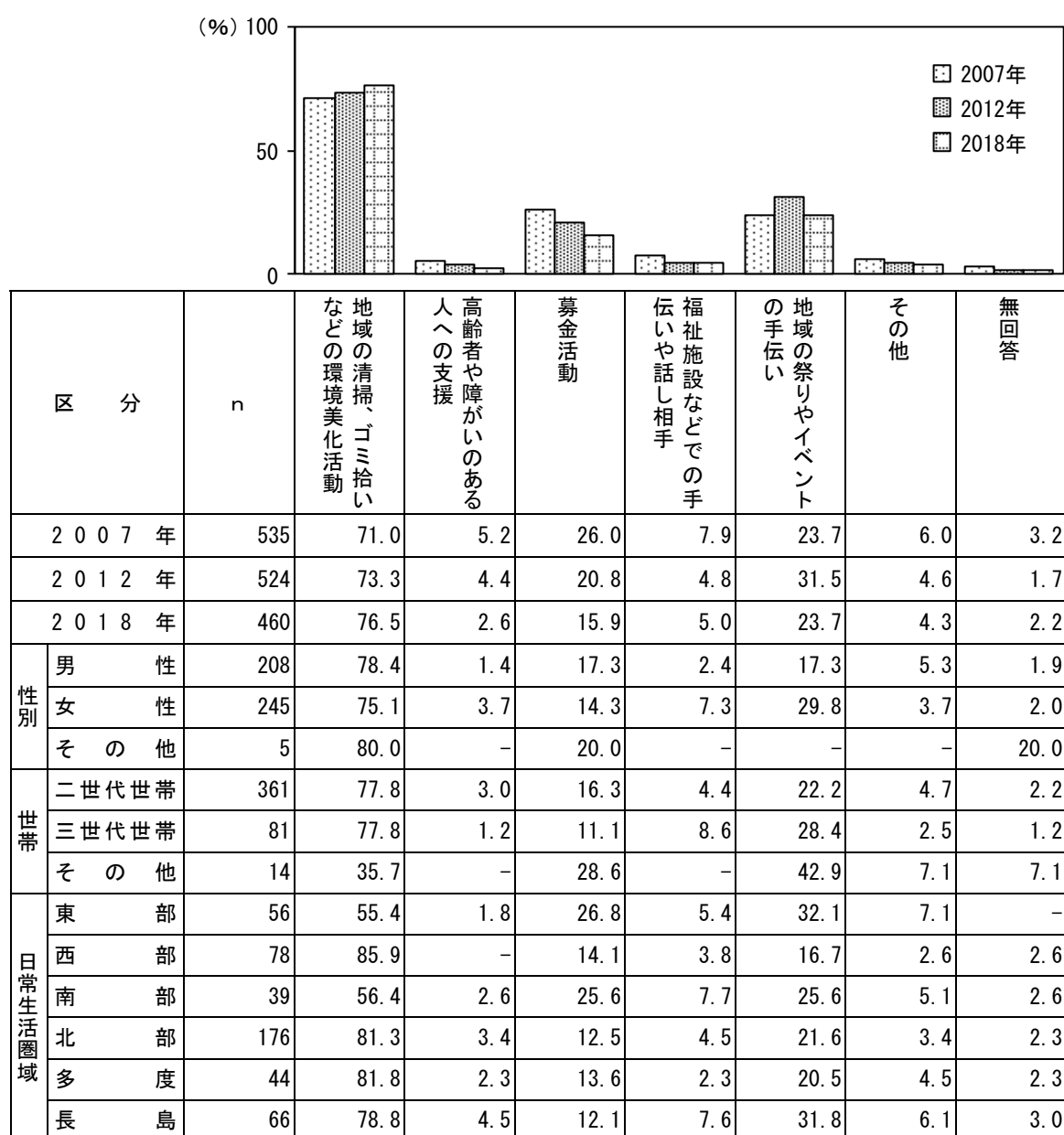
(2) 活動内容

(1)で「現在、参加している」または「以前に参加したことがある」と回答した人の具体的な活動としては、「地域の清掃、ゴミ拾いなどの環境美化活動」が76.5%と圧倒的に高く、次いで「地域の祭りやイベントの手伝い」が23.7%、「募金活動」が15.9%などとなっています。過去の調査との比較では、回を追うごとに「地域の清掃、ゴミ拾いなどの環境美化活動」は高くなっていますが、そのほかの項目は低下傾向にあります。

日常生活圏域別にみると、「地域の清掃、ゴミ拾いなどの環境美化活動」は、東部と南部が50%台とほかの圏域より20ポイント以上低く、「募金活動」は、東部と南部がほかの圏域より10ポイント以上高くなっています。

図表 2-12 活動内容（複数回答）

単位：％（nは人）



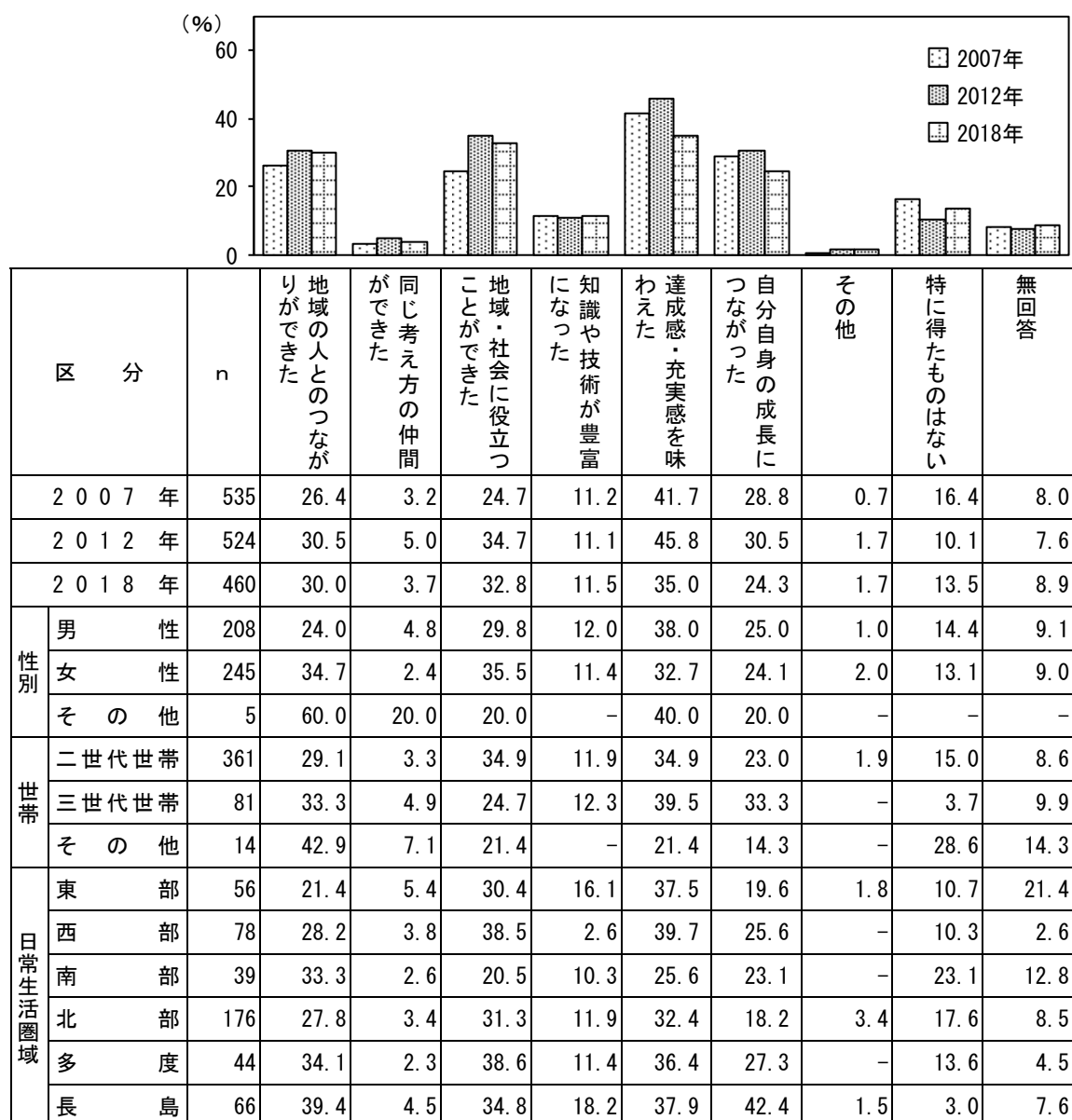
(3) ボランティア活動を通じて得たこと

(1)で「現在、参加している」または「以前に参加したことがある」と回答した人に活動を通じて得たことをたずねたところ、「達成感・充実感を味わえた」が35.0%と最も高く、次いで「地域・社会に役立つことができた」が32.8%、「地域の人とのつながりができた」が30.0%などとなっています。過去の調査との比較では、前回より「知識や技術が豊富になった」と「特に得たものはない」が高くなり、そのほかの項目は低くなっています。

日常生活圏域別にみると、長島の「自分自身の成長につながった」がほかの圏域より15ポイント以上高く、南部の「地域・社会に役立つことができた」と西部の「知識や技術が豊富になった」がほかの圏域より7ポイント以上低くなっています。

図表2-13 ボランティア活動を通じて得たこと（複数回答）

単位：％（nは人）

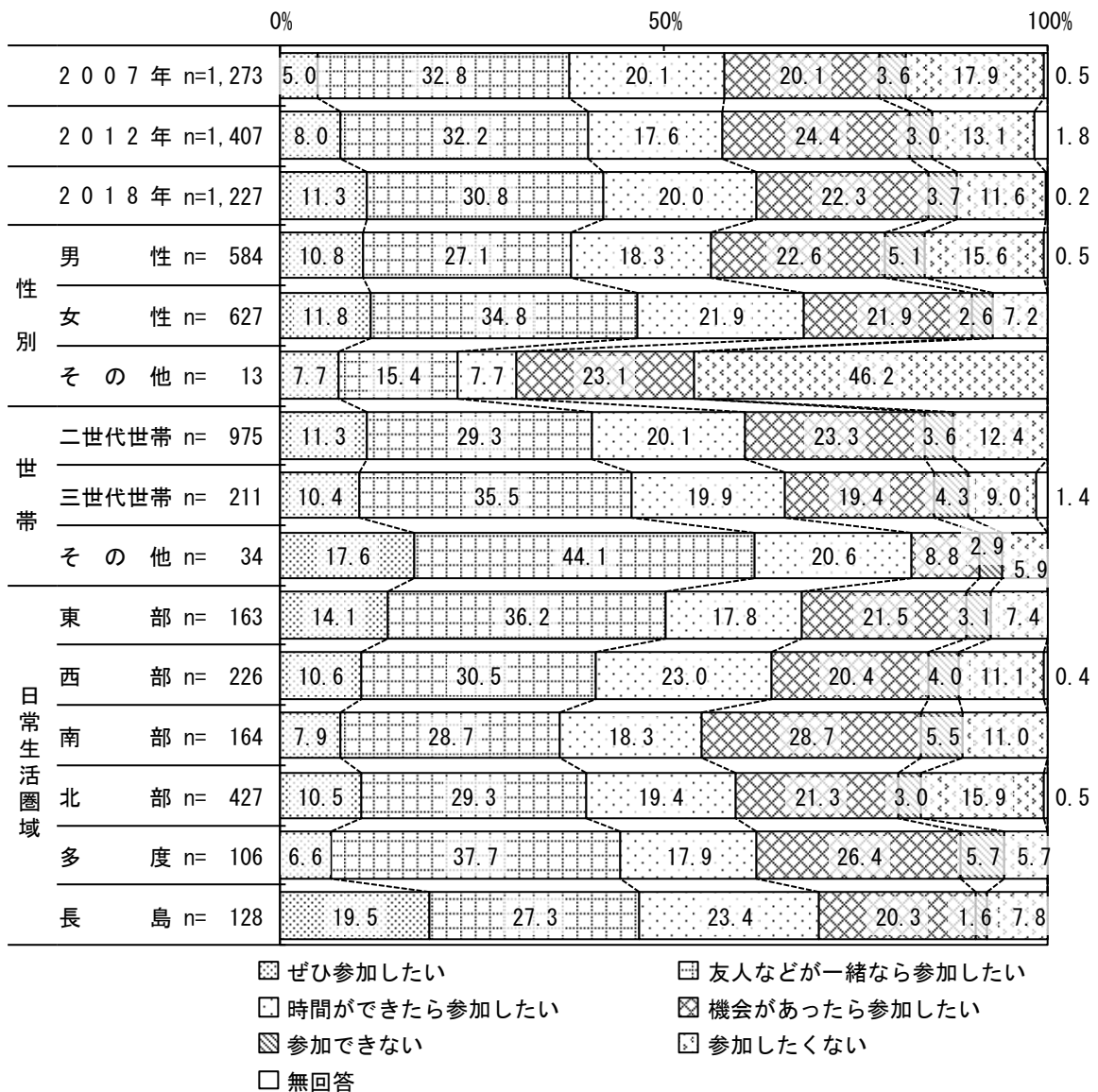


(4) ボランティア活動への参加意向

「今後ボランティア活動に参加したいと思いますか」という設問では、「友人などが一緒なら参加したい」が30.8%と最も高くなっており、次いで「機会があったら参加したい」が22.3%、「時間ができたら参加したい」が20.0%、「参加したくない」が11.6%の順となっています。過去の調査と比べて、最も積極的な参加意向である「ぜひ参加したい」は回を追うごとに高くなっていきます。

また、「友人などが一緒なら～」「時間ができたら～」「機会があったら～」といった条件付きの参加意向を合計すると73.1%となります。潜在的な参加意向を顕在化し、子どもたちが楽しみながらボランティア活動ができるような機会の創出が求められています。

図表 2-14 ボランティア活動への参加意向



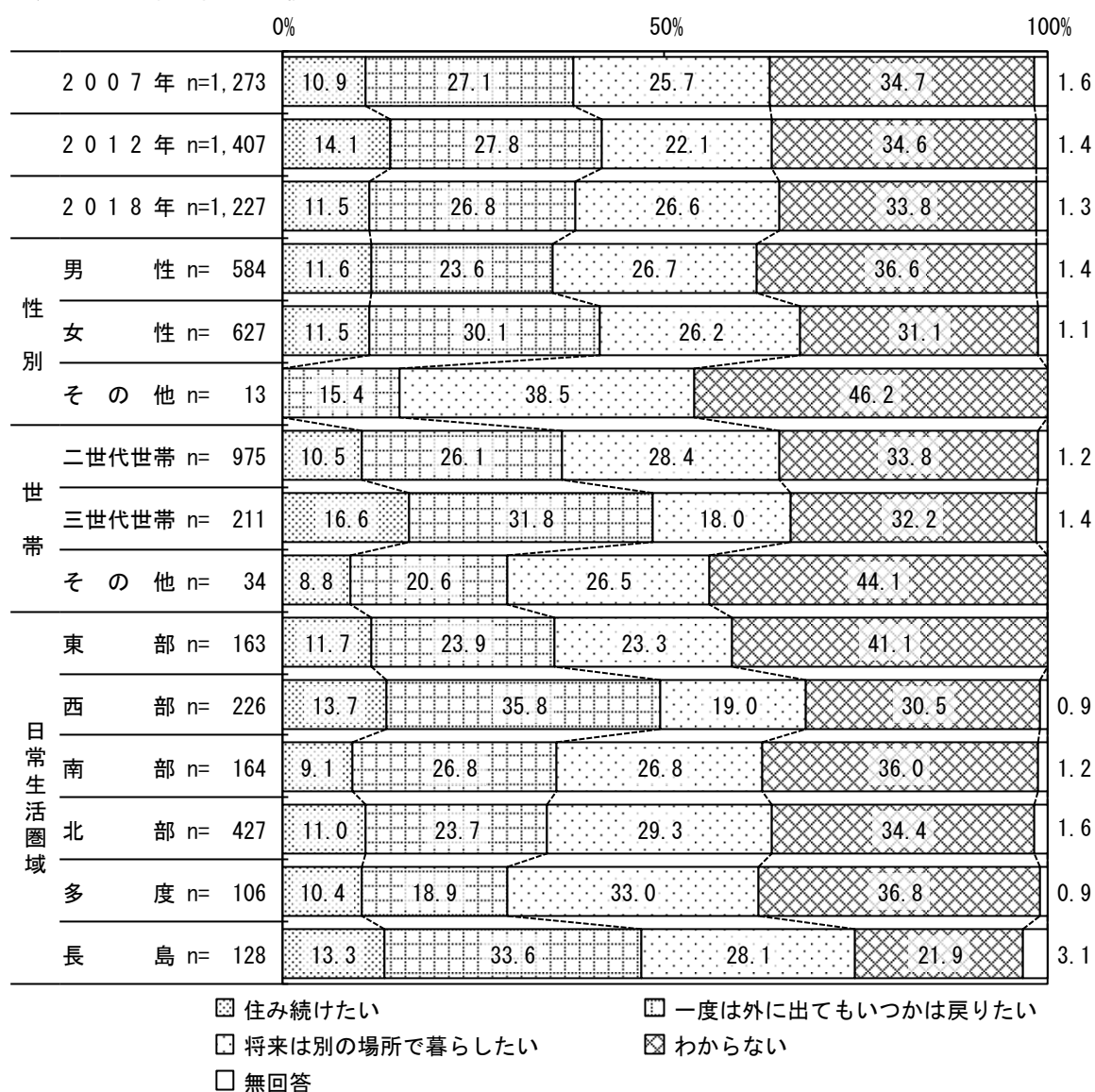
4 桑名市について

(1) 桑名市に住みたいか

「大人になっても桑名市に住みたいと思いますか」という設問では、「わからない」が33.8%と最も高くなっています。「住みたい」は11.5%で、これに「一度は外に出てもいつかは戻りたい」(26.8%)を合計した〈住みたい〉は38.3%となります。「将来は別の場所で暮らしたい」は26.6%となっています。

〈住みたい〉は、世帯別では三世帯世帯が、日常生活圏域別では西部と長島が45%を超えています。多度は29.3%と低く、最も高い西部と20ポイント以上の差があります。

図表2-15 桑名市に住みたいか



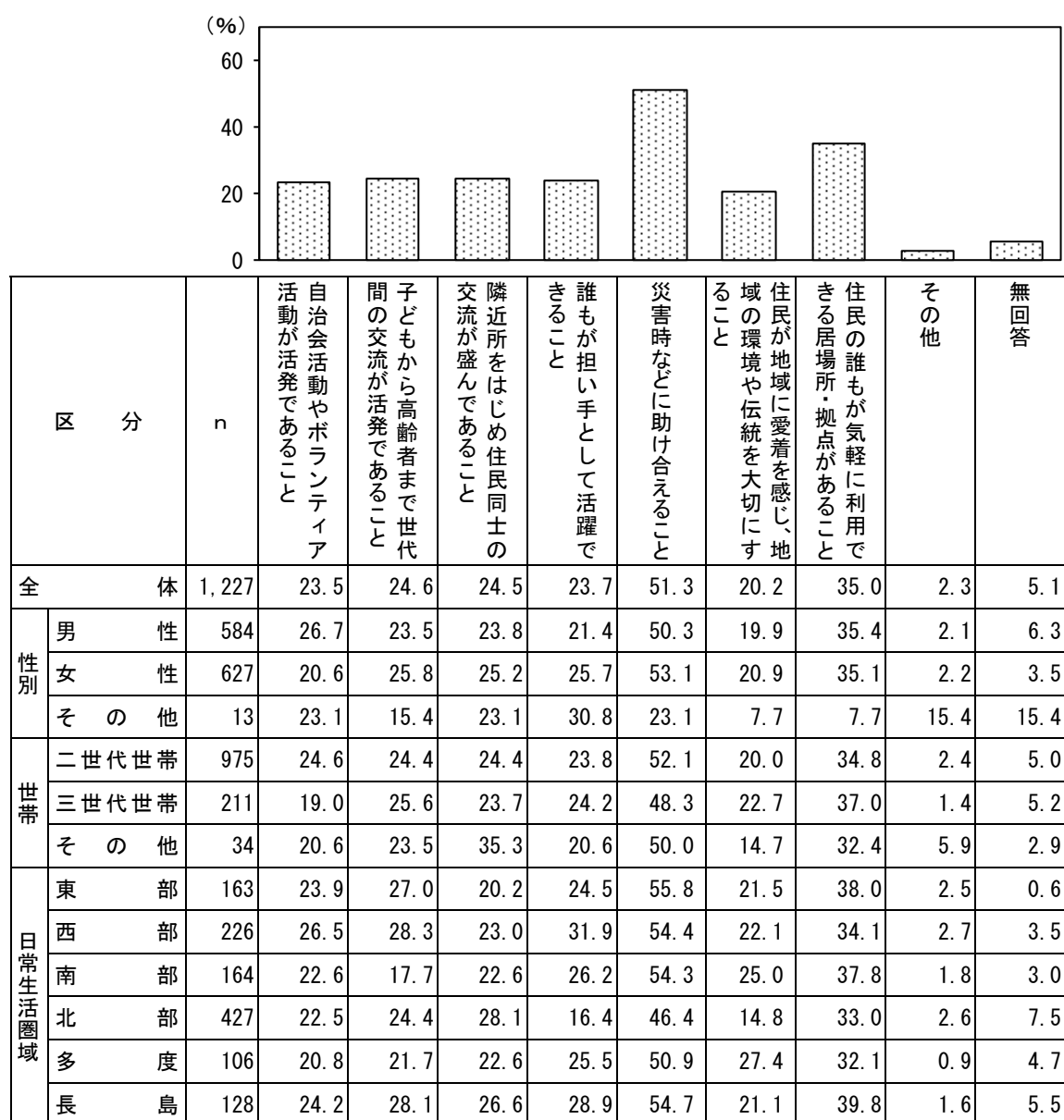
(2) 地域のあり方

「これからも安心して地域で住み続けるためには、どのような地域のあり方が大切だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください」という設問では、「災害時などに助け合えること」が51.3%と半数を超え、次いで「住民の誰もが気軽に利用できる居場所・拠点があること」が35.0%となっており、その他の項目は20～25%とほぼ横並びとなっています。

「その他」として「マナーを守る」「犯罪・事故がなくなる」「避難場所がある」「どこでも明るくなるようにする」「犬のフンが落ちていない」「若者・子どもが遊べる場所を増やす」「コンビニなどを増やす」「自然を残す」などの記入がありました。

図表 2-16 地域のあり方（複数回答・3つまで）

単位：％（nは人）

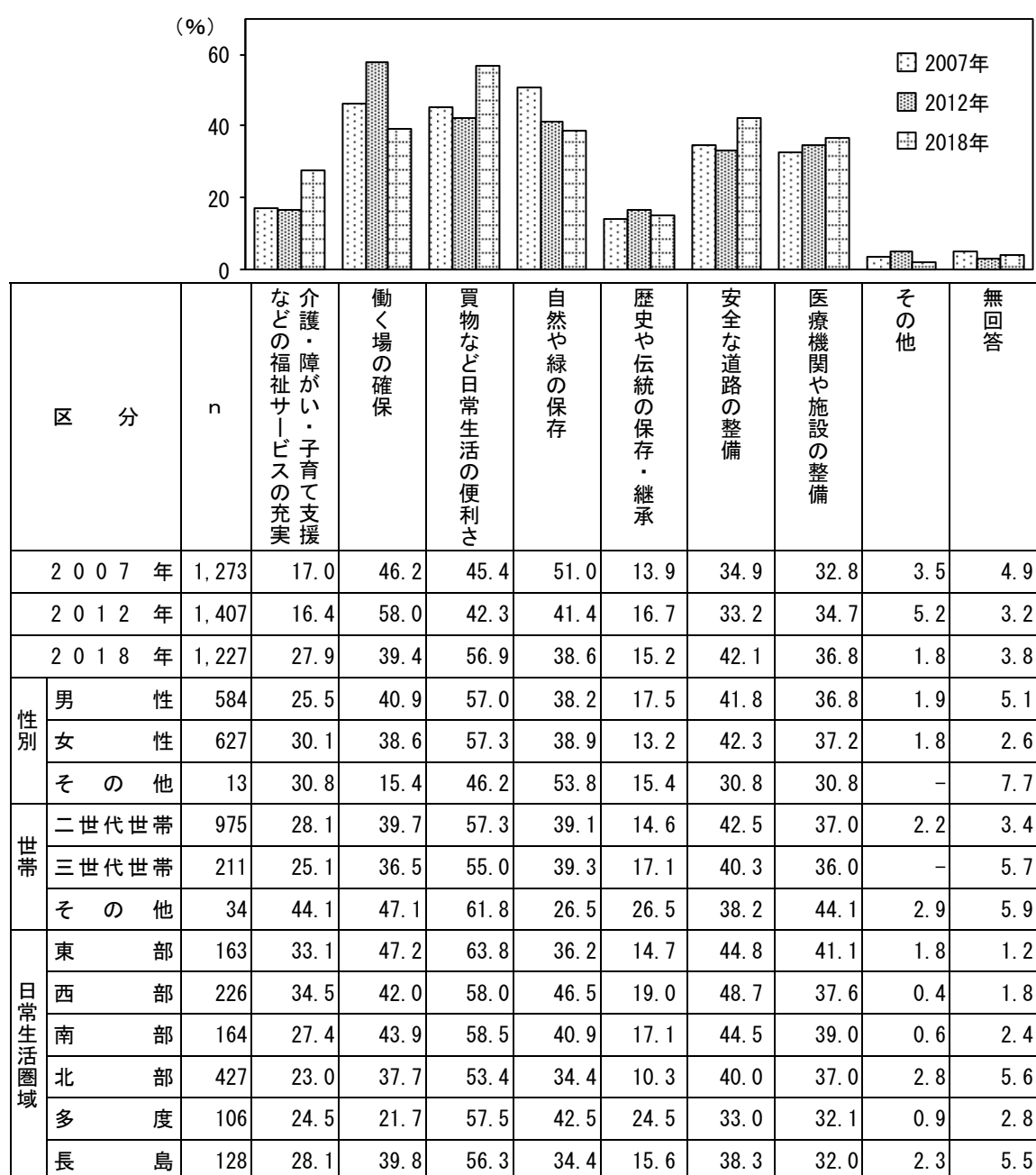


(3) 地域に住み続けるために重要なこと

「あなたの地域で住み続けるためには、次のうち何が重要と思いますか」という設問では、「買物など日常生活の便利さ」が56.9%と最も高く、次いで「安全な道路の整備」が42.1%、「働く場の確保」が39.4%、「自然や緑の保存」が38.6%、「医療機関や施設の整備」が36.8%の順となっています。過去の調査との比較では、前回より「働く場の確保」が18.6ポイント低くなっている一方、「買物など日常生活の便利さ」や「介護・障がい・子育て支援などの福祉サービスの充実」は11ポイント以上高くなっています。

図表2-17 地域に住み続けるために重要なこと（複数回答）

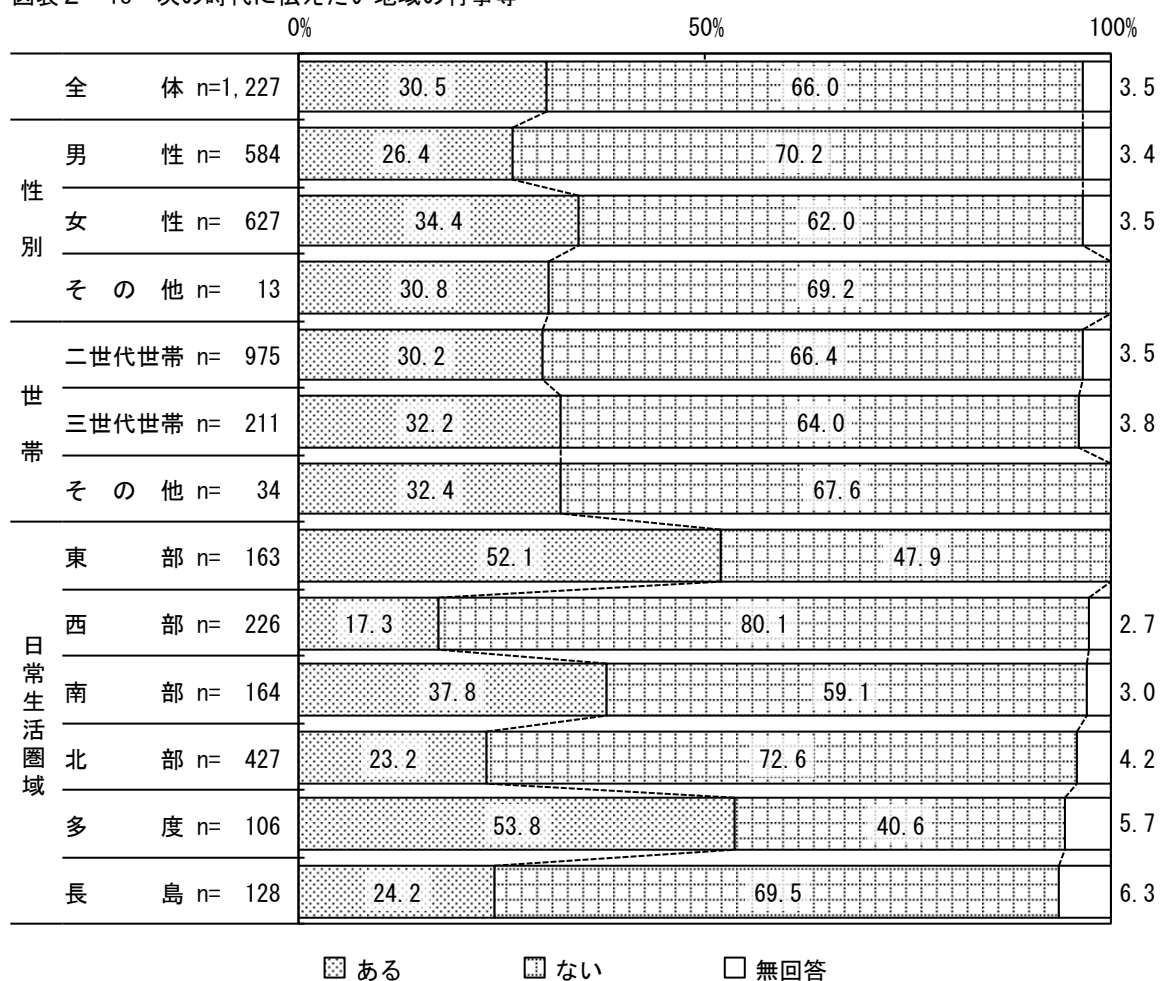
単位：％（nは人）



(4) 次の時代に伝えたい地域の行事等

「あなたの地域のイベント・行事、風習などで、自慢できるもの、次の時代に伝えたいと思うものはありますか」という設問では、「ある」が30.5%です。「ある」を属性別にみると、性別では女性が高く、日常生活圏域別では東部と多度が半数を超えています。

図表2-18 次の時代に伝えたい地域の行事等



次の時代に伝えたい地域の行事等について、記述式で回答していただきました。

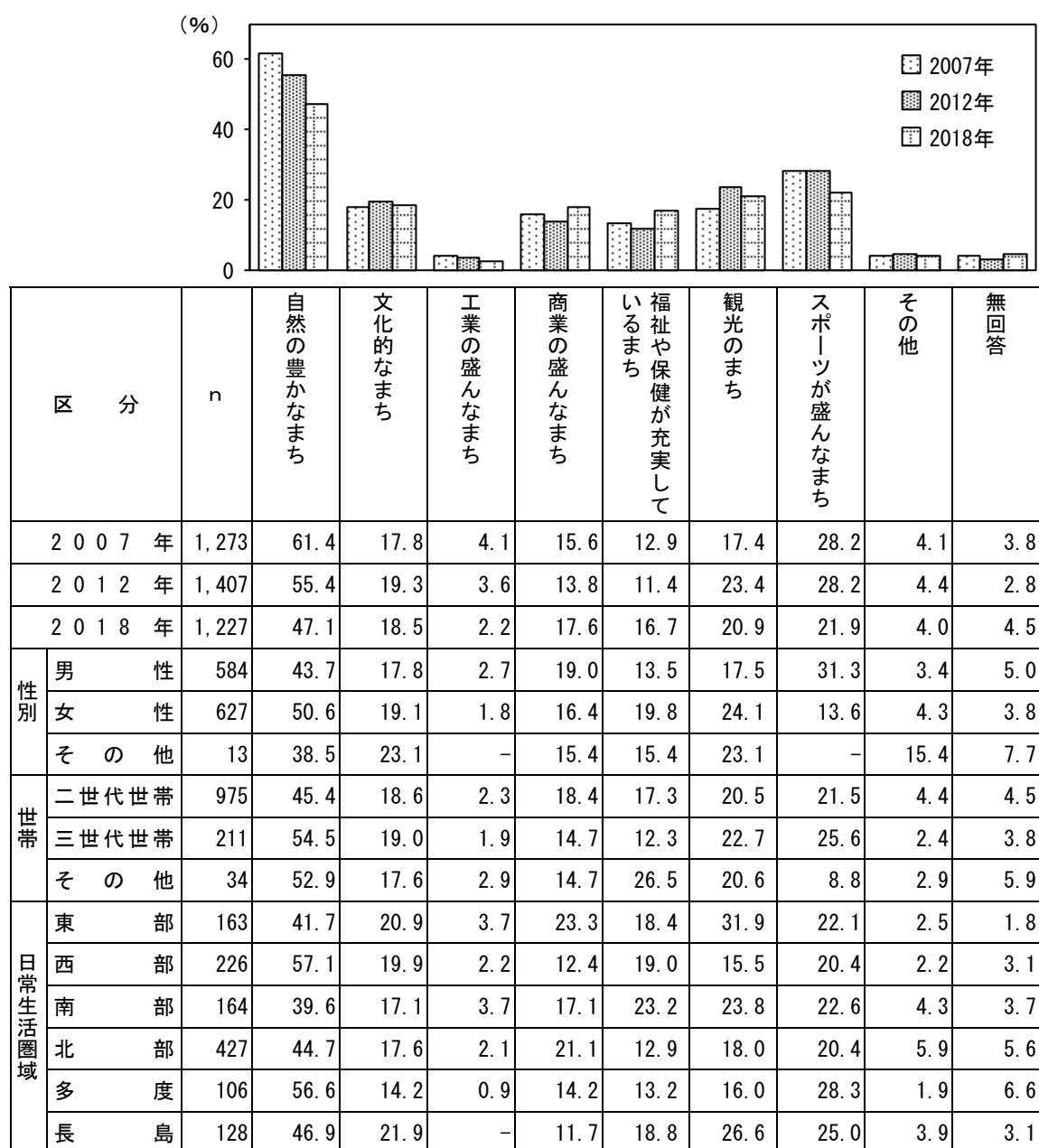
○石取祭（202件）	○陽だまりぽかぽか夏祭り
○多度祭（37件）	○くわのみ祭
○花火大会（27件）	○光風祭
○地域の祭り（13件）	○城南フェア
○グリーンフェスタ（10件）	○輪中音楽会
○地域清掃活動・ごみ拾い（10件）	○くわハロ（ハロウィンパーティー）
○上げ馬（9件）	○お寺の行事
○ふじっこまつり（7件）	○除夜の鐘
○ちょうちん祭（6件）	○ゆめはま音頭
○お月見どろぼう（6件）	○豆まき
○金魚祭（6件）	○桑名の芸妓さん
○子ども会（6件）	○久米っ子フェスタ
○地藏盆（5件）	○子ども食堂
○やぶさめ（4件）	○寿の行事
○長島スパーランド（4件）	○地域・近所での花見
○神社のお祭り（3件）	○バス旅行
○地区運動会（3件）	○あいさつ
○盆踊り（3件）	○水の神様がまつられているので、桑名地区周辺では火事が発生していない
○長島北部小学校の鼓笛隊（3件）	○大きな体育館、ぽかぽか
○夏休みのラジオ体操（2件）	○陽だまりはきれいだから残してほしい
○もちつき大会（2件）	○リゾートがある
○城（2件）	○ジャズドリーム長島
○桜まつり（2件）	○三岐鉄道
○千羽鶴（2件）	○生き物を大切にする
○なばなの里のイルミネーション（2件）	

(5) 桑名市をどのようなまちにしたいか

「桑名市をどのようなまちにしたいと思いますか」という設問では、「自然の豊かなまち」が47.1%と最も高く、次いで「スポーツが盛んなまち」が21.9%、「観光のまち」が20.9%、「文化的なまち」が18.5%、「商業の盛んなまち」が17.6%の順となっています。過去の調査との比較では、回を追うごとに「自然の豊かなまち」と「スポーツが盛んなまち」が低くなっている一方、「福祉や保健が充実しているまち」は前回より5ポイント以上高くなっています。

図表2-19 桑名市をどのようなまちにしたいか（複数回答・2つまで）

単位：％（nは人）



(6) 桑名市の好きなところと変えた方がいいところ

桑名市の好きなところと変えた方がいいところについて、記述式で回答していただきました。

① 桑名市の好きなところ

◆交流・助け合い

- 近所の人たちの交流がある（7件）
- 地域のかかわりが深い（3件）
- 中心地では、人の交流が盛ん
- 家がかたまってあるから、いろいろな人と遊んだりして交流できる
- 小中学校がたくさんあって、交流し合える
- 地域の人たちの仲がよく、気軽に話せる（15件）
- 地域の中で知らない人同士でも助け合いができている（9件）
- 学校の行事にも地域の人たちが参加してくれる
- 家族が近くにいます
- 自分の家がある
- ボランティアをしてくれる人がいる

◆あいさつ・人

- あいさつを気軽にたくさんしている（17件）
- 地域の人が優しい（54件）
- 高齢者が優しい（3件）
- 東京や名古屋と違って、住民が少し昭和な感じが残っている
- いろんな人がいる
- にぎやか（4件）
- 友だちがすぐにできる（2件）
- 笑顔で接してくれて、雰囲気がいい（10件）
- 子どもやお年寄りも含めて、みんな元気がいい（9件）
- 地域の人がおもしろい（6件）
- おじさんたちが好き（2件）
- しっかりとしている
- 高齢者が多い

◆祭りや行事・伝統的文化

- 行事・祭り・イベントがたくさんある（46件）
- 石取祭など、祭や伝統行事が受け継がれている（16件）
- 石取祭がある（14件）
- 花火大会がある（6件）
- 多度祭がある（4件）
- 伝統文化を大切にして残している（7件）
- 歴史的文化が多い（3件）
- ふじっこまつり
- 三八市（朝市）に人がいっぱい集まる
- よさこいチームがあり、市内のイベントに参加できる
- 刀の展示会がある

◆防犯・防災

- 平和・安全（42件）
- 事故や事件が少ない（11件）
- 安心して暮らせる（6件）
- 大きな災害が少ない（2件）
- いつも声をかけてくれるから、不審者に会ったことがない
- あまり変な人がいない
- 住んでいる場所は、津波や液状化の心配はない

◆交通

- 名古屋に近く、行きやすい（26件）
- 交通の便がいい（10件）
- 駅が大きい（2件）
- 信号が少ない

◆学校

- 学校が近い（3件）
- 中学校に冷暖房設備が整っている
- 学校の校庭が広い
- 学校が楽しい
- 小学校の運動場で、放課後遊べる

◆施設・遊び場・名物

- 長島スパーランドがある（18件）
- なばなの里がある
- 出かける・遊べる場所や施設が多くある（19件）
- 公園が多い（7件）
- 運動できる場所が多い（2件）
- 小学生の子や中学生が交流できるところが近くにある
- 病院などが近くにある
- 大きな図書館がある
- ポケモンGOのポケストップが多い
- ゆめはまちゃんかわいい（3件）
- 名物やおいしい食べ物がたくさんある（11件）
- ハマグリがおいしい（11件）
- ながもちがおいしい
- 多度豆

◆買い物・店舗

- 近くにいろいろとそろっていて、買い物など日常生活が便利（19件）
- スーパーやコンビニが近くにある（18件）
- 大きなショッピングセンターがある（16件）
- 買い物できる店が多い（13件）
- コンビニが多い（2件）
- 本屋がある

◆スポーツ

- サッカーが強い
- 三重県の中では剣道が強い

◆環境

- 田舎でも都会でもなく、程よい環境（26件）
- 適度な田舎（4件）
- ちょっと都会（3件）
- 活気がそこそこある
- 人がそんなに多くない（4件）
- 人が多い（3件）
- 田んぼが多い（3件）
- 自然と人工物のバランスがとれている（4件）
- 高いビルをあまり建ててない
- 広い（2件）
- 自然が豊か（117件）
- 自然が豊かすぎず、少しある（5件）
- 景色がきれい（4件）
- 毎年雪が降る
- 空気がきれい（15件）
- 夜星が見える
- 川がきれい（4件）
- 水がおいしい
- 魚がとれる
- きれい（4件）
- ゴミ拾いがある（2件）
- たくさんの動物が住んでいる（2件）
- 温泉が流れている

◆住みやすさ

- 住みやすい、暮らしやすい（39件）
- 静かで落ち着ける（29件）
- 居心地がいい、雰囲気がいい（7件）
- 気楽にいられる（4件）
- 住んでいて楽しい（2件）
- 自由に暮らせる
- 夜が早い

◆桑名市全体

- 観光地が多い（4件）
- 観光客が多い
- 外国とも交流が多い
- 桑名城や六華苑などの歴史的景観がある（2件）
- 古くからある建物などはあまり壊さず、新しいものも造っていく
- 桑名市全体が好き（7件）
- いっぱいある（3件）
- 特にない（93件）
- 市長（2件）

② 桑名市の変えた方がいいところ

◆交流・付き合い

- 地域の人たちとの交流がない（17件）
- 異なる世代の交流がない（3件）
- まち全体でもっと仲良くした方がいい（2件）
- どの世代でも気軽に行けて交流できる場所をつくる（4件）
- 小学生のときは地域の人との交流があったが、中学生になってからは減ったから交流を増やしたい
- 障がいがある人とのかかわり方
- 障がい者などの福祉サービスを、充実させた方がいい
- いじめをなくした方がいい（2件）
- 近所でけんかなどが起きるときがあるから、不満がある人たちに対して、アンケートを取ったらいい
- 地域の人にあいさつをした方がいい（6件）
- 地域での助け合い（2件）
- いい人と悪い人の態度の差が大きい

◆祭りや行事・伝統的文化

- もっと地域の行事を増やす（5件）
- 市民でも石取祭をよく知らない人がいるので、もっとみんなに知ってもらいたい
- 伝統的なものを残した方がいい
- もっと大きい祭をつくってほしい
- 祭や行事の参加が少しずつ減っている
- 多度大運動会を復活させてほしい
- 輪中音楽会など、なくしてはいけない行事をなくしている
- スポーツをさかんに行ってほしい（2件）
- テスト期間中に花火大会をする（2件）
- 桑名市内の行事をもっとつくった方がいい

◆道路・まちの整備

- 安全な道路に整備する（25件）
- 大山田地区の道路を整備してほしい
- 住宅地を開発するとき、周りの住民の生活のこと考えて道路を整備する
- 狭い道を広くする（5件）
- 坂道が多い（5件）
- 信号の時間の長さに違いがありすぎる（5件）
- 信号機のないところをなくしてほしい（4件）
- 歩行者用の道路のでこぼこをなくしてほしい（4件）
- 踏切が危ないので、歩道をつけてほしい（3件）
- 高齢者や障がい者用の通路や階段などをつくってほしい（2件）
- 目が見えない人用の黄色いブロックがなくなっている
- 道路の死角をなくしてほしい（2件）
- 道路端の側溝にふたをする
- 道をもう少し増やしてほしい
- 自転車専用道路をつくる

- 何かが壊れていたら直してほしい
- 道に広がって歩かない、横断歩道は歩行者が優先的に進むなど
- 古い空き家の解体と撤去
- 公園を老人ホームや保育園に変える
- パチンコ店が多すぎる（5件）
- 住宅地・マンションを増やす（2件）
- マンションが多い
- むだな工場をなくし、新しいものを建設する
- いらぬ建物を建てすぎ
- ◆駅・交通
 - 桑名駅をきれいに（8件）
 - 桑名駅周辺の再開発（7件）
 - 桑名駅に大きな時計がほしい
 - 電車やバスの本数が少ないので増やしてほしい（11件）
 - 交通の便が悪い（7件）
 - 新幹線を開通してほしい（3件）
 - バス停を増やしてほしい（2件）
 - 駅を近くにつくってほしい（2件）
 - 伊勢島の方に駅がない
 - 無人駅を減らす
 - 料金が安い（2件）
 - 地下鉄がほしい
 - 車を使わなくても移動できるようにする
 - 電車で名古屋までにかかる時間を減らしてほしい
- ◆学校
 - 近くに高校や大学がない（8件）
 - 小学校が多すぎる
 - 小学校から中学校へ上がるとき、中学校が分かれる地区がある（大成地区など）
 - 自分の行きたい中学校へ行かせてくれない
 - 学校のルールを統一してほしい
 - 学力が低い（2件）
 - 学習にお金を使わない
 - 宿題をなくしてほしい（2件）
 - 部活時間を短くしないでほしい
 - 勉強できる場所を増やす（2件）
 - 図書館の本の充実
 - 学校の施設・設備が古いので、きれいにしてほしい（25件）
 - 学校にもっとお金を充ててほしい（4件）
 - きれいな施設がある学校とない学校の差が大きい
 - 学校にエアコンの設置（4件）
 - 学生の学校での生活環境をもっとよくしてほしい
 - 学校のグラウンドを広くする、人工芝にする
 - 学校のテニスコートを広くしてほしい
 - 学校のプールをすべて温水プールにする

- 学校給食が冷たいので、温かくしてほしい
- 中学校前に売店
- ◆遊び場
- デザイン公園のモニュメントを直す（2件）
- いろんなところが老朽化している
- 近くで遊べる場所を増やしてほしい（20件）
- 中高校生が遊ぶところが少ない（9件）
- 中高校生や若者が気軽に利用できる施設をつくってほしい（7件）
- 小中学生の子どもが安全に遊べる場所がほしい（6件）
- 気軽にスポーツできる場所やジムなどを増やしてほしい（4件）
- 室内で遊べる施設がほしい（3件）
- ゲームセンターをつくる（2件）
- 多度に何か大きいものをつくってほしい
- 自然を守りながら、楽しく過ごせる場所をつくる
- 公園の遊び場を増やす（5件）
- 大きな公園をつくってほしい（4件）
- 出口、柚井に公園をつくってほしい
- サッカー場やフットサルコートを増やす（3件）
- バスケットゴールやサッカーゴールなど、家には設置が難しいものを、たくさんつくってほしい
- テニスコートを広くしてほしい
- スケートリンクがほしい
- ◆公共施設・病院・就労
- 病院が多すぎる（3件）
- 桑名市の中心に大きな病院が集まっているから、もう少し散らばせた方がよい
- 病院などをたくさんつくる
- もっと公共施設を増やした方がいい
- 市役所を大きくする
- 高齢者のための施設ばかりが充実して、若者のための環境が整っていない
- 高齢者のための施設を増やす
- 働く場所が少ない
- 就職場所を増やす
- ◆買い物・店舗
- 買い物できる店が少ないので増やしてほしい（15件）
- 大型のショッピングモールがほしい（12件）
- 地域にショッピングモールや店がほしい（4件）
- 店などが、大山田地区など1か所に集まりすぎていて不便
- 百貨店がほしい（2件）
- 自販機が少ないので、増やしてほしい（2件）
- 買い物など、日常生活をもっと便利にしてほしい
- コンビニを増やしてほしい（大山田、松ノ木）（2件）
- 住宅街にご飯屋さんがほしい
- 同じような店がある
- あまり流行ってない店がある

◆子育て

- 子育てに関する場所が少ない
- 子どもを大切にしてほしい

◆防犯・防災

- 交通ルールを守らない（7件）
- 車やバイクの音がうるさい（4件）
- 事故を減らす
- 街灯が少なく、夜道が暗くて危ない（12件）
- 治安の悪さ（2件）
- 不審者への対策（3件）
- 空き巣が入らないようにする
- 犯罪防止のポスターを貼る
- 監視カメラをつける
- 地震や災害への備えをもっとする（12件）
- 災害時の安全な避難場所を増やす（3件）
- 堤防の整備（3件）
- 高台に避難場所をつくる（2件）
- 立田方面の高台を、堤防以上の高さにした方がよい
- 畑で燃やすのをやめる

◆ゴミなど

- ゴミなどが落ちているので、もっときれいにした方がいい（17件）
- ゴミのポイ捨てをやめる（11件）
- ゴミが多い（8件）
- 祭のときなどのゴミの管理（3件）
- 犬や猫のフンが道にあるので、なくしてほしい（5件）
- 公園のトイレがすぐきたないので、月に1～2回くらいそうじに来てほしい（2件）
- 雑草が多いところがある

◆環境

- 開発のしすぎで、自然が減ってきている（14件）
- これ以上木などを切らないで、自然を残してほしい（3件）
- 自然を増やした方がいい（7件）
- まちに緑を多くする（6件）
- もっと都会にしてほしい（9件）
- 田舎っぽい（5件）
- まちをもっとにぎやかにする（2件）
- 川がきたない（2件）
- 自然ばかり
- 田んぼが多すぎる

◆観光・広報

- 観光に力を入れる（3件）
- まちに魅力的なものがない、少ない（3件）
- 桑名城の再建
- 桑名をもう少しアピールする（2件）

- ゆめはまちゃんがダサイ
- 活発化させるために、また映画をつくってほしい
- アニメの舞台にしてほしい
- 観光客に交通ルールやマナーを伝える
- 工業がさかんなので、それをもっとアピールして「桑名のものづくり」を有名にしてほしい
- ◆福祉
- 福祉をもっと充実させた方がいい（2件）
- バリアフリーを増やす
- 障がいの有無や国籍等にかかわらず、誰もが担い手として活躍できるようにする
- 部落差別をなくす
- 部落について勉強しすぎている
- ◆市政全般
- お金が少ない（16件）
- 税金の使い道や使い方（8件）
- 市の財政（2件）
- ゴミ袋を安くしてほしい（2件）
- 水を安くする
- 商業が栄えてない
- 戦争反対を進める
- みんなの暮らしがもうちょっと豊かになるようにしてほしい
- 無料のプリペイドカードを配る
- ミス桑名の廃止
- 市長を代える
- 選挙運動をもっと静かにしてほしい
- 悪いこと
- 全体的に（3件）
- 特にない（180件）
- わからない（9件）

第3章 調査票

1 住民一般調査

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの年齢をお答えください。（平成30年11月1日現在）

満

歳

問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）

（※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。）

1. 男性

2. 女性

3. その他

問3 あなたの（同居している）家族構成は次のどれですか。（○は1つだけ）

1. 一人暮らし（単身）

2. 夫婦のみ（一世代世帯）

3. 親と子（二世代世帯）

4. 祖父母と親と子（三世代世帯）

5. その他（

）

問4 あなたと同居している家族に、次の方はいますか。（○はあてはまるものすべてに）

1. 0～6歳の子ども（就学前）

2. 小学生

3. 中学生

4. 65歳以上の人（高齢者）

5. いない

問5 あなたのお住まいの地域は次のどれですか。（○は1つだけ）

1. 日進

2. 精義

3. 立教

4. 城東

5. 益世

6. 修徳

7. 大成

8. 大和

9. 桑部

10. 在良

11. 七和

12. 深谷

13. 久米

14. 城南

15. 筒尾

16. 松ノ木

17. 大山田

18. 野田

19. 藤が丘

20. 星見ヶ丘

21. 新西方

22. 陽だまりの丘

23. 多度中

24. 多度東

25. 多度南

26. 多度西

27. 多度北

28. 長島北部

29. 長島中部

30. 伊曽島

31. わからない（町名：

）

問6 あなたの就業・就学状況は次のどれですか。（○は1つだけ）

1. 勤め人（フルタイム）

2. 自営業・農林水産業

3. パート・アルバイト

4. 学生・専門学校生

5. 無職・家事専従

6. その他（

）

問7 あなたのお住まいは次のどれですか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 一戸建て持ち家（家族の持ち家も含む） | 2. 分譲マンション |
| 3. 一戸建て賃貸住宅 | 4. 賃貸アパート・マンション |
| 5. その他（ ） | |

問8 あなたの加入している健康保険は次のどれですか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 全国健康保険協会（協会けんぽ） | 2. 健康保険組合 |
| 3. 共済組合 | 4. 国民健康保険 |
| 5. 後期高齢者医療保険 | 6. その他（ ） |
| 7. 加入していない | |

健康についておたずねします

問9 あなたの現在の健康状態はいかがですか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

問10 あなたの身長・体重をお答えください。

身長（ ）cm	体重（ ）kg
---------	---------

問11 あなたは、ふだん朝・昼・晩3食を食べていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週4～5日は食べる |
| 3. 週2～3日は食べる | 4. ほとんど食べない |

問12 あなたは、主食（ごはん・パン・麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上ある日が週に何日ありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週4～5日は食べる |
| 3. 週2～3日は食べる | 4. ほとんど食べない |

問13 あなたの1日（朝起きてから寝るまで）の平均の歩数は、どれくらいですか。部屋の中での歩数も含めます。

	歩
--	---

<参考> 1,000歩は、距離で600～700メートル程度、時間で約10分です。

問14 あなたは、日常生活のなかで健康の維持・増進のために意識的に汗ばむほどの身体を動かす運動をしていますか。(○は1つだけ)

- 1. いつもしている
- 2. ときどきしている
- 3. 以前はしていたが現在はしていない
- 4. していない(したことがない)

問15 問14で「1. いつもしている」「2. ときどきしている」に○をつけた方におたずねします。

現在行っている運動は、1回30分以上で、週2回以上実施し、1年以上継続していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問16 ここ1か月の間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5時間未満 | 2. 5時間以上6時間未満 |
| 3. 6時間以上7時間未満 | 4. 7時間以上8時間未満 |
| 5. 8時間以上9時間未満 | 6. 9時間以上 |

問17 あなたは、日ごろの睡眠で休養が十分にとれていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 十分とれている | 2. まあまあとれている |
| 3. あまりとれていない | 4. まったくとれていない |

問18 あなたは、ここ1か月の間にストレスを感じましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. おおいに感じる | 2. 多少感じる |
| 3. あまり感じない | 4. まったく感じない |

問19 あなたは、過去1年間に、市や職場などの健康診断や検診等で次のものを受けましたか。
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 一般的な健康診断(特定健康診査・後期高齢者健康診査を含む) | |
| 2. 胃がん検診 | 3. 肺がん検診(胸部レントゲン) |
| 4. 大腸がん検診(便潜血検査) | 5. 乳がん検診 |
| 6. 子宮がん検診 | 7. 歯科検診(治療は除く) |
| 8. 骨粗しょう症検診 | 9. その他() |

地域の活動等についておたずねします

問20 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。（○は1つだけ）

1. 何か困ったときに助け合うような付き合い
2. お互いに訪問しあう程度の付き合い
3. 立ち話をする程度の付き合い
4. あいさつをする程度の付き合い
5. ほとんど付き合いはない



付き合いがない理由：

問21 あなたは、地域の活動や行事にどの程度参加していますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ある程度参加している |
| 3. あまり参加していない | 4. ほとんど参加していない |
| 5. まったく参加していない | |

問22 ふだんの生活において「地域で支え合う・助け合う」ということを意識した場合、あなたの考える「地域」とは、次のどの範囲ですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1. 隣近所 | 2. 自治会の組・班 |
| 3. 自治会 | 4. 小学校区 |
| 5. 中学校区 | 6. 合併前の旧市町 |
| 7. 桑名市全体 | 8. その他（ ） |

問23 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

1. 現在、参加している
2. 以前に参加したことがある
3. 参加したことがない

問24 問23で「1. 現在、参加している」「2. 以前に参加したことがある」に○をつけた方におたずねします。あなたは、具体的にどのような活動に参加しましたか。(○はいくつでも)

1. 高齢者や障がいのある人への日常生活の援助（見守りなど）
2. 高齢者や障がいのある人を集めた交流活動
3. 点字、手話、音訳、要約筆記などの伝達手段ボランティア
4. 子育て支援・子どもの世話
5. 不登校・ひきこもりの青少年に対する支援
6. 子どもの登下校時の見守りや防犯パトロールなどの活動
7. 子ども等に無料または低額で食事と居場所を提供する子ども食堂の活動
8. 病院や福祉施設での手伝いや話し相手
9. 寄付、募金への協力
10. 健康づくり、介護予防に関する活動
11. 地域のスポーツ活動の支援
12. 地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル
13. 地域のまつりやイベントの手伝い
14. 災害時の支援活動
15. その他（ ）

問25 あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. ぜひ参加したい
2. 友人などが一緒なら参加したい
3. 時間ができたら参加したい
4. 機会があったら参加したい
5. 参加できない
6. 参加したくない

問26 問25で「5. 参加できない」または「6. 参加したくない」に○をつけた方におたずねします。参加できない、参加したくない理由は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 興味や関心がないから | 2. 機会がないから |
| 3. 時間がないから | 4. 気恥ずかしいから |
| 5. 活動の内容や方法がわからないから | 6. 自分の生活のことで精一杯だから |
| 7. その他 () | |

問27 これからの地域福祉は地域住民の参加や協力が必要といわれていますが、次の活動の中であなたがやってみたいことやできそうなものがありますか。(○は主なもの3つ)

1. 高齢者や障がいのある人への日常生活の援助（見守りなど）
2. 高齢者や障がいのある人を集めた交流活動
3. 点字、手話、音訳、要約筆記などの伝達手段ボランティア
4. 子育て支援・子どもの世話
5. 不登校・ひきこもりの青少年に対する支援
6. 子どもの登下校時の見守りや防犯パトロールなどの活動
7. 子ども等に無料または低額で食事と居場所を提供する子ども食堂の活動
8. 病院や福祉施設での手伝いや話し相手
9. 寄付、募金への協力
10. 健康づくり、介護予防に関する活動
11. 地域のスポーツ活動の支援
12. 地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル
13. 地域のまつりやイベントの手伝い
14. 災害時の支援活動
15. その他 ()

問28 あなたは、次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はそれぞれ1つだけ)

①～⑤それぞれに 回答してください	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い ない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤特技や経験を他の人へ伝える活動	1	2	3	4	5	6

あなたの地域についておたずねします

問29 一般的に、地域の人信用できると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. とても信用できる | 2. まあ信用できる |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり信用できない |
| 5. まったく信用できない | |

問30 一般的に、地域の人々は、他の人の役に立とうと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. とても思う | 2. まあ思う |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり思わない |
| 5. まったく思わない | |

問31 あなたは、住んでいる地域に愛着がありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても愛着がある | 2. まあ愛着がある |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり愛着がない |
| 5. まったく愛着がない | |

問32 あなたは、これからあなたの地域で住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- 1. 住みたい
- 2. 住みたくない
- 3. どちらともいえない

問33 問32で「1. 住みたい」に○をつけた方におたずねします。これからも現在住んでいる地域で住みたい理由は何ですか。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 土地や家があるから | 2. 自然環境がよいから |
| 3. 近くに親戚や親しい人がいるから | 4. 仕事の都合上 |
| 5. 買い物や交通の便がよいから | 6. 公共施設が整っているから |
| 7. 長年住み慣れ愛着があるから | 8. 隣近所とうまくいっているから |
| 9. 自分の生まれたところだから | 10. 地域医療が整っているから |
| 11. 福祉サービスが整っているから | 12. 文化環境が整っているから |
| 13. 子育てしやすい環境が整っているから | 14. その他 () |

問34 あなたの住んでいる地域には、どのような課題や問題があると感じていますか。(○は主なもの3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 地域の人たちとの付き合い方 | 2. 異なる世代との交流 |
| 3. 地域文化の伝承 | 4. 障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり |
| 5. 道路の整備 | 6. 住宅の整備 |
| 7. 雇用 | 8. ゴミの減量化 |
| 9. ひとり暮らし高齢者の生活支援 | 10. 高齢者などの介護 |
| 11. 高齢者の社会参加や生きがい | 12. 子どもの遊び場 |
| 13. 家庭での子どものしつけや教育 | 14. 学校教育 |
| 15. 母子家庭や父子家庭の子育て | 16. 共働き家庭の子どもの生活 |
| 17. 乳幼児期の子育て | 18. 身体障がいのある人の生活支援 |
| 19. 知的障がいのある人の生活支援 | 20. 精神障がいのある人の生活支援 |
| 21. 子どもや高齢者への虐待 | 22. 健康づくりについての意識や知識 |
| 23. 救急医療 | 24. 小児医療 |
| 25. 23と24以外の医療 () | 26. 移動・交通手段の確保 |
| 27. その他 () | |

問35 あなたとまわりの人の「助け合い」についておたずねします。(○はそれぞれいくつでも)

① あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

- | | | | |
|---------|--------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. 親 | 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 |
| 5. 近所の人 | 6. 友人 | 7. その他() | 8. そのような人はいない |

② 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

- | | | | |
|---------|--------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. 親 | 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 |
| 5. 近所の人 | 6. 友人 | 7. その他() | 8. そのような人はいない |

③ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

- | | | | |
|---------|--------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. 親 | 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 |
| 5. 近所の人 | 6. 友人 | 7. その他() | 8. そのような人はいない |

④ 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

- | | | | |
|---------|--------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. 親 | 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 |
| 5. 近所の人 | 6. 友人 | 7. その他() | 8. そのような人はいない |

問36 あなたは、住んでいる地域で、問題や困りごとが生じた場合、どのような方法で解決するのがよいと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 自分たちの生活に関わることから、住民同士で協力して解決したい |
| 2. 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい |
| 3. 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい |
| 4. その他() |

問37 あなたは、ご近所に、一人暮らしの高齢者・障がいのある人などで困っている世帯があったら、どんな対応をしますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 積極的にお手伝いをしたい |
| 2. 多少のお手伝いはできる |
| 3. お節介と思われたくないのでためらってしまう |
| 4. 福祉サービスを利用すればよく、特に自分が手伝う必要はない |
| 5. よくわからない |
| 6. 手伝うことができない |
| 7. その他() |

問38 あなたは次のうち、ご近所や地域の人に手助けしてもらいたいことはありますか。（○は
いくつでも）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 |
| 3. 掃除 | 4. 洗濯 |
| 5. ゴミ捨て・ゴミ出し | 6. 市役所などでの手続き |
| 7. 銀行や郵便局でのお金の出し入れ | 8. 家の保守点検・修理など |
| 9. 高い所の作業（蛍光灯の取替など） | 10. 特にない |
| 11. その他（ | ） |

問39 あなたの住んでいる地域が、より暮らしやすくなるには、地域にどのような活動が必要だ
と思いますか。（○は主なもの3つ）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 高齢者や障がいのある人への日常生活の援助（見守りなど） |
| 2. 高齢者や障がいのある人を集めた交流活動 |
| 3. 点字、手話、音訳、要約筆記などの伝達手段ボランティア |
| 4. 子育て支援・子どもの世話 |
| 5. 不登校・ひきこもりの青少年に対する支援 |
| 6. 子どもの登下校時の見守りや防犯パトロールなどの活動 |
| 7. 子ども等に無料または低額で食事と居場所を提供する子ども食堂の活動 |
| 8. 病院や福祉施設での手伝いや話し相手 |
| 9. 寄付、募金への協力 |
| 10. 健康づくり、介護予防に関する活動 |
| 11. 地域のスポーツ活動の支援 |
| 12. 地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル |
| 13. 地域のまつりやイベントの手伝い |
| 14. 災害時の支援活動 |
| 15. その他（ |
| ） |

問40 これからも安心して地域で住み続けるためには、どのような地域のあり方が大切だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○は主なもの3つまで)

1. 住民の支え合い意識が高く自治会活動やボランティア活動が活発であること
2. 子どもから高齢者まで世代間の交流が活発であること
3. 隣近所をはじめ住民同士の交流が盛んであること
4. 年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もが担い手として活躍できること
5. 災害時などに助け合えること
6. 住民が地域に愛着を感じ、地域の環境や伝統を大切にすること
7. 住民の誰もが気軽に利用できる居場所・拠点があること
8. その他 ()

問41 あなたの地域で住み続けるためには、次のうち何が重要と思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 福祉サービスなどの充実 | 2. 働く場の確保 |
| 3. 買物など日常生活の便利さ | 4. 自然や緑の保存 |
| 5. 歴史や伝統の保存・継承 | 6. 安全な道路の整備 |
| 7. 医療機関や施設の整備 | 8. その他 () |

問42 あなたの地域のイベント・行事、風習などで、自慢できるもの、次の時代に伝えたいと思うものはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|---|
| 1. ある | <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;">  <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; font-size: 4em; margin-left: 10px;">{</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;">それは何ですか：</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; font-size: 4em; margin-left: 10px;">}</div> </div> |
| 2. ない | |

問43 地域の支え合いを進める上で必要となるプライバシーの取り扱いについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

1. プライバシーの情報は、いかなる理由があっても保護されなければならない
2. 隣近所の付き合いに必要な程度の情報であれば知られてもかまわない
3. 福祉の支援や災害への対処に必要な情報は地域で共有すべきである
4. その他 ()

福祉・介護の考え方などについておたずねします

問44 仮にあなたの家族に介護が必要となったとき（介護をしている場合も含む）、どのようにしたいと思いますか。（○は1つだけ）

1. 自宅で家族などを中心に介護したい
2. 自宅で訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）、短期入所（ショートステイ）などを活用しながら介護したい
3. 特別養護老人ホームなどの福祉施設や病院などに入所（入院）させたい
4. わからない

問45 仮にあなたに介護が必要となったとき（介護を受けている場合も含む）、どのようにしたい
と思いますか。（○は1つだけ）

1. 自宅で家族などを中心に介護してもらいたい
2. 自宅で訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）、短期入所（ショートステイ）などを活用しながら介護してもらいたい
3. 特別養護老人ホームなどの福祉施設や病院などに入所（入院）したい
4. わからない

問46 あなたや家族がホームヘルプサービスなどの福祉サービスを必要としたとき、抵抗なく利用することができますか。（○は1つだけ）

1. 普通に利用できる
2. 抵抗はあるが利用する
3. 抵抗があるので利用しない
4. わからない
5. その他（

問47 問46で「2. 抵抗はあるが利用する」または「3. 抵抗があるので利用しない」に○をつけた方におたずねします。最も抵抗を感じるのは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 行政などの世話になることに対する気兼ねがある
2. 親族などへの気兼ねがある
3. 隣近所への気兼ねがある
4. 経済的な負担が心配
5. その他（ ）

福祉に関する情報や相談についておたずねします

問48 あなたは、必要な福祉サービスに関する情報をどの程度入手できていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 十分できている | 2. おおむねできている |
| 3. あまりできていない | 4. ほとんどできていない |
| 5. わからない | 6. 入手する必要がない |

問49 あなたは、福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 市の広報紙「広報くわな」 | 2. 市役所 |
| 3. 地区市民センター・まちづくり拠点施設 | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 社会福祉協議会の「くわな社協だより」 | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 医療機関（医師、看護師など） |
| 9. 福祉サービス提供事業者 | 10. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 |
| 11. インターネット・市のホームページ | 12. 近所の人や友人・知人 |
| 13. 家族・親族 | 14. その他（ ） |
| 15. 特にない | |

問50 あなたは、市の福祉サービスに関する情報提供は、どのようにしたら必要な人に届くと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 市の広報を充実させる
2. 市のホームページを充実させる
3. パンフレットや情報誌をスーパーなど身近な場所に置く
4. 自治会など地域の人を介した情報提供を充実させる
5. メールマガジンを発行する
6. 携帯サイトを設ける
7. ケーブルテレビを充実させる
8. その他（ ）

問51 あなたは、日々の生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。(○は主なもの
3つまで)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自分や家族の健康 | 2. 自分や家族の老後 |
| 3. 子育てに関すること | 4. 介護や障がいに関すること |
| 5. 経済的な問題 | 6. 隣近所との関係 |
| 7. 職場などの人間関係 | 8. 仕事に関すること |
| 9. 就労の場がないこと・失業 | 10. 地域の治安 |
| 11. 地震や災害など緊急時の対応 | 12. その他（ ） |
| 13. 特にない | |

苦しい ← 普通 → ゆとりがある

0点 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10点

1. 自立に向けた相談の充実
2. 住まいに関する支援（一時的な居場所の提供や家賃相当額の支給など）
3. 就労に向けた支援（一般就労に向けたサポートや就労機会の提供など）
4. 家計に関する相談支援（家計の立て直しに関する助言や必要な貸付のあっせんなど）
5. 子どもの学習支援
6. その他（ ）

とても不幸 ← 0点 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10点 → とても幸せ

[illegible]

140

2 中学生調査

あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

(※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたが同居している家族構成は次のどれですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|------------|-------------|
| 1. 親と子 | 2. 祖父母と親と子 | 3. その他の家族構成 |
|--------|------------|-------------|

問3 あなたのお住まいの地域は次のどれですか。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|---------------|------------|---------|---------|----------|
| 1. 日進 | 2. 精義 | 3. 立教 | 4. 城東 | 5. 益世 |
| 6. 修徳 | 7. 大成 | 8. 大和 | 9. 桑部 | 10. 在良 |
| 11. 七和 | 12. 深谷 | 13. 久米 | 14. 城南 | 15. 筒尾 |
| 16. 松ノ木 | 17. 大山田 | 18. 野田 | 19. 藤が丘 | 20. 星見ヶ丘 |
| 21. 新西方 | 22. 陽だまりの丘 | | | |
| 23. 多度中 | 24. 多度東 | 25. 多度南 | 26. 多度西 | 27. 多度北 |
| 28. 長島北部 | 29. 長島中部 | 30. 伊曽島 | | |
| 31. わからない(町名: | | |) | |

地域の人とのかかわりや地域の課題についておたずねします

問4 あなたは、近所の人にあいさつをしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 自分から進んでしている | 2. 時々している |
| 3. 相手があいさつした時はしている | 4. あいさつはしない |

■問4で「4.」に○をつけた方におたずねします。それはなぜですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 恥ずかしいから | 2. 面倒だから |
| 3. その他() | |

問5 あなたは、これまでに近所の人に助けられたことや、近所の人のおかげだと思ったことはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

■問5で「1.」に○をつけた方におたずねします。それはどんなことですか。

()

問6 あなたは、学校(小学校含む)の行事などに、地域の人たちが参加することについてどう思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. いいことだと思う | 2. ややいいことだと思う |
| 3. どちらともいえない | 4. あまりいいことだと思わない |
| 5. いいことだと思わない | |

問7 あなたの住んでいる地域には、どのような課題や問題があると感じていますか。（○は主なものの3つまで）

1. 地域の人の助け合いが少ないこと
2. 子どもと高齢者など異なる世代の交流が少ないこと
3. 地域の文化が失われつつあること
4. 公園など子どもの遊び場が少ないこと
5. 障がいのある人への支援が十分でないこと
6. 一人暮らし高齢者などが地域で孤立していること
7. 家で高齢者の介護が十分にできないこと
8. 中高生が集まれる場所や機会が少ないこと
9. 学校を卒業してから就職する場所が少ないこと
10. 近くに大学や専門学校などが少ないこと
11. 住んでいる地域をきれいにしようという意識が低いこと
12. 治安がよくないこと・交通事故が多いこと
13. 地震や災害に対する備えが悪いこと
14. その他（ ）

ボランティア活動についておたずねします

問8 あなたは、自分の意志でボランティア活動に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

1. 現在参加している
2. 以前に参加したことがある
3. 参加したことがない

■問8で「1.」または「2.」に○をつけた方におたずねします。それはどのような活動ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 地域の清掃、ゴミ拾いなどの環境美化活動 | 2. 高齢者や障がいのある人への支援 |
| 3. 募金活動 | 4. 福祉施設などでの手伝いや話し相手 |
| 5. 地域の祭りやイベントの手伝い | 6. その他（ ） |

■問8で「1.」または「2.」に○をつけた方におたずねします。活動を通じて、どんなことを得ましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 地域の人とのつながりができた | 2. 同じ考え方の仲間ができた |
| 3. 地域・社会に役立つことができた | 4. 知識や技術が豊富になった |
| 5. 達成感・充実感を味わえた | 6. 自分自身の成長につながった |
| 7. その他（ ） | 8. 特に得たものはない |

問9 あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 友人などが一緒なら参加したい |
| 3. 時間ができたら参加したい | 4. 機会があつたら参加したい |
| 5. 参加できない | 6. 参加したくない |

桑名市についておたずねします

問10 あなたは、大人になっても桑名市に住み続けたいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 一度は外に出てもいつかは戻りたい |
| 3. 将来は別の場所で暮らしたい | 4. わからない |

問11 これからも安心して地域で住み続けるためには、どのような地域のあり方が大切だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は主なもの3つまで）

- | |
|---|
| 1. 住民の支え合い意識が高く自治会活動やボランティア活動が活発であること |
| 2. 子どもから高齢者まで世代間の交流が活発であること |
| 3. 隣近所をはじめ住民同士の交流が盛んであること |
| 4. 年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もが担い手として活躍できること |
| 5. 災害時などに助け合えること |
| 6. 住民が地域に愛着を感じ、地域の環境や伝統を大切にすること |
| 7. 住民の誰もが気軽に利用できる居場所・拠点があること |
| 8. その他（ ） |

問12 あなたの地域に住み続けるためには、次のうち何が重要と思われますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 介護・障がい・子育て支援などの福祉サービスの充実 | 2. 働く場の確保 |
| 3. 買物など日常生活の便利さ | 4. 自然や緑の保存 |
| 5. 歴史や伝統の保存・継承 | 6. 安全な道路の整備 |
| 7. 医療機関や施設の整備 | 8. その他（ ） |

問13 あなたの地域のイベント・行事、風習などで、自慢できるもの、次の時代に伝えたいと思うものはありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|----------------|
| 1. ある | → { それは何ですか： } |
| 2. ない | |

問14 あなたは桑名市をどのようなまちにしたいと思いますか。（○は2つまで）

- | | | |
|---------------|-------------------|-------------|
| 1. 自然の豊かなまち | 2. 文化的なまち | 3. 工業の盛んなまち |
| 4. 商業の盛んなまち | 5. 福祉や保健が充実しているまち | 6. 観光のまち |
| 7. スポーツが盛んなまち | 8. その他（ ） | |

○桑名市の好きなところ、変えた方がいいところについて自由にご記入ください。

(好きなところ)

(変えた方がいいところ)

ご協力ありがとうございました。

桑名市
健康と福祉に関する市民アンケート
結果報告書

.....
2019（平成31）年3月

編集・発行：桑名市 保健福祉部 福祉総務課
〒511-8601
三重県桑名市中央町二丁目37番地
TEL 0594-24-1228
FAX 0594-24-1351

